

④

困ったときのQ&A

わかる、できる、役に立つ!!



購入時の状態に戻すには、
「インストール」で再インストール。

「この本に書かれている内容」が
「このインストール」総集編を収録！

「おかげさまで」を聞いた人へ、
「お！もう」

PC98-NX SERIES

VALUE STAR NX

トラブル解決 4つのポイント

1

●落ちついて対処する

あわてて電源を切ったり、マウスを何度もクリックしたりせず、しばらくそのまま待ってください。しばらく待っても動かないときは、強制終了(p.28)を行ってください。

●メッセージが表示されているときは書き留める

必ず紙に書き留めてください。また、「元に戻す」「取り消し」などの機能が あったら、その機能を使ってください。



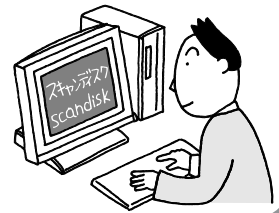
2

●原因が何かを考える

操作を間違えなかったか、どんな操作をしたときに問題が起きたのかなど、原因を考えてみましょう。意外に単純な原因であることが多いです。

●「スキャンディスク」を試してみる

Windows 98やアプリケーションが起動しない、などのトラブルはハードディスクに原因があることが多いです。このようなときは「スキャンディスク」(p.8)を行ってください。



3

●このマニュアルを読む、または「サポートセンタ」の「困ったときのQ&A」の「トラブル解決Q&A」で調べる

このマニュアルの目次を見て、自分のトラブルに当てはまる項目があったら、そのページを読んでください。また、このパソコンの電子マニュアル「サポートセンタ」を調べて解決のヒントがないか探してください。

参照 「サポートセンタ」の使い方→『まずこれ! 接続と準備』PART4の「サポートセンタを見てみよう」、
「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-「ヘルプ」

●インターネットからトラブル対策を探す

Q&A 情報を提供しているホームページには、次のようなものがあります。

NEC パソコンインフォメーションセンター「PICROBO」

<http://www.nec.co.jp/picrobo/>

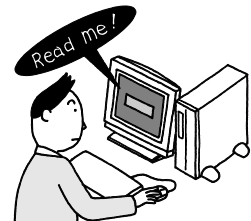
マイクロソフトサポート情報

<http://www.microsoft.com/japan/sopport>

アプリケーションでトラブルが起きたときは、そのマニュアルやヘルプなどを読んでから、開発元のホームページを見てみましょう。

●Windows ヘルプからトラブル対策を探す

このパソコンにある「Windows ヘルプ」を使えば、「目次」、「キーワード」、「関連するキーワード」から調べたい項目を探することができます。



4

●巻末の「トラブルチェックシート」に記入する

NEC に問い合わせるときは、どんなトラブルが起こったかを巻末の「トラブルチェックシート」に記入しておいてください。その際、「サポートセンタ」の「パソコン情報」もご覧ください。

●問い合わせる

NEC の問い合わせ先は『NEC PC あんしんサポートガイド』や「サポートセンタ」をご覧ください。パソコンとは別に購入した周辺機器やアプリケーションに関するトラブルは、その製品の問い合わせ先にご相談ください。

解決!

はじめに

この本は、パソコンを使っていて、「おかしいな?!」とか「故障かもしれない」などと感じたときに、問題を解決するための手助けをします。

まず、目次から、あなたのパソコンで起きている問題点を探してください。やろうとしていた作業の種類別に分類して、問題点を見つけやすいようにしています。このパソコンの電子マニュアル、「サポートセンタ」の「困ったときのQ&A」もあわせてご覧ください。そして、問題の原因や解決方法をよく読んで対処してください。

また、パソコンに内蔵されているソフトウェア（全部合わせて「パソコンのシステム」と呼びます）を回復するための方法も、この本で説明しています。困ったときには、この本を活用してください。

1999 年 10 月 初版

1999 年 11 月 2 版

このマニュアルの表記について

◆このマニュアルでは、パソコンを安全にお使いいただくための注意事項を次のように記載しています



注意

注意事項を守っていただけない場合、人が傷害を負う可能性が想定されること、または物的損害のみ発生が想定されることを示します。

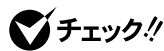


注意事項を守っていただけない場合、発生が想定される障害または事故の内容を表しています。左のマークは感電の可能性が想定されることを示しています。このほかに、発火注意、けが注意、高温注意についても、それぞれ記載しています。



電源ケーブルのプラグを抜くように指示するものです。

◆このマニュアルで使用している記号や表記には、次のような意味があります



チェック!!

してはいけないことや、注意していただきたいことを説明しています。よく読んで注意を守ってください。場合によっては、作ったデータの消失、使用しているアプリケーションの破壊、パソコンの破損の可能性があります。



パソコンで起きている問題点に対して対処のしかたがいくつかあるときは、この記号の確認事項をチェックして、あてはまるものをさがしてください。



パソコンを使うときに知っておいていただきたい用語の意味を解説しています。



マニュアルの中で関連する情報が書かれている所を示しています。



参考になる事柄です。

◆このマニュアルの表記では、次のようなルールを使っています

【 】

【 】で囲んである文字は、キーボードのキーを指します。

プリンタ、コネクタなど

「プリンター」や「コネクター」などの末尾に付く「ー」を省略して表記しています。これは、パソコンの画面に表示される用語や、パソコン関連書籍などでよく使われている表記に準拠しているためです。

CD-ROMドライブ

DVD-ROMモデルでは、DVD-ROMドライブのことを、CD-ROMモデルでは、CD-ROMドライブのことを指します。

◆このマニュアルでは、各モデル（機種）を次のような呼び方で区別しています

下記の表をご覧ください、購入された製品の型名とマニュアルで表記されるモデル名を確認してください。

このパソコン	表の各モデル（機種）を指します。
CRTディスプレイ セットモデル	CRTディスプレイがセットになっているモデルのことです。
液晶ディスプレイ セットモデル	液晶ディスプレイがセットになっているモデルのことです。
CD-ROMモデル	CD-ROMドライブを搭載しているモデルのことです。
DVD-ROMモデル	DVD-ROMドライブを搭載しているモデルのことです。
TVモデル	テレビ/地上波データ放送を見るための機能やDVD-ROMドライブを搭載したモデルのことです。
一太郎モデル	Voice一太郎10・花子10パックがあらかじめインストールされているモデルのことです。
Office 2000モデル	Office 2000 Personalがあらかじめインストールされているモデルのことです。

型名	型番	表記の区分			
		本体の形状	CD-ROM /DVD-ROM	ディスプレイ	添付アプリケーション
VC600J/1GC1	PC-VC600J1GC1	コンパクトタイプ	DVD-ROMモデル	液晶ディスプレイセットモデル (15型液晶)	一太郎モデル
VC600J/1GD1	PC-VC600J1GD1				Office 2000モデル
VC550J/1FC1	PC-VC550J1FC1				一太郎モデル
VC550J/1FD1	PC-VC550J1FD1				Office 2000モデル
VC500J/1FC1	PC-VC500J1FC1				一太郎モデル
VC500J/1FD1	PC-VC500J1FD1				Office 2000モデル
VC46H/1FC1	PC-VC46H1FC1		CD-ROMモデル	液晶ディスプレイセットモデル (14型液晶)	一太郎モデル
VC46H/1FD1	PC-VC46H1FD1				Office 2000モデル
VC46H/1FC2	PC-VC46H1FC2				一太郎モデル
VC46H/1FD2	PC-VC46H1FD2				Office 2000モデル
VC46H/1XC1	PC-VC46H1XC1				一太郎モデル
VC46H/1XD1	PC-VC46H1XD1				Office 2000モデル
VC46H/1XC2	PC-VC46H1XC2				一太郎モデル
VC46H/1XD2	PC-VC46H1XD2				Office 2000モデル
VE500J/17C	PC-VE500J17C	TVモデル	DVD-ROMモデル	CRTディスプレイセットモデル (17型CRT)	一太郎モデル
VE500J/17D	PC-VE500J17D		DVD-ROMモデル		Office 2000モデル
VE46H/17C	PC-VE46H17C		CD-ROMモデル	CRTディスプレイセットモデル (15型CRT)	一太郎モデル
VE46H/17D	PC-VE46H17D				Office 2000モデル
VE46H/15C	PC-VE46H15C		CD-ROMモデル	CRTディスプレイセットモデル (15型CRT)	一太郎モデル
VE46H/15D	PC-VE46H15D				Office 2000モデル
VT500J/1FC	PC-VT500J1FC		DVD-ROMモデル	液晶ディスプレイセットモデル (15型液晶)	一太郎モデル
VT500J/1FD	PC-VT500J1FD				Office 2000モデル
VT500J/17C	PC-VT500J17C			CRTディスプレイセットモデル (17型CRT)	一太郎モデル
VT500J/17D	PC-VT500J17D				Office 2000モデル

※購入された製品の型名、型番の末尾に「9」が付加されている場合は、末尾の「9」を除いて、モデル名を確認してください。

◆本文中の画面

本文中の画面は、モデルによって異なることがあります。また実際の画面とは異なることがあります。

◆このマニュアルで使用しているアプリケーション名などの正式名称

(本文中の表記)	(正式名称)
Windows、 Windows 98	Microsoft® Windows® 98 Second Edition Operating System日本語版
Windows 95	Microsoft® Windows® 95 operating system
Windows 3.1	Microsoft® Windows® operating system Version 3.1
Windows NT 4.0	Microsoft® Windows NT® Workstation operating system Version 4.0
一太郎	Voice一太郎10
一太郎10・花子10パック、 Voice一太郎10・花子10パック	Voice一太郎10・花子10パック (Voice一太郎10、花子10、三四郎9、 ATOK13、VoiceATOK3、Shuriken2.1V、Sasuke2.0)
Office 2000 Personal	Microsoft® Office 2000 Personal (Microsoft Word 2000、 Microsoft Excel 2000、Microsoft Outlook® 2000、Microsoft/ Shogakukan Bookshelf® Basic)
MS-IME 98	Microsoft® IME 98
MS-IME 2000	Microsoft® IME 2000
IME 2000 音声入力アプレット	Microsoft® IME 2000 IME パッド 音声入力アプレット
インターネットエクスプローラ、 Internet Explorer	Microsoft® Internet Explorer 5

ご注意

- (1)本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
- (2)本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3)本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、ご購入元、最寄りの Bit-INN、または NEC パソコンインフォメーションセンターへご連絡ください。落丁、乱丁本は、お取り換えいたします。ご購入元までご連絡ください。
- (4)当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
- (5)本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
- (6)海外 NEC では、本製品の保守・修理対応をしておりませんので、ご承知ください。
- (7)本機の内蔵ハードディスクにインストールされている Microsoft® Windows® 98 および本機に添付の CD-ROM、フロッピーディスクは、本機のみでご使用ください。
- (8)ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。
- (9)ハードウェアの保守情報をセーブしています。

Microsoft、MS、MS-DOS、Windows、Windows NT、Outlook、および Windows のロゴは、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

「一太郎」「花子」「ATOK」「Voice 一太郎 10・花子 10 パック」「Voice ATOK」「Sasuke」「Shuriken」は、株式会社ジャストシステムの登録商標または商標です。

「Voice 一太郎 10・花子 10 パック」は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、「Voice 一太郎 10・花子 10 パック」にかかる著作権、その他の権利はすべて株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。商標「三四郎」は、株式会社エス・エス・ビーの登録商標であり、株式会社ジャストシステムは商標使用許諾を受けています。

Virus Scan は、米国法人 Network Associates, Inc. またはその関係会社の米国またはその国における登録商標です。

BIGLOBE、BIGLOBE かんたん設定ナビ、BIGLOBE 電話で入会サービス、BIGLOBE 電話で入会ナビ、PC ポータルは、日本電気株式会社の商標です。

Intel、Pentium は、Intel Corporation の登録商標です。

Celeron は、Intel Corporation の商標です。

その他、本マニュアルに記載されている会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。

© NEC Corporation 1999

日本電気株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。

■輸出する際の注意事項

本製品(ソフトウェアを含む)は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠していません。

本製品は日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。

また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等はありません。

本製品の輸出については、外国為替及び外国貿易法に基づいて通商産業省の許可が必要となる場合があります。

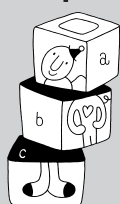
必要な許可を取得せずに輸出すると同法により罰せられます。

輸出に際しての許可の要否については、ご購入頂いた販売店または当社営業拠点にお問い合わせ下さい。

はじめに	i
このマニュアルの表記について	ii

PART

1



トラブル解決 Q&A 1

トラブル解決への第一歩 2

データのバックアップと復元	2
スキャンディスクの使い方	8
コントロールパネルの開き方	10
デバイスマネージャを表示する	11

パソコンが動かない・・・ 13

急に動かなくなった	13
パソコンの電源を入れると、NECロゴが表示された後、画面がまっくらになる	13
周辺機器を取り付けて電源を入れたら、パソコンが起動しない	15
パソコンの電源が切れない	15
Safeモードで起動したい	16

パソコンがこわれそう・・・ 17

パソコンの様子がおかしい。煙や異臭、異常な音がしたり、手でさわれない ほど熱い。パソコンやケーブル類に目に見える異常が生じた	17
パソコンを使っているとカリカリと変な音がする	17

はじめて電源を入れたら・・・ 18

セットアップの途中で、誤って電源を切ってしまった	18
ハードウェアの検出中にパソコンが動かなくなった(フリーズした)	18
キーボードを接続したがうまく動作しない	19

電源を入れたが/切ろうとしたが・・・ 20

ディスプレイに何も表示されない	20
電源を入れてしばらくすると、画面がまっくらになる	22
「Microsoft Windows 98 Startup Menu」が表示され、 「Enter a choice:」に「3」(3.Safe mode)が表示された	23
「Windowsが正しく終了されなかったため、ディスク ドライブにエラーがある 可能性があります。」と表示され、自動的にスキャンディスクがはじまった	23
「Invalid system disk」と表示される	24
「Please Insert Another Disk.....」と表示される	24
「Operating System not found」と表示される	25
「Non-system disk or disk error」と表示される	26
カーソルが表示されたきり、なにも表示されない	26
電源を入れてすぐにフロッピーディスクをセットしたが、 しばらくするとハードディスクからWindows 98が起動した	26
電源を入れるとピーッと音がする	27

このマニュアルや「サポートセンタ」にないエラーメッセージが表示された	27
スキャンディスクの画面が表示された	27
周辺機器を取り付けたらパソコンが起動しなくなった	27
パソコンの使用環境を変更したら、Windows 98が起動しない	28
電源が切れない。強制的に電源を切りたい	28
電話回線を使用中のまま、パソコンの電源を切ってしまった	30
マウス、キーボードを使っていたら・・・	31
マウス、キーボードに飲み物をこぼしてしまった	31
マウスを動かしても、何も反応しない	31
キーボードのキーを押しても、何も反応しない	32
キーボードのUSBコネクタに接続した機器が動作しない	33
アプリケーションを使っていたら・・・	34
アプリケーションが起動しなくなった	34
パソコンに添付のアプリケーションを追加または削除したい	35
アプリケーションが突然止まった(フリーズした)	36
アプリケーションについて問い合わせをしたい	36
周辺機器を取り付けようとしたら・・・	37
別売の周辺機器を取り付けたらパソコンが起動しなくなった	37
別売の周辺機器を取り付けたが、正しく動作しない	38
省電力機能(スタンバイ)を使おうとしたら・・・	39
スタンバイ状態にする前の状態の画面が表示されない	39
自動的にスタンバイ状態になってしまう	40
自動的にスタンバイ状態にならない	40
スタンバイ状態にならない。「コントロールパネル」の「電源の管理」 で設定してもスタンバイ状態にならない	41
スタンバイ状態にしようとしたら「デバイスドライバかプログラムが 原因で待機モードに入れません。すべてのプログラムを終了してから もう一度やり直してください。」と表示された。またはスタンバイ状態 にできない	41
スタンバイ状態にできない。または、省電力を設定しても自動スリープ 機能が利用できない	42
休止状態にできない	42
パスワードを入力しようとしたら・・・	43
パスワードを入力すると「入力されたパスワードが間違っています」 と表示される	43
パスワードを忘れてしまった	43
コンピュータウイルスが発見されたら・・・	44
コンピュータウイルスが検出された	44

PART

2



その他・・・	45
添付品に足りないものがあった	45
添付品の接続のしかたがわからない	45
BIOSセットアップメニューの設定値を、購入時の状態に戻せない	45
このパソコンを廃棄したい	45
やりたいことが、どのマニュアルに載っているかわからない	46
CD-ROM (DVD-ROM) が取り出せない	46
MS-DOSプロンプト画面がフルスクリーンになった。元に戻したい	47
「サポートセンタ」が表示されない。起動しない	47

再セットアップするには 49

再セットアップが必要なのは	50
再セットアップが必要なのはこんなときです	50
再セットアップに関する注意	50
標準再セットアップとカスタム再セットアップ	51

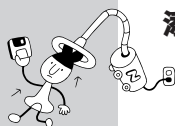
購入したときと同じ状態にする(標準再セットアップ) 52

全領域を1パーティションにして再セットアップする (カスタム再セットアップ)	67
---	----

Cドライブのみ再セットアップする(カスタム再セットアップ) 70

ハードディスクの領域を自由に設定して再セットアップする (カスタム再セットアップ)	74
--	----

付 録 89



添付品の修復、再入手、交換、補修用性能部品	90
フロッピーディスクとCD-ROM	90
ディスプレイ	90
補修用性能部品の最低保有期間	90

譲渡、廃棄、改造について 91

このパソコンを譲渡するには	91
この製品を廃棄するには	92
このパソコンの改造	92



索引	93
----------	----

やりたいこと別総索引	95
------------------	----

トラブルチェックシート	113
-------------------	-----

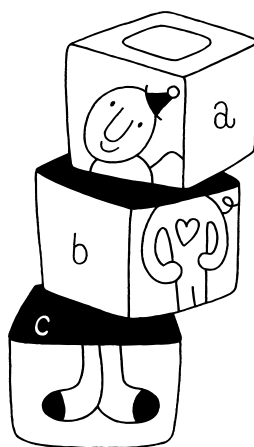
P A R T

1

トラブル解決 Q&A

パソコンを使っていてなにかトラブルが起きたときは、ここを読んであてはまる項目をさがしてください。

何か疑問があるときも、ここを読んでください。



トラブル解決への 第一歩

ここでは、トラブルが起こったときに覚えておくとう便利な操作について説明します。

データのバックアップと復元

ハードディスクに保存されているデータは、絶対安全なものではありません。パソコンにトラブルがあった場合、Windows 98 そのものやアプリケーションなどはバックアップ CD-ROM などを使って復元できますが、自分で作成したデータはバックアップを取っておかないと復元できません。万一の事態に備えて、定期的にバックアップを取っておくことをおすすめします。

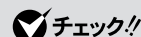
バックアップ先を決める

バックアップするにはバックアップ先となるメディア（記憶媒体）が必要です。代表的なバックアップ先としては次のとおりです。バックアップ先を考えるときの参考にしてください。

- ・ Dドライブ
- ・ 外付けのハードディスク
- ・ フロッピーディスク
- ・ MO、Zip、CD-RW など、容量が大きいリムーバブルディスク



上手にバックアップを取るヒント→
『練習! パソコンの基本』PART5 の
「バックアップを取る」



チェック!!
D ドライブは、購入時はデータが何も入っていないドライブです。

<再セットアップする場合、バックアップ先には要注意>

Windows 98を再セットアップする場合、バックアップ先には注意が必要です。標準再セットアップをする
と、内蔵ハードディスク(CドライブとDドライブ)の内容がすべて消えて、パソコンは購入したときと同じ
状態に戻ります。つまり、Dドライブにバックアップしたデータも一瞬にして消えてしまいます。
標準再セットアップをするときは、必ず外付けのハードディスクやフロッピーディスク、MO、Zip、CD-RW
などにバックアップを取ってください。

再セットアップ方法	バックアップ先
標準再セットアップ(p.52)	・外付けのハードディスク ・フロッピーディスク ・MO、Zip、CD-RW など
全領域を1パーティションにして再セットアップする(p.67)	
ハードディスクの領域を自由に設定して再セットアップする(p.74)	
Cドライブのみを再セットアップする(p.70)	・Dドライブ ・外付けのハードディスク ・フロッピーディスク ・MO、Zip、CD-RW など

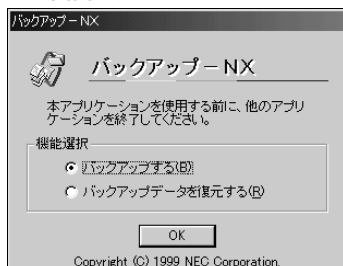
アプリケーションのデータをバックアップ

●「バックアップ-NX」でバックアップ

「バックアップ-NX」はアプリケーション名を選ばだけで、データを一括してバックアップおよび復元することができます。

- 1 「スタート」ボタン、「プログラム」、「アプリケーション」、「バックアップ-NX」の順にクリックします。

次の画面が表示されます。



- 2 「バックアップする」が ☒ (オン) になっていることを確認して、「OK」ボタンをクリックします。

次のウィンドウが表示されます。



- 3 「バックアップするアプリケーション」でバックアップするアプリケーションをクリックして、☒ (オン) にします。
フロッピーディスク、MO、Zipなどにバックアップする場合はセットしてください。

- 4 「バックアップデータを保存する場所」を指定してください。
保存する場所は標準の状態では「D:\」(Dドライブ)が選択されています。外付けのハードディスクやフロッピーディスク、MO、Zipなどに変更する場合は「フォルダの変更」ボタンをクリックして、バックアップ先を指定してください。

- 5 「開始」ボタンをクリックします。
「次のフォルダにバックアップを開始します。よろしいですか？」と表示されます。

- 6 「OK」ボタンをクリックします。
バックアップが終了すると「バックアップが正常終了しました。」と表示されます。

- 7 「閉じる」ボタンをクリックします。

- 8 「バックアップ-NX」ウィンドウで「閉じる」ボタンをクリックします。

参考

「バックアップ-NX」の使い方 → 「サポートセンタ」-「困ったときのQ&A」-「トラブルの予防」-「バックアップ-NX」

チェック!!

アプリケーションのデータの保存先を初期設定から変更していたり、同じフォルダ内の一部のデータだけをバックアップしたい場合は、手順2で「設定の変更」ボタンをクリックします。次のウィンドウが表示されますので、保存フォルダやファイルの種類を指定してください。



アプリケーションによっては、自動的にフォルダを作成して、そこにデータを保存するものがあります。そのようなデータは、初期設定のままでは保存されません。保存する前に、そのデータを保存する設定が必要です。

メモ

「ハローキティのハッピーメール」および「Outlook Express 5」のメールデータやアドレス帳の内容をバックアップするには、手順3で「ハローキティのハッピーメール」および「Outlook Express 5」をクリックして ☒ (オン) にしてください。それ以外のメールソフトをお使いの場合は、メールソフトのヘルプなどでバックアップの方法を確認してください。

●自分で検索してバックアップ

「バックアップ-NX」以外にも、Windows 98の検索機能を利用してデータのバックアップを取る方法があります。「スタート」ボタン、「検索」、「ファイルやフォルダ」の順にクリックし、表示される「検索」ウィンドウでファイルを調べ、「ドラッグ&ドロップ」でデータをバックアップ先に保存します。手順については、『練習! パソコンの基本』PART5の「バックアップこんなときは」をご覧ください。

インターネット接続の設定をバックアップ

●BIGLOBEに入会しているとき

「BIGLOBE かんたん設定ナビ」を使うと、インターネット接続の設定をバックアップおよび復元することができます。次の手順にしたがってください。

- 1 「スタート」ボタン、「プログラム」、「BIGLOBEツール」、「インターネット接続ツール」の順にクリックします。
「BIGLOBEインターネット接続ツール」ウィンドウが表示されます。
- 2  ボタンをクリックします。
「かんたん設定ナビ」ウィンドウが表示されます。
- 3  ボタンをクリックします。
「バックアップ関連」のウィンドウが表示されます。
- 4 「バックアップデータの作成と保存」ボタンをクリックします。
「データ保存」ウィンドウが表示されます。フロッピーディスクにバックアップするときは、フロッピーディスクドライブにフロッピーディスクをセットしてください。
- 5 データの保存場所を選択して、「保存」ボタンをクリックします。
フロッピーディスク以外に保存するときは、「参照」ボタンをクリックして、保存するフォルダを選択します。
- 6 「保存」ボタンをクリックします。
「バックアップ完了」ウィンドウが表示されます。
- 7 「OK」ボタンをクリックします。
「かんたん設定ナビ」ウィンドウに戻ります。
- 8 「終了」ボタンをクリックします。

✓チェック!!

ダイヤルアップ接続のパスワードをバックアップすることはできません。

📖参照

「BIGLOBE かんたん設定ナビ」の使い方→「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-「添付ソフトの使い方」-「BIGLOBEかんたん設定ナビ」

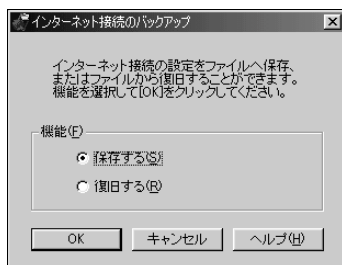
🔍メモ

「BIGLOBE かんたん設定ナビ」はデスクトップのアイコンをダブルクリックしても起動することができます。

●BIGLOBE 以外に入会しているとき

「インターネット接続のバックアップ」を使うとインターネット接続の設定情報をバックアップおよび復元することができます。次の手順にしたがってください。

- 1 「スタート」ボタン、「プログラム」、「アプリケーション」、「インターネット接続のバックアップ」の順にクリックします。
「インターネット接続のバックアップ」ウィンドウが表示されます。



- 2 「保存する」が ☒ (オン) になっていることを確認して、「OK」ボタンをクリックします。
フロッピーディスクに保存するときは、フロッピーディスクドライブにフロッピーディスクをセットします。
- 3 「ファイルへ保存」ウィンドウで「保存する場所」をクリックし、ファイル名を入力(標準では、internet.ibd)して、「保存」ボタンをクリックします。
「保存しました。」と表示されます。
- 4 「OK」ボタンをクリックします。
- 5 をクリックします。

アプリケーションのデータを復元

●「バックアップ-NX」でバックアップしたアプリケーションのデータを復元

「バックアップ-NX」(p.3)でバックアップしたアプリケーションのデータを復元するには、次の手順にしたがってください。

- 1 「スタート」ボタン、「プログラム」、「アプリケーション」、「バックアップ-NX」の順にクリックします。
- 2 「バックアップデータを復元する」をクリックし、☒ (オン) にして、「OK」ボタンをクリックします。
フロッピーディスク、MO、Zip などにバックアップした場合はセットしてください。
- 3 「復元するアプリケーションデータの場所」の をクリックして、表示されたメニューから選択します。
メニューが表示されない場合は、「フォルダの変更」ボタンをクリックして、復元するデータの場所を指定してください。

✓チェック!

ダイヤルアップ接続のパスワードをバックアップすることはできません。

📖 参照

「インターネット接続のバックアップ」の使い方 → 「サポートセンタ」-「困ったときのQ&A」-「トラブルの予防」-「インターネット接続のバックアップ」

📖 参照

「バックアップ-NX」の使い方 → 「サポートセンタ」-「困ったときのQ&A」-「トラブルの予防」-「バックアップ-NX」

- 4 「復元するアプリケーション」で復元するアプリケーションをクリックして、☒ (オン) にします。
- 5 「復元方法」欄の復元方法を指定します。
- 6 「開始」ボタンをクリックします。
「復元を開始します。よろしいですか？」と表示されます。
- 7 「OK」ボタンをクリックします。
復元が終了すると、「復元は正常終了しました。」と表示されます。
- 8 「閉じる」ボタンをクリックします。
「Windowsを再起動しますか？」と表示されます。フロッピーディスクをセットしているときは取り出します。
- 9 「OK」ボタンをクリックします。
パソコンが再起動します。

●自分で検索してバックアップしたデータの復元

「自分で検索してバックアップ」(p.4)でバックアップしたデータは、バックアップ元のフォルダにファイルを移動またはコピーしてください。

インターネット接続の設定を復元

●「BIGLOBE かんたん設定ナビ」でバックアップしたデータの復元

「BIGLOBEかんたん設定ナビ」(p.4)でバックアップしたデータを復元するには、次の手順にしたがってください。

- 1 「スタート」ボタン、「プログラム」、「BIGLOBEツール」、「インターネット接続ツール」の順にクリックします。
「BIGLOBEインターネット接続ツール」ウィンドウが表示されます。
- 2  ボタンをクリックします。
「かんたん設定ナビ」ウィンドウが表示されます。
- 3  ボタンをクリックします。
「バックアップ関連」のウィンドウが表示されます。
- 4 「バックアップデータを使った再設定」ボタンをクリックします。
「データ再設定」のウィンドウが表示されます。バックアップデータをフロッピーディスクに保存しているときはフロッピーディスクドライブにフロッピーディスクをセットしてください。
- 5 バックアップしたデータの保存場所を選択して、「次へ」ボタンをクリックします。
- 6 「再設定するユーザID/アカウント名」をクリックし「再設定」ボタンをクリックします。
「パスワードの設定」ウィンドウが表示されたときは、手順 7 へ進んでください。
「パスワードは設定されていません。」と表示されたときは、「OK」ボタンをクリックして、手順 8 へ進んでください。

参照

「BIGLOBEかんたん設定ナビ」の使い方→ 「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-「添付ソフトの使い方」-「BIGLOBEかんたん設定ナビ」

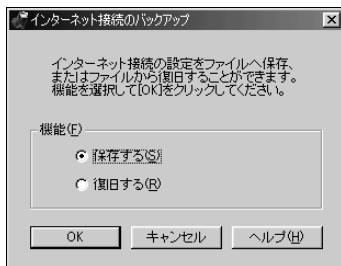
メモ

「BIGLOBE かんたん設定ナビ」はデスクトップの  アイコンをダブルクリックしても起動することができます。

- 7 パスワードを入力して、「OK」ボタンをクリックします。
「Internet Explorerの設定をします。」と表示されます。
- 8 「はい」ボタンをクリックします。
「バックアップの復旧完了」ウィンドウが表示されます。
- 9 「OK」ボタンをクリックします。
「かんたん設定ナビ」ウィンドウに戻ります。
- 10 「終了」ボタンをクリックします。
フロッピーディスクをセットしているときは取り出します。
「再起動しますか？」と表示されます。
- 11 「はい」ボタンをクリックします。
パソコンが再起動します。

●「インターネット接続のバックアップ」でバックアップしたデータの復元
「インターネット接続のバックアップ」(p.5)でバックアップしたデータを
復元するには、次の手順にしたがってください。

- 1 「スタート」ボタン、「プログラム」、「アプリケーション」、「インター
ネット接続のバックアップ」の順にクリックします。
「インターネット接続のバックアップ」ウィンドウが表示されます。



- 2 「復旧する」をクリックして ☒ (オン) にして、「OK」ボタンをクリックします。
「ファイルから復旧」ウィンドウが表示されます。バックアップデータをフロッピーディスクに保存しているときは、フロッピーディスクドライブにフロッピーディスクをセットします。
- 3 バックアップしたデータ(標準では「internet.ibd」)の保存場所をクリックし、「開く」ボタンをクリックします。
「次のファイルからインターネット接続の設定を復旧します。よろしいですか？」と表示されます。
- 4 「はい」ボタンをクリックします。
「復旧は終了しました。再起動しますか？」と表示されます。
フロッピーディスクをセットしているときは取り出します。
- 5 「はい」をクリックします。
パソコンが再起動します。

✓チェック!!

パスワードは、BIGLOBE 会員証を
ご覧になり入力してください。

📖 参照

「インターネット接続のバックアップ」の使い方 → 「サポートセンタ」-
「困ったときのQ&A」-「トラブルの予防」-「インターネット接続のバックアップ」

スキャンディスクの使い方

このマニュアルでは、トラブル解決のために、スキャンディスクを使うことが多いので、操作のしかたについて説明します。

スキャンディスクは、Windows 98 やアプリケーションの動作不良や強制終了によるデータの書き損じなどのトラブルを検査、修復します。

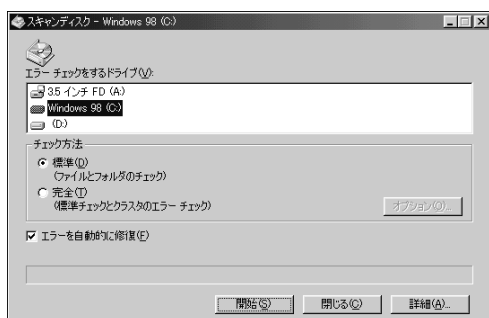
また、パソコンが異常終了した直後の再起動時には、自動的にスキャンディスクが実行されハードディスクを修復します。

Windows 98 が起動するとき

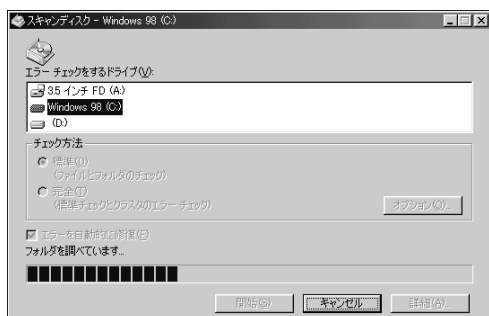
Windows 98 が起動するときは、次の手順で Windows 98 のスキャンディスクを実行してください。

スキャンディスクを実行する前に、起動中のアプリケーションや常駐しているソフトウェアなどを終了させてください。また、スキャンディスクが終了するまで、一切の操作を行わないでください。

- 1 「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」、「アクセサリ」、「システムツール」、「スキャンディスク」の順にクリックします。
「スキャンディスク」ウィンドウが表示されます。



- 2 「エラーチェックするドライブ」から、チェックしたいドライブをクリックします。
- 3 「チェック方法」の「標準」の をクリックして (オン) にします。
- 4 「エラーを自動的に修復」の をクリックして、 (オン) にします。
- 5 「開始」をクリックします。
ハードディスクのチェックがはじまります。



参照

スキャンディスクについて→「サポートセンタ」-「困ったときのQ&A」-「トラブルの予防」-「スキャンディスク」

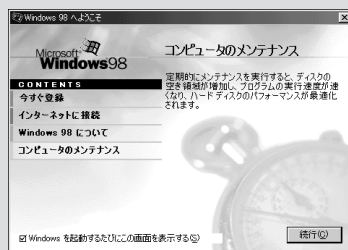
チェック!!

ハードディスクにトラブルが起きたときは、「スキャンディスク」が自動的に起動することがあります。

チェック!!

トラブルを予防するために毎日 1 回または、週に 1 回など定期的に「スキャンディスク」でハードディスクをチェックすることをおすすめします。また、メンテナンスウィザードを利用すると、スキャンディスクなどのシステムツールが定期的に行われるよう設定できます。

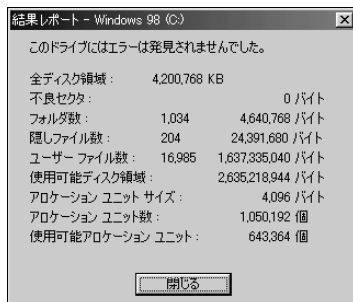
メンテナンスウィザードは「スタート」ボタンから「プログラム」、「アクセサリ」、「システムツール」、「Windows 98 へようこそ」の順にクリックして「コンピュータのメンテナンス」をクリックすると起動することができます。



参照

メンテナンスウィザードについて→「サポートセンタ」-「困ったときのQ&A」-「トラブルの予防」

ハードディスクのチェックが終わると、「結果レポート」が表示されます。



6 「結果レポート」ウィンドウの「閉じる」ボタンをクリックします。

「スキャンディスク」ウィンドウに戻ります。

7 「スキャンディスク」ウィンドウの「閉じる」ボタンをクリックします。

◆「結果レポート」で重大な問題が発見されたというメッセージが表示されたら
この場合は、手順3で「チェック方法」の「完全」をクリックして、 (オン)にし、もう一度スキャンディスクを実行してください。完全チェックには標準チェックより時間がかかることがあります。

Windows 98 が起動しないとき

Windows 98 が起動しないときは、次の手順でスキャンディスクを実行してください。

1 パソコン本体の電源を入れます。

2 NEC ロゴが表示されたら、「Microsoft Windows 98 Startup Menu」が表示されるまで【Ctrl】キーを押し続けます。
「Microsoft Windows 98 Startup Menu」が表示されます。

3 【↓】キー、【↑】キーを使って「5.Command Prompt Only」を選び、【Enter】キーを押します。

4 キーボードで次の順にキーを押します。
【S】【C】【A】【N】【D】【I】【S】【K】【Enter】

ハードディスクのチェックがはじまります。エラーが発見されたときには、メッセージが表示されますので、修復を実行してください。破損したファイルの修復のために「ファイルに変換する」などを選びます。チェックが進むと「クラスタスキャンを実行しますか?」というメッセージが表示されます。

5 【←】キー、【→】キーを使って「いいえ」を選び、【Enter】キーを押します。

6 【X】キーを押します。

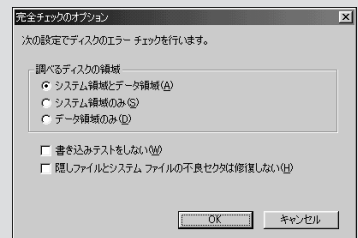
スキャンディスクの操作はこれで終わりです。電源スイッチを押して、電源を切り、5秒以上待ってからもう一度、電源スイッチを押して、電源を入れます。

✓チェック!!

左の画面は「結果レポート」の例です。

メ モ

「チェック方法」の「完全」をクリックして、 (オン)にし「オプション」ボタンをクリックすると、さらに詳細な設定を行うことができます。



✓チェック!!

スキャンディスクを行っても Windows 98 が起動しないときや、重大な問題が発見されたというメッセージが表示されたときは、再セットアップを行ってください。

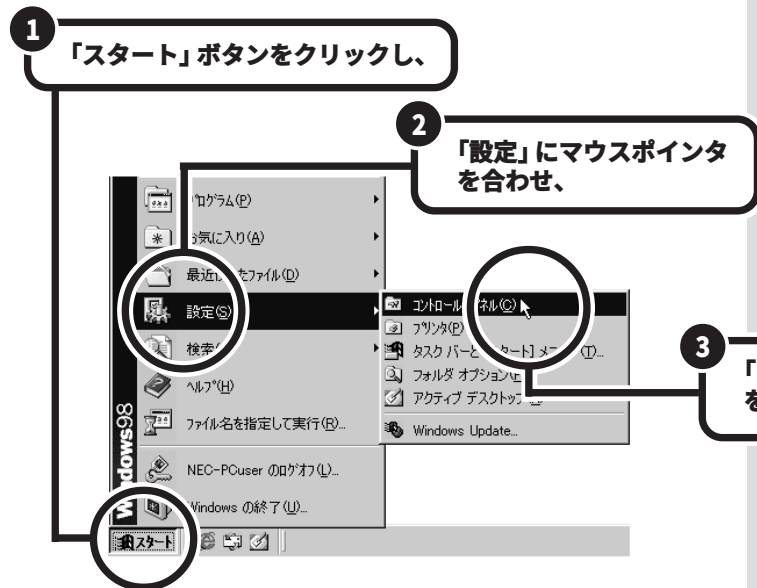
参考

再セットアップ→「PART2 再セットアップするには」(p.49)

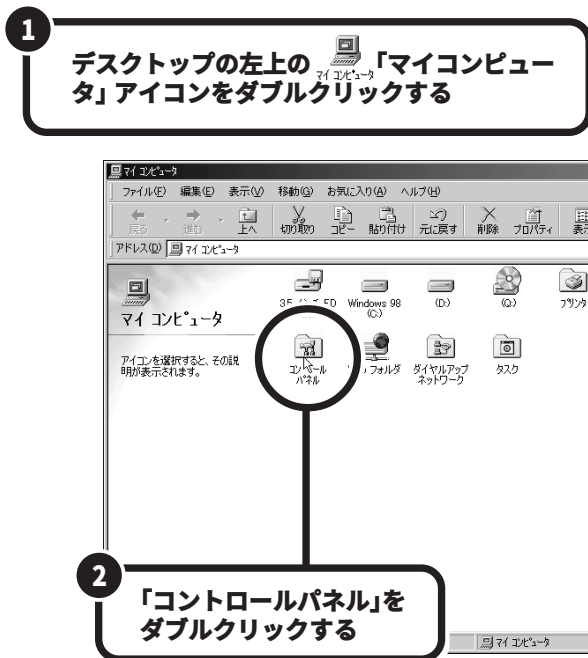
コントロールパネルの開き方

トラブルの解決のために、コントロールパネルを使うことが多いので、ここで、コントロールパネルの開き方を説明します。

コントロールパネルは、次のようにして開きます。



次の方法で開くこともできます。



チェック!

コントロールパネルのアイコンの中には、このパソコンの状態が Cyber Trio-NX で「ベーシックモード」になっていると開けないものがあります（ご購入時は「ベーシックモード」になっています）。

これらのアイコンを開いて設定を変更したいときは、「アドバンスモード」にしてください（p.12）。

コントロールパネル



（画面は実際の画面と異なることがあります）

参照

コントロールパネル→『練習! パソコンの基本』PART7の「コントロールパネルを使う」

デバイスマネージャを表示する

パソコンの環境を確認したり、周辺機器の設定を変更したいときに見るのがデバイスマネージャの画面です。パソコンの調子がおかしいときに見ると、トラブルの解決に役立つ情報がわかることがあるので、ここでデバイスマネージャの開き方を説明します。

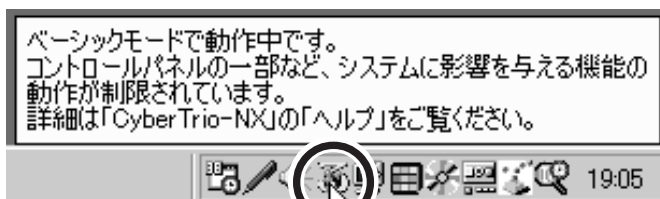
現在のモードを確認する

デバイスマネージャの画面は、このパソコンの状態を CyberTrio-NX で「アドバンスモード」に変更すると表示できます。

「ベーシックモード」でお使いになっているときは、次の「アドバンスモードに切り替える」にしたがって「アドバンスモード」にしてください。ご購入時の状態では、「ベーシックモード」になっています。

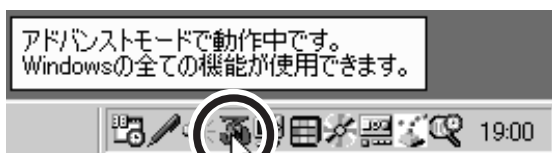
インジケータ領域（タスクトレイ）に表示されているアイコンで現在のモードを見分けることができます。

◆ベーシックモードになっているとき



アイコンの色が黄色になっています。マウスポインタを合わせると「ベーシックモードで動作中…」と表示されます。

◆アドバンスモードになっているとき



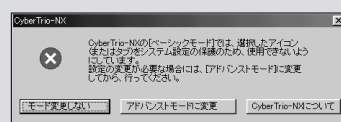
アイコンの色が赤色になっています。マウスポインタを合わせると「アドバンスモードで動作中…」と表示されます。

参考

CyberTrio-NX → 「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-「添付ソフトの使い方」-「CyberTrio-NX」

チェック!

「ベーシックモード」の状態では「コントロールパネル」の「システム」を起動しようすると、次の画面が表示されます。



この場合は「アドバンスモードに変更」ボタンをクリックしてください。しばらくするとアドバンスモードに切り替わります。「システム」を起動しない場合は「モード変更しない」ボタンをクリックしてください。

アドバンストモードに切り替える

ベーシックモードから、アドバンストモードにするときは、次のように操作します。

- 1 「スタート」ボタンをクリックします。
- 2 「プログラム」、「CyberTrio-NX」の順にマウスポインタを合わせます。
- 3 「Go to アドバンストモード」をクリックします。
しばらくするとアドバンストモードに切り替わります。

デバイスマネージャの画面を表示する

- 1 「コントロールパネル」を開きます。(p.10)
- 2 「システム」をダブルクリックします。
- 3 「デバイスマネージャ」タブをクリックします。
デバイスマネージャの画面が表示されます。

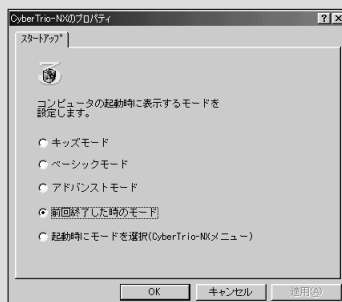


✓チェック!!

CyberTrio-NXでは、次に起動するときにどのモードにするかを選ぶことができます。

「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」、「CyberTrio-NX」、「CyberTrio-NXセットアップ」の順にクリックします。

次の画面が表示されます。



選びたいモードの  をクリックして  (オン)にし、「OK」ボタンをクリックします。

✓チェック!!

デバイスマネージャでの設定が完了したあとは、「ベーシックモード」に戻して、お使いいただくことをおすすめします。

パソコンが動かない・・・

いきなり電源プラグや電源ケーブルを抜かないで、落ち着いて対処してください。

急に動かなくなった

Windowsやアプリケーションに何らかの異常が起きていることが考えられます。「電源を入れたが/切ろうとしたが・・・」の「電源が切れない。強制的に電源を切りたい」にある「異常が起きているアプリケーションを終了させる方法」(p.29)以降をご覧ください。

パソコンの電源を入れると、NECロゴが表示された後、画面がまっくらになる

電源スイッチを押すと、「NEC」ロゴが表示された後、画面がまっくらになるときは、次の手順にしたがってください。

◆Safeモードで起動する

パソコン本体の電源スイッチを約4秒以上押して、いったん電源を切ってから、「Safeモードで起動したい」(p.16)をご覧ください。SafeモードでWindows 98を起動してください。SafeモードでWindows 98が起動しない場合は、次の「◆「Microsoft Windows 98 Startup Menu」で起動する」に進んでください。

◆「Microsoft Windows 98 Startup Menu」で起動する

- 1 電源ランプがついているときは、パソコン本体の電源スイッチを約4秒以上押して、いったん電源を切ります。
- 2 5秒以上たってから、パソコン本体の電源を入れます。
- 3 NECロゴが表示されたら、「Microsoft Windows 98 Startup Menu」が表示されるまで【Ctrl】キーを押しつづけます。
- 4 【↑】キー、【↓】キーを使って「5.Command Prompt Only」を選び、【Enter】キーを押します。
- 5 キーボードで次のように入力します。
[S][C][A][N][D][I][S][K][Enter]
スキャンディスクが実行され、ハードディスクのチェックが始まります。

メモ

画面が突然まっくらになったときには、パソコンがスタンバイ状態になったか、ディスプレイの省電力機能が働いたことが考えられます。このときは、マウスを動かすか、キーボードの【スリープ】ボタン、キーボードのいずれかのキーを押してください。

✓チェック!!

- ・ ひんぱんに強制終了を行うとハードディスクが故障することがあります。
- ・ 強制終了を行うと直後の再起動時にスキャンディスクが自動的に起動します。

✓チェック!!

フロッピーディスクがフロッピーディスクドライブにセットされていたら、取り出して、電源スイッチを押してください。

✓チェック!!

「Microsoft Windows 98 Startup Menu」が表示されない場合は、次の「◆「Windows 98起動ディスク」から起動する」に進んでください。

エラーが発見されたときは、メッセージが表示されますので、修復を実行してください。破損したファイルの修復のために「ファイルを変換する」などを選びます。チェックが進むと「クラスタスキャンを実行しますか?」というメッセージが表示されます。

6 [←]キー、[→]キーを使って「いいえ」を選び、[Enter]キーを押します。

7 [X]キーを押します。

パソコン本体の電源スイッチを約4秒以上押して電源を切り、5秒以上待ってから、もう一度電源スイッチを押して電源を入れます。

電源を入れてもWindowsが起動しない場合は、次の手順を行ってください。

◆「Windows 98起動ディスク」から起動する

1 パソコン本体の電源スイッチを約4秒以上押して、いったん電源を切ります。

2 電源を入れ、すぐにフロッピーディスクドライブに「Windows 起動ディスク1」をセットします。

フロッピーディスクドライブからパソコンが起動します。「Microsoft Windows 98 Startup Menu」が表示されます。

3 「Start computer with CD-ROM support.」が選択されていることを確認して、[Enter]キーを押します。

しばらくすると、「キーボードのタイプを判定します」と表示されます。

4 [半角/全角]キーを押します。

「106キーボードが選択されました」と表示されます。

しばらくすると、「Windows 98 起動ディスク 2を挿入してください。続けるにはどれかキーを押してください」と表示されます。

5 フロッピーディスクドライブから、「Windows 98 起動ディスク 1」を取り出し、「Windows 98 起動ディスク 2」をセットして、何かキー([Enter]キーなど)を押します。

しばらくするとコマンドプロンプト(「A:\>」)が表示されます。

これで、Windows 98起動ディスクからのパソコンの起動が完了しました。

再びハードディスクから起動したい場合は、フロッピーディスクドライブからWindows 98起動ディスクを取り出して、電源を入れ直してください。さらに、スキャンディスクでハードディスクのトラブルを解決したいときは、次の手順にしたがってください。

✓チェック!!

「Windows 98 起動ディスク」は、ハードディスクからWindows 98が起動しなくなったときにフロッピーディスクからWindows 98のシステムを起動し、スキャンディスクを実行するためのフロッピーディスクです。「コントロールパネル」の「アプリケーションの追加と削除」で作成できます。万一、システムが起動しなくなったときのために、Windows 98 起動ディスクを作成することをおすすめします。

📖 参照

Windows 98 起動ディスクの作り方→『拡張!活用! バリュースター』PART10の「Windows 98 起動ディスク」

✓チェック!!

「Windows 98 起動ディスク 1」から起動しない場合は、Windows 起動ディスク 1 のセットが遅いのが原因です。約 4 秒以上電源スイッチを押して電源を切り、5 秒以上待ってから、CD-ROM がセットされた状態で電源を入れ直します。

📌メモ

Windows 98 起動ディスクで起動した場合にこれらのコマンドを使用できます。

edit	テキストファイルを編集します。
fdisk	ハードディスクの領域を確保します。
format	ディスクを初期化します。
scandisk	ディスクのエラーを検査し、修復します。
sys	起動用のシステムをドライブへ転送します。

✓チェック!!

スキャンディスクを行ってもパソコンが起動しなかったり、重大な問題が発見されたというメッセージが表示されたときは、再セットアップ(p.49)を行ってください。

スキャンディスクの起動と終了

- 1 キーボードで次の順にキーを押します。
[C][:][Enter]
[S][C][A][N][D][I][S][K][Enter]
スキャンディスクが実行され、ハードディスクのチェックがはじまります。エラーが発見されたときは、メッセージが表示されますので、「ファイルに変換する」を選んで修復を実行してください。「クラスタスキャンを実行しますか?」というメッセージが表示されます。
- 2 [←]キー、[→]キーで<いいえ(N)>を選んで、[Enter]キーを押します。
- 3 [X]キーを押します。
スキャンディスクの操作は終了です。ハードディスクから再起動したいときは、Windows 98起動ディスクをフロッピーディスクドライブから取り出して、パソコン本体の電源スイッチを約4秒以上押して、電源を切ってください。5秒以上待ってからもう一度、電源スイッチを押して、電源を入れます。

周辺機器を取り付けて電源を入れたら、パソコンが起動しない

「周辺機器を取り付けようとしたら…」の「別売の周辺機器を取り付けたらパソコンが起動しなくなった」(p.37)をご覧ください。

パソコンの電源が切れない

「電源を入れたが/切ろうとしたが…」の「電源が切れない。強制的に電源を切りたい」にある「Windowsを強制終了させて電源を切る方法」(p.29)をご覧ください。

メモ

再セットアップを行うと購入後に保存したファイルやインストールしたアプリケーションは消えてしまいます。大切なデータは必ずバックアップを取ってから再セットアップしてください。このパソコンにはアプリケーションごとに作成したデータをバックアップできる「バックアップ-NX」があります。

参照

バックアップ-NXについて→「サポートセンタ」-「困ったときのQ & A」-「トラブルの予防」-「バックアップ-NX」、「データのバックアップと復元」(p.2)

チェック!!

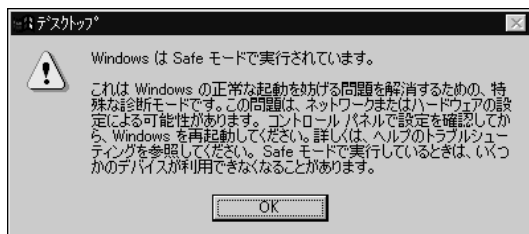
- ・ひんぱんに強制終了を行うとハードディスクが故障することがあります。
- ・強制終了を行うと直後の再起動時にスキャンディスクが自動的に起動します。

Safeモードで起動したい

Safeモードはトラブルが発生したときに、最小限のシステム環境で起動できるWindowsの起動モードのひとつです。Safeモードでいったんパソコンを起動し、スキャンディスクなどのシステムツールでトラブルを解決してパソコンを再起動すると、正常なWindows 98に戻れることがあります。

次の操作にしたがってください。

- 1 パソコンの電源を入れて、Windows 98を起動します。
- 2 「NEC」のロゴ画面が表示されたら、【F5】キーを押しつづけます。
- 3 「キーボードのタイプを判定します」と表示されたら、【半角/全角】キーを押します。
「Windows 98はSafeモードで実行されています。」と表示されます。



- 4 「OK」ボタンをクリックします。
これで、パソコンはSafeモードで起動しました。

トラブルを解決したいときは、さらに、次の手順でスキャンディスクを実行します。

Safeモードでのスキャンディスクの実行

- 1 「スキャンディスクの使い方」の「Windows 98が起動するとき」(p.8)にしたがって、スキャンディスクを実行してください。
- 2 スキャンディスクが終了したら、「スタート」ボタンから「Windowsの終了」をクリックし「再起動する」を  (オン) にします。
- 3 「OK」ボタンをクリックします。
パソコンが起動します。

✓チェック!!

Safeモードでは、最小限の機能しか使えません。CD-ROMドライブやプリンタなどは使えません。

📖参照

CyberTrio-NXの「ベーシックモード」の状態では、Safeモードを起動すると、デバイスマネージャによるハードウェアの設定変更ができなくなります。設定変更ができるようにするには、「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-「添付ソフトの使い方」-「CyberTrio-NX」-「ベーシックモード」-「ベーシックモードでの注意」をご覧ください。

✓チェック!!

Safeモードで起動した後、「スタート」メニューから「Windowsの終了」、「再起動する」をクリックして「OK」ボタンをクリックし、再起動して問題がなければ、正常な状態に戻ります。

✓チェック!!

スキャンディスクを行ってもパソコンが起動しなかったり、重大な問題が発見されたというメッセージが表示されたときは、再セットアップ(p.49)を行ってください。

パソコンが こわれそう…

パソコンの内部から、カリカリと物をひっかくような音がしたり、ガガガとひっかかるような音がしたときなど、異常と思われることが起きたら、ここをご覧ください。

パソコンの様子がおかしい。煙や異臭、異常な音がしたり、手でさわれないほど熱い。パソコンやケーブル類に目に見える異常が生じた

すぐに電源を切って、電源ケーブルのプラグをコンセントから抜き、ご購入元、NECサービスセンター、サービスステーションにご相談ください。

パソコンを使っているとカリカリと変な音がする

パソコンの電源を入れた状態でなにも作業をしていないときに、ハードディスクが勝手に動作することがあります。これはパソコンが自動的にデータの保存などの作業をしているためであり、問題はありません。

ただし、ハードディスクの空き容量が少ないときや、ハードディスク上のデータの断片化が激しいときは、ハードディスクの動作に負担がかかり、ハードディスクのアクセス音がしばらく続くことがあります。このようなときはデフラグやディスククリーンアップを実行してください。

それでも、あまりにも異常な音がするときや、このような状態が頻繁に続くときは、ご購入元、NECサービスセンター、サービスステーションにご相談ください。

メモ

このパソコンを安全に使うための注意事項を『安全にお使いいただくために』に記載しています。必ず読んで注意事項を守ってください。

参照

電源の切り方→「電源が切れない。強制的に電源を切りたい」(p.28)

参照

NECのお問い合わせ先→『NEC PC あんしんサポートガイド』、「サポートセンタ」-「サービス&サポート」

メモ

データの断片化とは、データがハードディスクの空いているところに、バラバラに保存される状態をいいます。

参照

デフラグ、ディスククリーンアップについて→「サポートセンタ」-「困ったときのQ&A」-「トラブルの予防」-「デフラグ」-「ディスククリーンアップ」

はじめて電源を入れたら・・・

買ってきて、はじめてパソコンを使うときは、まず、設定などの作業が必要です。

セットアップの途中で、誤って電源を切ってしまった

5秒以上たってから電源を入れ直してください。「Windows 98へようこそ」の画面が表示されたら、『まずこれ! 接続と準備』をご覧になり、そのままセットアップを続けてください。電源を入れても「Windows 98へようこそ」の画面が表示されないときは、システムが壊れている可能性がありますので、「PART2 再セットアップするには」(p.49)をご覧になり、再セットアップしてください。その場合、名前など最初のセットアップ時に入力した内容は消えてしまいますので、再度入力してください。

ハードウェアの検出中にパソコンが動かなくなった(フリーズした)

Windows 98のセットアップでは、正常に処理が行われていても、数分～十数分間、画面が止まったようになることがあります。画面が止まったように見えてもすぐに電源を切らないでください。

十数分待っても画面の表示が変わらないときや、十数分間ハードディスクアクセスランプが点滅しないときは、電源スイッチを約4秒以上押し続けて強制的に電源を切り、5秒以上待ってから、もう一度、電源スイッチを押して、電源を入れます。再起動後、前述の「セットアップの途中で、誤って電源を切ってしまった」と同じ手順で操作してください。

 参照

『まずこれ! 接続と準備』の「PART3 電源を入れてパソコンを使えるようにする」

 参照

再セットアップ→「PART2 再セットアップするには」(p.49)

用語

フリーズ

どんな操作を行っても、パソコンやアプリケーションが反応しなくなること。アプリケーションが不正な動きをしたり、周辺機器に異常が発生したときなどに起きます。ウィンドウを動かしたり、文字を入力することはできないが、マウスだけは動かせるということもあります。フリーズしたことを、ハングアップした、ストールした、落ちた、固まったなどともいいます。

 参照

電源の切り方→「強制的に電源を切る方法」(p.30)

キーボードを接続したがうまく動作しない

☹️➡️😊 ディスプレイは正しく接続されていますか？(セットの液晶ディスプレイの場合)

キーボードを液晶ディスプレイに接続するときは、本体と液晶ディスプレイが正しく接続されていないと、キーボードが動作しません。

☹️➡️😊 キーボードを別売のUSBハブなどのUSBコネクタに接続していませんか？

キーボードを別売のUSBハブなどに接続したい場合は、セットアップ完了後に行ってください。

セットアップや再セットアップのときには、キーボードはパソコン本体か液晶ディスプレイのUSBコネクタに接続してください。

📖 参照

ディスプレイの接続→『まずこれ! 接続と準備』PART2の「ディスプレイを接続する」

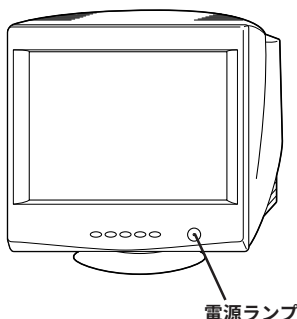
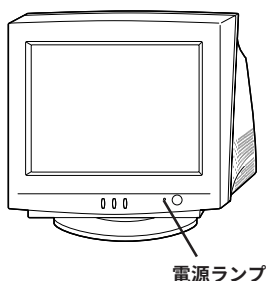
電源を入れたが / 切ろうとしたが...

電源を入れたとき、電源を切ったときにトラブルになったらこちらをご覧ください。

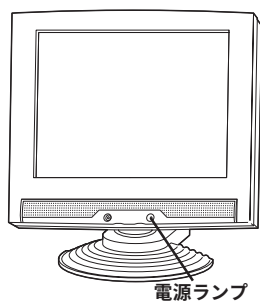
ディスプレイに何も表示されない

ディスプレイの電源ランプが点灯していないとき

◆ CRT ディスプレイ



◆ 液晶ディスプレイ



☹️ ➡️ 😊 ディスプレイの電源は入っていますか？(CRTディスプレイの場合)

ディスプレイの電源ランプが点灯していないときは、『まずこれ! 接続と準備』PART4の「電源の入れ方と切り方」にしたがって、電源を入れてください。

☹️ ➡️ 😊 ディスプレイの電源ケーブルやディスプレイのケーブルは正しく接続されていますか？

『まずこれ! 接続と準備』PART2の「ディスプレイを接続する」にしたがって、ディスプレイの電源ケーブルやディスプレイのケーブルを接続し直してください。

📖 参照

電源の入れ方→『まずこれ! 接続と準備』PART4の「電源の入れ方と切り方」

📌 📌

ディスプレイの電源ランプの色

セットのディスプレイの電源ランプは、緑色に点灯するときと、オレンジ色に点灯する場合があります。

緑色に点灯しているとき

ディスプレイとパソコンの電源が入っていて、ディスプレイとパソコン本体が接続されています。

オレンジ色に点灯しているとき

・CRTディスプレイの場合

ディスプレイの電源が入っているが、パソコン本体と接続されていないか、パソコン本体の電源が入っていないとき、またはスタンバイ状態になっているときです。

・液晶ディスプレイの場合

スタンバイ状態になっているときです。

📌 📌

液晶ディスプレイの電源は本体からとります。本体の電源が入っていないときも、液晶ディスプレイの電源ランプは点灯しません。

液晶ディスプレイには、電源スイッチは付いていません。

✅ チェック!!

パソコンの電源が入っているときは、液晶ディスプレイとパソコン本体を接続するケーブルの抜き差しは行わないでください。

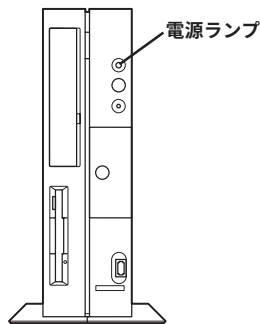
もう一度、ディスプレイの電源を入れても、ディスプレイの電源ランプが点灯しないときは、ディスプレイの故障が考えられます。ご購入元、NECサービスセンター、サービスステーションにご相談ください。

ディスプレイの電源ランプがオレンジ色に点灯しているとき(別売のディスプレイでは、オレンジ色でない場合もあります)

☹️➡️😊 ディスプレイ用ケーブルが本体に正しく接続されていますか？

『まずこれ! 接続と準備』PART2の「ディスプレイを接続する」にしたがって、ディスプレイのケーブルを本体に接続してください。

☹️➡️😊 パソコン本体の電源ランプは点灯していますか？



パソコン本体の電源ランプが点灯していないときは、『まずこれ! 接続と準備』PART2の「パソコン本体の電源ケーブルを接続する」にしたがって、電源ケーブルを接続し直してください。

電源ケーブルを接続し直して、電源を入れても本体の電源ランプが点灯しないときは、本体の故障が考えられます。ご購入元、NECサービスセンター、サービスステーションにご相談ください。

☹️➡️😊 パソコン起動後にディスプレイの接続を行っていませんか？

パソコン起動後にディスプレイを接続しても、ディスプレイには何も表示されない場合があります。このような場合は、「強制的に電源を切る方法」(p.30)で、パソコン本体の電源をいったん切り、電源スイッチを押してパソコンを起動してください。

📖 参照

NECのお問い合わせ先→『NEC PC あんしんサポートガイド』、📞「サポートセンタ」・「サービス&サポート」

📖 参照

『まずこれ! 接続と準備』PART2の「ディスプレイを接続する」

✅ チェック!!

ディスプレイの電源が入っていても、本体の電源が入っていないとディスプレイには何も表示されません。

📖 参照

電源ケーブルの接続のしかた→『まずこれ! 接続と準備』PART2の「パソコン本体の電源ケーブルを接続する」

NECのお問い合わせ先→『NEC PC あんしんサポートガイド』、📞「サポートセンタ」・「サービス&サポート」

✅ チェック!!

パソコンの電源が入っているときは、液晶ディスプレイとパソコン本体を接続するケーブルの抜き差しは行わないでください。

ディスプレイの電源ランプが緑色に点灯しているとき (別売のディスプレイでは緑色ではない場合もあります)

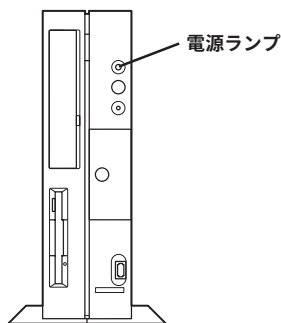
☹️⇒😊 ディスプレイの輝度(明るさ)、コントラストが、小さくなっていませんか？

ディスプレイのマニュアルをご覧ください。画面の輝度とコントラストを調節してください。

これらのチェックを行ってもディスプレイに何も表示されないときは、パソコン本体やディスプレイの故障が考えられます。ご購入元、NECサービスセンター、サービスステーションにご相談ください。

電源を入れてしばらくすると、画面がまっくらになる

パソコン本体の電源ランプがオレンジ色に点灯しているとき



☹️⇒😊 マウスを動かすか、キーボードの【スリープ】ボタンまたは、キーボードのいずれかのキーを押してください。画面が表示されますか？

画面が表示されたときは、パソコン本体の省電力機能が働いてスタンバイ状態になったと考えられます。

このパソコンは、購入時には、約20分間なにも操作しないと本体の省電力機能が働いてスタンバイ状態になるように設定されています。

本体の電源ランプが緑色に点灯、ディスプレイの電源ランプがオレンジ色に点灯しているとき

ディスプレイの省電力機能が働いたものと考えられます。マウスを動かすか、キーボードのキーをどれか([Shift]キーなど)を押してください。なお、【スリープ】ボタンは押さないでください。

電源ランプが消えているとき

何らかの理由によって電源が切れたものと考えられます。電源スイッチを押してください。

📖 参照

NECのお問い合わせ先→『NEC PC あんしんサポートガイド』、📞「サポートセンタ」・「サービス＆サポート」

📌 モ

液晶ディスプレイでは、コントラストの調整はできません。

📖 参照

画面の設定→『拡張!活用! バリュースター』PART10の「ディスプレイ」

📖 参照

今後、自動的に画面がまっくらにならないようにしたいとき→『拡張!活用! バリュースター』PART10の「省電力機能(スタンバイ)」

✔️ チェック!!

電源が入っているとき(スタンバイ状態のときも含まれます)に、約4秒以上電源スイッチを押し続けると強制的に電源が切れてしまうので注意してください。スタンバイ状態のときに強制的に電源を切ると元の状態に復帰できなくなります。

📖 参照

省電力機能について→『拡張!活用! バリュースター』PART10の「ディスプレイ」、「省電力機能(スタンバイ)」

✔️ チェック!!

停電のときも、電源ランプは消えています。

「Microsoft Windows 98 Startup Menu」が表示され、「Enter a choice:」に「3」(3.Safe mode)が表示された

次の手順でWindows 98をSafeモードで起動します。

- 1 「Safe mode」が反転しているのを確認して、【Enter】キーを押します。

しばらくすると「キーボードのタイプを判定します」と表示されます。

- 2 【半角/全角】キーを押します。

- 3 しばらくして、表示された画面で「OK」ボタンをクリックします。

Windows 98がSafeモードで起動します。

Safeモードで起動すると画面のデザイン、配色や解像度などが通常とは異なりますが、必要最低限の機能は使えるようになります。

「スタート」メニューの「Windowsの終了」から「再起動する」をクリックして「OK」ボタンをクリックし、再起動して問題がなければ、元の状態に戻ります。

Safeモードで起動し、スキャンディスクを実行後、再起動しても問題が解決しなかったときは、システムに障害が発生している可能性があります。その場合は、再セットアップを行ってください。

「Windowsが正しく終了されなかったため、ディスクドライブにエラーがある可能性があります。」と表示され、自動的にスキャンディスクがはじまった

ハードディスクに異常がなければ、Windows 98が起動します。正常に起動しなかったときは、画面の指示にしたがってください。画面の指示もなく、正常に起動しないときは、再セットアップしてください。

✓チェック!!

Safeモードでは、最小限の機能しか使えません。CD-ROMドライブやプリンタなどは使えません。

📖 参照

再セットアップ→「PART2 再セットアップするには」(p.49)

🔍メモ

正しく電源を切らなかったときや、電源スイッチを約4秒以上押し続けて、強制的に電源を切ったとき、スタンバイ状態のときにコンセントが抜けたり停電したときに、このメッセージが表示されます。

📖 参照

再セットアップ→「PART2 再セットアップするには」(p.49)

「Invalid system disk」と表示される

フロッピーディスクがドライブにセットされているとき

フロッピーディスクを取り出してから、何かキー（[Enter]キーなど）を押してください。ハードディスクからWindows 98が起動します。

フロッピーディスクから起動したいときは、このパソコンに対応したシステムの入ったフロッピーディスクと入れかえてから、電源を入れ直してください。

フロッピーディスクがドライブにセットされていないとき

ハードディスクがフォーマットされたか、システムが壊れていて起動できない状態です。「PART2 再セットアップするには」(p.49)をご覧くださいの上、再セットアップしてください。

「Please Insert Another Disk.....」と表示される



フロッピーディスクドライブにフロッピーディスクが入っていませんか？

フロッピーディスクをフロッピーディスクドライブから取り出して、パソコンを再起動してください。

ハードディスクからWindows 98が起動します。



Windows 98、または Windows 95 でフォーマットしただけでシステムが入っていないフロッピーディスクがセットされていたり、フォーマットされただけのハードディスクが接続されていると、このようなメッセージが表示されます。



再セットアップ→「PART2 再セットアップするには」(p.49)

「Operating System not found」と表示される

フロッピーディスクがドライブにセットされているとき

このパソコンでは使えないフロッピーディスクがセットされています。
フロッピーディスクをドライブから取り出して、再起動してください。

フロッピーディスクがドライブにセットされていないとき

Windows 98起動ディスクでこのパソコンを起動して、次のように入力して、FDISKコマンドを実行します。

- ・ハードディスクが8.4Gバイト未満の場合

FDISK /X[Enter]

- ・ハードディスクが8.4Gバイト以上の場合

FDISK[Enter]

大容量ディスクをサポートするかどうかなを選択する画面で、[Y]キーを押して[Enter]キーを押します。

「FDISKオプション」の画面が表示されたら、「4[Enter]」と入力して、「4.領域情報を表示」を選び、次の点を確認してください。

◆「ハードディスクはありません」と表示された

ハードディスクが正しく接続されていません。ハードディスクがまちがって接続されていたり、ケーブルが外れかかっていないか確認してください。

◆Cドライブの「状態」のところに「A」がついていない

「A」がついていない場合、Cドライブがアクティブでない状態です。「FDISKオプション」の画面で「2.アクティブな領域を設定」を選び、Cドライブをアクティブな状態にしてください。

◆「領域」の欄の下に何も表示されていないとき、または「システム」の欄の下に「FAT16」、「FAT32」以外のものが表示されているとき

ハードディスクがWindows 98で使える形式でフォーマットされていません。「PART2 再セットアップするには」(p.49)をご覧ください。



Windows 98 起動ディスクの作り方→『拡張!活用! パリユースター』PART10の「Windows 98 起動ディスク」



Windows 98 起動ディスクは、「コントロールパネル」の「アプリケーションの追加と削除」の「起動ディスク」タブで作ります。



Windows 98 起動ディスク→「◆Windows 98 起動ディスク」から起動する」(p.14)



再セットアップ→「PART2 再セットアップするには」(p.49)

「Non-system disk or disk error」と表示される

- ☹️➡️😊 フロッピーディスクがドライブにセットされていませんか？
フロッピーディスクをドライブから取り出して、何かキーを押してください。
ハードディスクからWindows 98が起動します。
フロッピーディスクドライブから起動したい場合は、このパソコンに対応したシステムの入ったフロッピーディスクをセットして、何かキーを押してください。

カーソルが表示されたとき、なにも表示されない

- ☹️➡️😊 フロッピーディスクがドライブにセットされていませんか？
フロッピーディスクをドライブから取り出して、再起動してください。
ハードディスクからWindows 98が起動します。
フロッピーディスクドライブから起動したい場合は、このパソコンに対応したシステムの入ったフロッピーディスクをセットして、再起動してください。

電源を入れてすぐにフロッピーディスクをセットしたが、しばらくするとハードディスクからWindows 98が起動した

フロッピーディスクをセットするのが遅かった

- フロッピーディスクをセットしたまま、Windows 98を再起動してください。
再起動後、フロッピーディスクから起動します。

このパソコンに対応していないフロッピーディスクがセットされている

- フォーマットされていないフロッピーディスクか、このパソコンには対応していないシステムの入っているフロッピーディスクです。そのフロッピーディスクからは起動することはできません。このパソコンに対応したシステムの入っているフロッピーディスクをセットして再起動してください。

メモ

MS-DOSでフォーマットしたフロッピーディスクをセットしていると、このようなエラーメッセージが表示されます。

電源を入れるとピーッと音がする

フロッピーディスクがセットされているとき

そのフロッピーディスクにシステムが入っていないか、このパソコンでは使えないフロッピーディスクがセットされているためです。フロッピーディスクを取り出して、電源を入れ直すか、このパソコンで使えるシステムの入ったフロッピーディスクをセットして再起動してください。

フロッピーディスクがセットされていないとき

エラーメッセージが表示されるときは、そのメッセージを書き留めて、ご購入元、NECサービスセンター、サービスステーションにご相談ください。

このマニュアルや「サポートセンタ」にないエラーメッセージが表示された

このマニュアルや「サポートセンタ」-「困ったときのQ&A」-「トラブル解決Q&A」にないメッセージが表示されたときは、メッセージの内容を書き留めて、ご購入元、NECサービスセンター、サービスステーションにご相談ください。

スキャンディスクの画面が表示された

ハードディスクにトラブルが起こったときや前回の操作で正常終了しなかったときは、「スキャンディスク」が自動的に起動します。スキャンディスクが終了したら画面の指示にしたがって操作してください。

周辺機器を取り付けたらパソコンが起動しなくなった

「周辺機器を取り付けようとしたら…」の「別売の周辺機器を取り付けたらパソコンが起動しなくなった」(p.37)をご覧ください。

参照

このパソコンで使えるフロッピーディスク→『拡張!活用! バリュースター』PART10の「使用できるフロッピーディスクの種類」

参照

NECのお問い合わせ先→『NEC PC あんしんサポートガイド』、 「サポートセンタ」-「サービス&サポート」

参照

NECのお問い合わせ先→『NEC PC あんしんサポートガイド』、 「サポートセンタ」-「サービス&サポート」

パソコンの使用環境を変更したら、Windows 98が起動しない

BIOSセットアップメニューで、パソコンの使用環境を変更して、このような状態になったときは、システムの設定が正しくない可能性があります。次の手順でシステムの設定をご購入時の状態に戻してから、再起動してください。

- 1 別売の周辺機器や拡張ボードを取り付けているときは、取り外して、購入時の状態に戻します。
- 2 パソコン本体の電源を入れます。
「NEC」のロゴが表示されます。
- 3 [F2]キーを押します。
キーの説明が表示されます。
- 4 [F9]キーを押します。
「セットアップ確認」の画面が表示されます。
- 5 <はい>が選択されていることを確認して[Enter]キーを押します。
システムの設定が初期値に戻ります。
- 6 [F10]キーを押します。
「セットアップ確認」の画面が表示されます。
- 7 <はい>が選択されていることを確認して[Enter]キーを押します。
システムの設定が保存されて、自動的に再起動します。

電源が切れない。強制的に電源を切りたい

正しい電源の切り方

- 1 「スタート」ボタンをクリックし、「Windowsの終了」をクリックします。
「Windowsの終了」ウィンドウが表示されます。
- 2 「電源を切れる状態にする」が  になっているときは、クリックして  (オン) にし、「OK」をクリックします。
しばらくすると、自動的に電源が切れます。

この方法で電源が切れないときは、アプリケーションに異常が起きていると考えられます。次の操作を行ってください。

✓チェック!!

[F2]キーを押してもキーの説明が表示されないときは、いったん電源を切り、再度電源を入れて、何回か[F2]キーを押してください。

✓チェック!!

「BIOS セットアップメニュー」で設定したパスワードは、初期値に戻りません。

📖 参照

BIOS セットアップメニューについて→『拡張!活用! バリュースター』PART11の「BIOS セットアップメニュー」

📖 参照

電源の切り方→『まずこれ! 接続と準備』PART4の「電源の入れ方と切り方」

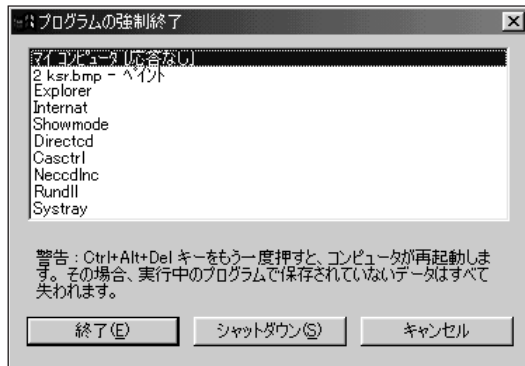
✓チェック!!

電話回線を使うアプリケーションを起動しているときは、終了させてから電源を切ってください。

異常が起きているアプリケーションを終了させる方法

- 1 【Ctrl】キーと【Alt】キーを押しながら【Delete】キーを1回押します。

「プログラムの強制終了」ウィンドウが表示されます。



- 2 右側に「応答なし」と表示されているプログラム(アプリケーション)をクリックし、「終了」ボタンをクリックします。
この方法で異常を起こしていたアプリケーションが終了できた場合は、「正しい電源の切り方」(p.28)にしたがって、電源を切ってください。

この方法でアプリケーションが終了できなかったり、終了できても、「正しい電源の切り方」(p.28)で電源が切れないときは、次の操作を行ってください。

Windows を強制終了させて電源を切る方法

- 1 「プログラムの強制終了」ウィンドウが表示されている場合は、【Ctrl】キーと【Alt】キーを押しながら【Delete】キーを1回押します。

「プログラムの強制終了」ウィンドウが表示されます。

- 2 「シャットダウン」ボタンをクリックします。
しばらくすると自動的にWindowsが終了し、電源が切れます。

この方法でも電源が切れない場合は、次の「強制的に電源を切る方法」(p.30)にしたがって、電源を切ってください。

✓チェック!!

【Ctrl】キーと【Alt】キーを押しながら【Delete】キーは、2回以上押さないでください。

✓チェック!!

「プログラムの強制終了」ウィンドウが表示されるまで時間がかかる場合があります。
表示されない場合は、しばらくお待ちください。

✓チェック!!

アプリケーションで編集していた文書、画像などのデータは保存できません。

✓チェック!!

【Ctrl】キーと【Alt】キーを押しながら【Delete】キーは、2回以上押さないでください。

強制的に電源を切る方法

- 1 パソコンの電源スイッチを約4秒以上押しつづけます。
パソコンの電源が切れます。
- 2 しばらく(5秒以上)たってから、電源スイッチを押します。
パソコンの電源が入り、場合によっては、スキャンディスクが自動的に始まり、ハードディスクがチェックされます。
スキャンディスクで異常が発見されなかったときや、スキャンディスクが実行されなかったときは、そのままWindowsが起動します。
- 3 「スタート」ボタンをクリックして、「Windowsの終了」をクリックします。
「Windowsの終了」ウィンドウが表示されます。
- 4 「電源を切れる状態にする」の  をクリックして  (オン) にして、「OK」ボタンをクリックします。
パソコンの電源が切れます。

再セットアップをしてもトラブルが解決しない場合は『NEC PC あんしんサポートガイド』や  「サポートセンタ」-「サービス&サポート」をご覧ください、各問い合わせ窓口にお問い合わせください。

電話回線を使用中のまま、パソコンの電源を切ってしまった

電話回線を使用中のまま、パソコンの電源を切った場合は、電話回線は強制的に切断されます。この場合、ダウンロード中のデータは正常に保存されないことがあります。

チェック!!

スキャンディスクの結果、なにかメッセージが表示された場合は、メッセージにしたがってください。
うまく起動できなかった場合は、再セットアップが必要になります。
「PART2 再セットアップするには」(p.49)をご覧ください、再セットアップしてください。

メ

再セットアップを行うと購入後に保存したファイルやインストールしたアプリケーションは復元されません。
大切なデータは必ずバックアップを取ってから再セットアップしてください。このパソコンにはアプリケーションごとに作成したデータをバックアップできる「バックアップ-NX」があります。

参照

バックアップ-NX について→  「サポートセンタ」-「困ったときのQ & A」-「トラブルの予防」-「バックアップ-NX」-「データのバックアップと復元」(p.2)

マウス、キーボードを 使っていたら…

マウスやキーボードが動かないときは、ここをご覧ください。

マウス、キーボードに飲み物をこぼしてしまった

やわらかい布などで拭き取ってください。キーボードのキーとキーの間に入ってしまったときは、水分が乾くのを待ってからお使いください。乾いたあとで、キーを押しても文字が入力されないなどの不具合があるときは、ご購入元、NEC サービスセンター、サービスステーションにご相談ください。

マウスを動かしても、何も反応しない

☹️➡️😊 マウスポインタが砂時計の形になっていませんか？



砂時計のマウスポインタ

マウスポインタが砂時計の形になっているときは、パソコンが処理をしているので、マウスの操作が受け付けられない場合があります。処理が終わるまで待っててください。

☹️➡️😊 マウスとキーボード、キーボードとパソコン本体の接続を確認してください。

『まずこれ! 接続と準備』PART2の「キーボードを接続する」、「マウスを接続する」にしたがって、マウスとキーボード、キーボードとパソコン本体を接続し直してください。マウスとキーボード、キーボードとパソコン本体が正しく接続されていないとマウスの操作はできません。

📖 参照

マウスの設定を変えるには→『拡張! バリュースター』PART10の「マウス プロパティ」ウィンドウでの設定」

📖 参照

パソコンのお手入れについて→『練習! パソコンの基本』PART5の「パソコンのお手入れ」

🍷 注意

ジュースなどをこぼしたときは、きれいに拭き取っても内部に糖分などが残り、マウスやキーボードが故障することがあります。また、パソコンのそばで、飲食、喫煙をすると、飲食物やタバコの灰がパソコン内部に入り、故障の原因となります。

📖 参照

NECのお問い合わせ先→『NEC PC あんしんサポートガイド』、📞「サポートセンタ」・「サービス&サポート」

📖 参照

マウスの設定を変えるには→『拡張! バリュースター』PART10の「マウス プロパティ」ウィンドウでの設定」

✅ チェック!!

Windows 98セットアップ中には、動作が止まったように見えても、セットアッププログラムは動作していることがあります。画面表示をよく確認して、動作中は電源を切ったりしないでください。

📖 参照

『まずこれ! 接続と準備』PART2の「キーボードを接続する」、「マウスを接続する」

- ☹️➡️😊 しばらく待っても、マウスの操作ができないとき
プログラムに異常が発生して動かなくなった(フリーズした)のだと思われます。Windowsの処理を止めているプログラムを強制終了してください。このとき、保存していなかったデータはなくなります。

キーボードのキーを押しても、何も反応しない

- ☹️➡️😊 マウスポインタが砂時計の形に変わっていませんか？



砂時計のマウスポインタ

マウスポインタが砂時計の形になっているときは、パソコンがプログラムの処理をしているので、キーボードからの操作は受け付けられません。処理が終わるまで待ってください。

- ☹️➡️😊 キーボードとパソコン本体との接続を確認してください。
『まずこれ! 接続と準備』PART2の「キーボードを接続する」にしたがって、キーボードとパソコン本体を接続し直してください。キーボードのプラグがパソコン本体から抜けていたり、きちんと奥まで差し込まれていないとキーボードの操作はできません。

- ☹️➡️😊 本体と液晶ディスプレイは正しく接続されていますか？(液晶ディスプレイセットモデルの場合)
キーボードを液晶ディスプレイに接続するときは、本体と液晶ディスプレイが正しく接続されていないと、キーボードが動作しません。

- ☹️➡️😊 しばらく待っても、キーボードの操作ができないとき
プログラムに異常が発生して動かなくなった(フリーズした)のだと思われます。Windowsの処理を止めているプログラムを強制終了してください。このとき、保存していなかったデータはなくなります。

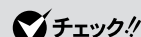
- ☹️➡️😊 キーボードのUSBコネクタを何回も続けて抜き差ししませんでしたか？
USB対応機器は電源を入れたまま、USBコネクタを抜き差しできますが、パソコン本体が認識するまで数秒から10秒程度かかります。そのため急激にUSBコネクタを抜き差しすると、キーボードが何も反応しなくなることがあります。このようなときは、電源スイッチを約4秒以上押しつけてパソコンを強制終了してください。USBコネクタは、6秒以上待ってから抜き差ししてください。



参照
強制終了の方法→「異常が起きているアプリケーションを終了させる方法」(p.29)



参照
コントロールパネルでキーボードの設定をする方法→『拡張! 活用! バリユースター』PART10の「キーボード プロパティ」ウィンドウでの設定
日本語の入力→『練習! パソコンの基本』の「PART3 キーボードで文字を打ってみよう」



チェック!!
Windows 98セットアップ中には、動作が止まったように見えても、セットアッププログラムは動作していることがあります。画面表示をよく確認して、動作中は電源を切ったりしないでください。



参照
『まずこれ! 接続と準備』PART2の「キーボードを接続する」



参照
強制終了の方法→「異常が起きているアプリケーションを終了させる方法」(p.29)

☹️➡️😊 キーボードを別売のUSBハブなどのUSBコネクタに接続していませんか？

キーボードを別売のUSBハブに接続して使うときは、次の点に注意してください。

- 本体のUSBコネクタにキーボードを接続し、使用したいUSBコネクタにUSBハブを接続して認識させてください。その後で、キーボードをUSBハブに接続し直してください。
- キーボードはセルフパワーデバイスのUSBハブに接続してください。
- 3台以上のUSBハブを接続するときは、キーボードはパソコン本体に近いUSBハブのUSBコネクタに接続することをおすすめします。
- セットアップや再セットアップをするときは、本体のUSBコネクタか液晶ディスプレイのUSBコネクタにキーボードを接続してください。

キーボードのUSBコネクタに接続した機器が動作しない

キーボードのUSBコネクタに接続できる機器は、ローパワーデバイスまたはセルフパワーデバイスのUSB対応機器だけです。接続できる機器について詳しくは、『拡張!活用! バリュースター』の「PART3 USB対応機器を使う」をご覧ください。

📖 参照

USBについて→『拡張!活用! バリュースター』の「PART3 USB対応機器を使う」

🔍 モ

セルフパワーデバイスとは、独自に電源をもっているUSB対応機器のことです。

📖 参照

USB対応機器について→『拡張!活用! バリュースター』の「PART3 USB対応機器を使う」

アプリケーションを 使っていたら…

アプリケーションを使っていてトラブルが起きたときは
ここをご覧ください。

アプリケーションが起動しなくなった

☹️⇒😊 他のアプリケーションを起動していませんか？

すでに他のアプリケーションが起動しているときは、それらを終了してから、起動してください。それでも起動しないときは、パソコンを再起動してください。

☹️⇒😊 アプリケーションを起動するのに必要なだけメモリはありますか？

アプリケーションを起動するために必要なメモリ容量は、そのアプリケーションのマニュアルをご覧ください。
このパソコンには、購入時には64Mバイトまたは128Mバイトのメモリが搭載されています。それ以上のメモリが必要な場合は、メモリを増設してください。

☹️⇒😊 そのアプリケーションは省電力機能(スタンバイ)に対応していますか？

対応していないアプリケーションでスタンバイ状態にすると、正常に動作しなくなることがあります。対応していないアプリケーションでは、スタンバイ状態にしないでください。

この機能を使って、電源を切ることができなくなったときは、約4秒以上電源スイッチを押し続けて、強制的に電源を切ってください。

✓チェック!!

トラブルを予防するために、メンテナンスウィザードで登録したシステムツールで、定期的にチェックをすることをおすすめします。

メモ

複数のアプリケーションが起動していると、メモリが不足して、新たにアプリケーションを起動できないことがあります。

📖参照

メモリを増設するには→『**拡張!活用! バリュースター**』の「PART6 メモリを増やす」

📖参照

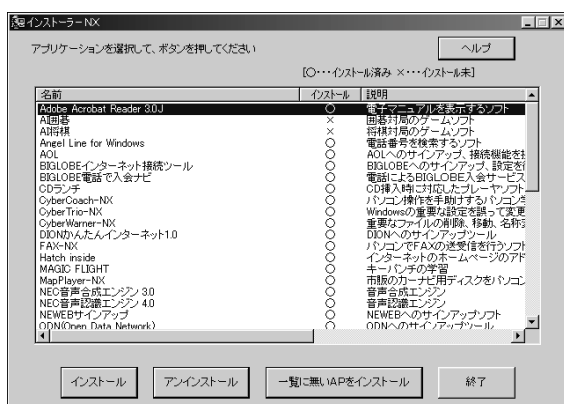
省電力機能(スタンバイ)→『**拡張!活用! バリュースター**』PART10の「省電力機能(スタンバイ)」

パソコンに添付のアプリケーションを追加または削除したい

インストーラ-NXを使うと、簡単にパソコンに添付のアプリケーションを追加/削除することができます。

以下の手順にしたがってください。

- 1 「スタート」ボタンをクリックし、「サポートセンタ」、「サポートセンタ」の順にクリックします。
「サポートセンタ」が起動します。
- 2 「困ったときのQ&A」、「アプリケーションの追加と削除」の順にクリックします。
アプリケーションの一覧が表示されます。アプリケーションの横にNXがついているものは、インストーラ-NXを使って追加/削除することができます。
- 3 追加/削除したいアプリケーションをクリックします。
アプリケーションの追加および削除方法が表示されます。
アプリケーションの追加/削除を行う前に、この部分を印刷もしくはメモすることをおすすめします。
- 4 「戻る」ボタンをクリックします。
アプリケーションの一覧へ戻ります。
- 5 **NX 起動** をクリックします。
「インストーラ-NX」ウィンドウが表示されます。



- 6 追加または削除したいアプリケーション名をクリックします。
- 7 追加したいときは「インストール」ボタン、削除したいときは「アンインストール」ボタンをクリックします。
これ以降は、手順3で印刷もしくはメモした追加および削除方法にしたがって追加/削除を行ってください。

メモ

「サポートセンタ」はアクティブメニュー-NXの「サポートセンタ」をクリックしても起動できます。

チェック!!

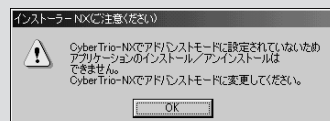
- ・アプリケーションの追加や削除の前には、**必ずお読みください** をクリックして、アプリケーションの追加/削除に必要な情報をよく読んでおいてください。
- ・アプリケーションのメニューに削除機能が用意されているものもあります。

メモ

インストーラ-NXは、「スタート」-「プログラム」-「アプリケーション」-「インストーラ-NX」をクリックしても起動できます。

チェック!!

- ・インストーラ-NXを使っているときに次のウィンドウが表示された場合は、「アドバンスドモードに切り替える」(p.12)をご覧ください、アドバンスドモードに変更して、手順1からやり直してください。



- ・サポートセンタを削除してしまったときは、「スタート」メニュー-「サポートセンタ」-「アプリケーションの追加と削除」をクリックしてください。アプリケーションの追加と削除に関する説明が表示されます。

アプリケーションが突然止まった(フリーズした)

Windows 98でアプリケーションを使っていると、突然キーボードやマウスの操作ができなくなってしまうことがあります。パソコンが故障したわけではありません。

この原因はさまざまですが、停止してしまったアプリケーションだけを強制的に終了させることで、Windows 98の操作を続けることができます。「異常が起きているアプリケーションを終了させる方法」(p.29)にしたがって、アプリケーションを終了させてください。

アプリケーションについて問い合わせをしたい

パソコンに添付のアプリケーションについて問い合わせるときは、「サポートセンタ」-「サービス&サポート」-「NECのサービス&サポート窓口」や『ソフトウェア使用条件適用一覧』裏面の「添付ソフトウェアサポート窓口一覧」をご覧ください。また、パソコンご購入後、ご自分で追加された別売のアプリケーションについては、そのアプリケーションの販売元にお問い合わせください。

チェック!!

「例外エラー」、「一般保護違反」などの画面が表示された場合、強制終了したり、電源スイッチを押したりする前に、メッセージの内容やエラーコードの内容を巻末のトラブルチェックシートに書き取っておいてください。お問い合わせの際、トラブルの原因を調べるのに役立ちます。

周辺機器を取り付けようとしたら・・・

別売の周辺機器を取り付けるときは、『拡張!活用! バリュースター』や周辺機器のマニュアルをご覧ください。
接続してください。

別売の周辺機器を取り付けたらパソコンが起動しなくなった

このようなときは、周辺機器のドライバが原因でパソコンが起動できなくなったと考えられます。

Safeモードでパソコンを起動して、トラブルになったドライバを無効にして、正しいドライバをインストールするか、ドライバ自体を削除する必要があります。

次の操作にしたがって設定してください。

- 1 パソコン本体の電源を入れます。
- 2 「NEC」のロゴ画面が表示されたら、[F5]キーを押し続けます。
- 3 「キーボードのタイプを判定します」と表示されたら、[半角/全角]キーを押します。
「Windows 98はSafeモードで実行されています。」と表示されます。
- 4 「OK」ボタンをクリックします。
- 5 「デバイスマネージャ」ウィンドウ(p.12)を表示して、追加した周辺機器のアイコンをダブルクリックします。
「周辺機器のプロパティ」ウィンドウが表示されます。
- 6 「全般」タブをクリックして、「すべてのハードウェア プロファイルを使用する」の ☒ をクリックして ☐ (オフ)にし、新しく取り付けた周辺機器のドライバを無効にします。
- 7 「OK」ボタンをクリックします。
「システムのプロパティ」ウィンドウに戻ります。
- 8 「OK」ボタンをクリックします。
- 9 「スタート」ボタンから「Windowsの終了」をクリックし、「再起動する」の ☐ をクリックして ☒ (オン)にします。
- 10 「OK」ボタンをクリックします。
パソコンが起動し、通常のモードで立ち上がります。

参照

CyberTrio-NX の「ベーシックモード」の状態、Safe モードを起動すると、デバイスマネージャによるハードウェアの設定変更ができなくなります。設定変更ができるようにするには  「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-「添付ソフトの使い方」-「CyberTrio-NX」-「ベーシックモード」-「ベーシックモードでの注意」をご覧ください。

この方法でも起動できないときは、パソコンの電源を切ってから新しく取り付けた周辺機器を外してください。

また、新しく取り付けた周辺機器を使用したいときは、周辺機器に添付のマニュアルをご覧ください、ドライバのインストールを再度行ってください。

ただし、ドライバを再インストールした後も、まだ周辺機器の動作にトラブルがある場合は、ドライバが古い可能性があります。次のように、ドライバの更新を行い、ドライバを最新のものにしてください。

- 1 周辺機器の最新のドライバを用意してください。
- 2 「デバイスマネージャ」ウィンドウ(p.12)を表示し、追加した周辺機器のアイコンをダブルクリックします。
「周辺機器のプロパティ」ウィンドウが表示されます。
- 3 「ドライバ」タブをクリックして「ドライバの更新」ボタンをクリックします。
以降は画面の指示にしたがってドライバの更新をしてください。

別売の周辺機器を取り付けたが、正しく動作しない

☹️ ➡️ 😊 電源を入れる順序は正しいですか？

パソコンが起動してから、周辺機器の電源を入れてもパソコン側で正しく認識されません。最初に周辺機器の電源を入れてから、パソコンの電源を入れてください。

☹️ ➡️ 😊 周辺機器がパソコンに正しく接続されていますか。取り付けた周辺機器の設定は正しいですか？

周辺機器がパソコンと正しく接続されているか、ケーブルやコネクタを確認してください。周辺機器の設定が正しいか、確認してください。

☹️ ➡️ 😊 デバイスマネージャに赤い「×」や黄色い「！」がついていませんか？

『拡張!活用 バリュースター』PART9の「リソースに関する問題」をご覧ください、赤い「×」マークや黄色い「！」がつかないように設定し直してください。

☹️ ➡️ 😊 ドライバをインストールした後に、パソコンを再起動しましたか？

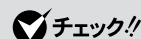
PCカードなどのプラグアンドプレイに対応した周辺機器のドライバをインストールした場合は、再起動後に周辺機器が使えるようになります。ドライバをインストールした後、パソコンを再起動してください。



ドライバのインストール→『拡張!活用! バリュースター』PART2の「ドライバなどをインストールする」



最新のドライバは周辺機器メーカーのホームページなどでダウンロードしてください。また、Windows Updateを行うと最新のドライバをダウンロードでき、周辺機器のドライバを更新することができます。Windows Updateするには「スタート」ボタンをクリックし「Windows Update」をクリックしてください。



USB対応の周辺機器は、パソコンが起動した後から電源を入れても正しく認識されます。



リソースの変更→『拡張!活用! バリュースター』PART9の「リソースに関する問題」

省電力機能(スタンバイ)を使おうとしたら…

さまざまな省電力機能を使って、消費電力が抑えられている状態がスタンバイ状態です。スタンバイ状態のときには、作業内容は保持(記憶)されています。元の状態に戻すには、キーボードの【スリープ】ボタンを押すかキーボードまたはマウスを操作します。

スタンバイ状態にする前の状態の画面が表示されない

☹️➡️😊 アプリケーションや周辺機器は省電力機能(スタンバイ)に対応していますか？

対応していないアプリケーションや周辺機器でスタンバイ状態にすると、正常に動作しなくなることがあります。このようなアプリケーションや周辺機器を使うときは、スタンバイ状態にしないでください。

☹️➡️😊 電源ケーブルは正しく接続されていますか？

電源ケーブルをコンセントに接続します。電源ケーブルが正しく接続されていなかった場合、作業内容は保持されません。

☹️➡️😊 スタンバイ状態のときに停電したり、電源ケーブルが抜けたりしませんでしたか？

スタンバイ状態のときに停電したり、電源ケーブルが抜けたりすると、保持(記憶)した内容は消えてしまいます。

☹️➡️😊 スタンバイ状態のときやディスプレイの省電力機能によって画面が暗くなっているときに、電源スイッチを約4秒以上押し続けませんでしたか？

スタンバイ状態のときやディスプレイの省電力機能によって画面が暗くなっているときに電源スイッチを約4秒以上押し続けると、強制的に電源が切れ、保持(記憶)した内容は消えてしまいます。

なお、次のような場合にはスタンバイ状態にする前の内容の復元が保証されません。

📖 参照

省電力機能について→『まずこれ! 接続と準備』PART4の「一時的に作業を中断する(スタンバイ)」、『拡張! 活用! バリュースター』PART10の「省電力機能(スタンバイ)」、「ディスプレイ」

✔️ チェック!!

画面が暗くなったまま、もとに戻らないときは、電源スイッチを約4秒以上押し続け、強制的に電源を切ってください。

🗖️ 🗑️

スタンバイ状態から元に戻すには

- ・キーボードの【スリープ】ボタンを押す
- ・キーボードのいずれかのキーを押す
- ・マウスを動かす

スタンバイ状態にする前の内容の復元が保証されない場合

次のような場合は、スタンバイ状態にする前の内容は保証されません。

- ・スタンバイ状態にする前の内容の記憶中、または復元中にフロッピーディスクを入れ替えたとき
- ・スタンバイ状態にする前の内容の記憶中、または復元中にCD-ROMやDVD-ROMを入れ替えたとき
- ・スタンバイ状態にする前の内容の記憶中、または復元中に本機の変更したとき
- ・スタンバイ状態のときに本機の機器構成を変更したとき

また、次のような状態でスタンバイ状態にしても、スタンバイ状態から復帰後の内容は保証されません。

- ・プリンタへ出力中のとき
- ・モデムなどを使って通信中のとき
- ・サウンド機能により音声を再生しているとき
- ・フロッピーディスク、ハードディスクを読み書き中のとき
- ・CD-ROMやDVD-ROMを読み取り中のとき
- ・スタンバイ状態に対応していない周辺機器を取り付けたとき

自動的にスタンバイ状態になってしまう

ご購入時には、約20分間パソコンを使わないとスタンバイ状態になるように設定されています。スタンバイ状態にならないようにするには、「コントロールパネル」(p.10)の「電源の管理」で設定を変更します。

自動的にスタンバイ状態にならない

プリンタなど双方向通信を行う周辺機器を使用している場合は自動的にスタンバイ状態にはできません。使用中の周辺機器の動作を中止するか、周辺機器の電源を切ってください。



参照

自動的にスタンバイ状態にしないようにするには→『拡張!活用! バリュースター』PART10の「省電力機能(スタンバイ)」

スタンバイ状態にならない。「コントロールパネル」の「電源の管理」で設定してもスタンバイ状態にならない

☹️➡️😊 実行中のプログラムをすべて終了してから、もう一度、設定をやり直してください。

通信中、スタンバイ状態にできないアプリケーションがあります。電話回線を使用中のときは、回線を切ってからスタンバイ状態にしてください。

☹️➡️😊 スタンバイ状態から復帰中に、キーボードの【スリープ】ボタンまたは電源スイッチを押しませんでしたか？(ACPIモードの場合)

スタンバイ状態から復帰中にキーボードの【スリープ】ボタンまたは電源スイッチを押すと、復帰後にキーボードの【スリープ】ボタンを押してもスタンバイ状態にできなくなる場合があります。このような場合には、次の手順でパソコンを再起動してください。

1 「スタート」ボタンをクリックし、「Windowsの終了」をクリックします。

2 「再起動する」の  をクリックし、 (オン) にして、「OK」ボタンをクリックします。

スタンバイ状態にしようとしたら「デバイスドライバかプログラムが原因で待機モードに入れません。すべてのプログラムを終了してからもう一度やり直してください。」と表示された。またはスタンバイ状態にできない

☹️➡️😊 実行中のプログラムをすべて終了してから、もう一度、設定をやり直してください。

電話回線を使用中のときは、回線を切ってからスタンバイ状態にしてください。

メモ

スタンバイ状態にするには

- ・キーボードの【スリープ】ボタンを押す
- ・「Windows の終了」ウィンドウで「スタンバイ」を選択して「OK」ボタンをクリックする

スタンバイ状態にできない。または、省電力を設定しても自動スリープ機能が利用できない

☹️➡️😊 実行中のプログラムをすべて終了してから、もう一度設定し直してください。

電話回線を使用中のときは、回線を切ってからスタンバイ状態にしてください。

☹️➡️😊 アプリケーションや周辺機器は、スタンバイ状態に対応していますか？

アプリケーションによっては、周辺機器でこの機能を使おうとすると、正常に動作しなくなることがあります。一度本機の電源を切って、もう一度電源を入れ直してください。また、このようなアプリケーションや周辺機器を使うときは、スタンバイ状態にしないでください。

☹️➡️😊 パソコン本体の設定(BIOSの設定)は正しいですか？(APMモード時)

BIOSセットアップメニューの「省電力管理」で「自動サスペンドタイムアウト」が「オフ」になっているとスタンバイ状態にできません。BIOSの設定変更については、『拡張!活用!バリュースター』PART11の「BIOSセットアップメニュー」をご覧ください。

休止状態にできない

このパソコンでは休止状態にすることはできません。

メモ

休止状態とは、実行中の作業内容を自動的にハードディスクに保存し、電源を切った状態のことです。普通に電源を切るのとは異なり、休止状態から復帰させると、作業内容を復元することができます。

パスワードを入力しようとしたら…

パスワードを入力してもネットワークに接続できない場合や、パスワードを忘れてしまった場合は、ここをご覧ください。

パスワードを入力すると「入力されたパスワードが間違っています」と表示される

☹️⇒😊 キーボード右上の  (キャップスロックキーランプ) が点灯していませんか？

点灯しているときは大文字入力になりますので、[Shift] キーを押しながら、[Caps Lock] キーを押して、キャップスロックを解除してから、パスワードを入力し直してください。

パスワードを忘れてしまった

Windows 98 のパスワードを忘れてしまったとき

Windows 98のパスワードを入力するウィンドウで、[Esc]キーを押すと、Windows 98が起動して、使えるようになります。ただし、ネットワークには接続できません。再設定したいときは、再セットアップしてください。

ユーザパスワード、スーパーバイザーパスワードを忘れてしまった

『拡張!活用! バリュースター』PART11の「BIOSセットアップメニュー」をご覧ください、パスワードの設定を解除して設定し直してください。



Windows 98のパスワードは、ネットワークの設定などをするときに、設定します。



再セットアップ→「PART2 再セットアップするには」(p.49)



ユーザパスワード、スーパーバイザーパスワードの解除、設定→『拡張!活用! バリュースター』PART11の「BIOS セットアップメニュー」

コンピュータウイルス が発見されたら…

Virus Scanなどのウイルス駆除ツールを使ってコンピュータウイルスを発見した場合は、ここをご覧ください。

コンピュータウイルスが検出された

Virus Scanなどによってコンピュータウイルスに感染したファイルが検出されたら、すぐにウイルスを駆除し、被害を届け出てください。

◆ウイルスを駆除する

ウイルスを駆除するには、ウイルスが感染したファイルを削除するのがいちばん確実です。アプリケーションのファイルであれば、削除してインストールし直してください。バックアップがあるファイルは、削除したあと、コピーし直してください。バックアップも感染している可能性があるので、ウイルス検査してください。

削除できないファイルの場合は、「Virus Scan Ver 4.0」などのウイルス除去機能があるアプリケーションでそのファイルのウイルスを削除してください。

さらに、二次感染を防ぐため、使っていたハードディスク、フロッピーディスク、MOディスクなどはすべてウイルス検査してください。

◆被害を届け出る

日本では、コンピュータウイルスを発見したら、企業、個人に関わらず、次の届け出先に届けることが義務づけられています(平成7年7月7日付通商産業省告示第429号)。届け出をしなくても罰則の規定はありませんが、被害対策のための貴重な情報になるので積極的に報告してください。

◆届け出先

情報処理振興事業協会(通称IPA)セキュリティセンター
ウイルス対策室

本部 : 〒113-6591

東京都文京区本駒込2-28-8

文京グリーンコート センターオフィス16階

IPAセキュリティセンターウイルス対策室

電話 : 03-5978-7509

FAX : 03-5978-7518

ホームページアドレス : <http://www.ipa.go.jp/>

 参照

Virus Scanについて→  「サポートセンタ」-「困ったときのQ&A」-「トラブルの予防」-「Virus Scan」

その他・・・

これまでのところであなたの質問が見つからなかったときは、ここをご覧ください。ここでも見つからないときは、「サポートセンタ」や他のマニュアル、ヘルプ、Readmeファイルをご覧ください。

添付品に足りないものがあった

- ☹️➡️😊 まず、『はじめにお読みください』をご覧ください。すべての添付品がそろっているか確認してください。
- ☹️➡️😊 いくつかの添付品がひとつにまとめて包装されていることがあります。ビニール袋などで包装されている添付品をすべて開けてみてください。
- それでも添付品が足りないときは、ご購入元にご相談ください。

添付品の接続のしかたがわからない

『まずこれ! 接続と準備』の「PART2 パソコンを接続する」をご覧ください。接続を行ってください。



『まずこれ! 接続と準備』の「PART2 パソコンの接続をする」

BIOSセットアップメニューの設定値を、購入時の状態に戻せない

- ☹️➡️😊 本体とキーボードの間に2台以上のUSBハブを経由して、キーボードを接続していませんか？
- 本体とキーボードの間に2台以上のUSBハブを接続していると、キーボードが動作しないため、BIOSセットアップメニューの設定値を購入時の状態に戻すことができません。本体とキーボードの間には、1台のUSBハブを経由してキーボードを接続してください。



BIOS セットアップメニュー→『拡張!活用! バリュースター』PART11の「BIOS セットアップメニュー」

このパソコンを廃棄したい

このパソコンを廃棄するときは、地方自治体の条例にしたがって処理してください。くわしくは各地方自治体にお問い合わせください。

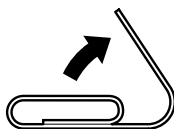
やりたいことが、どのマニュアルに載っているかわからない

このパソコンに添付しているマニュアルの中で、やりたいことを探したいときは、このマニュアルの「やりたいこと別総索引」(p.95)や「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-「マニュアルの利用法」で探してください。

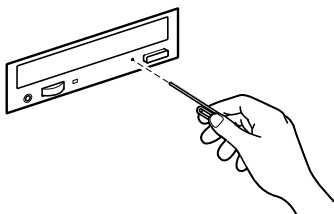
CD-ROM(DVD-ROM)が取り出せない

停電やアプリケーションの異常な動作などにより、CD-ROMドライブ、DVD-ROMドライブからCD-ROMなどのメディアを取り出せなくなった場合は、次の手順で、強制的に取り出してください。

- 1 太さが1.3mm程度、まっすぐな部分の長さが45mm程度(指でつまむ部分を除く)の針金を用意してください。大きめのペーパークリップを伸ばして作ることができます。

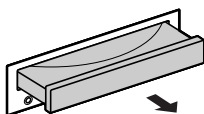


- 2 パソコン本体の電源を切ります。
- 3 パソコン本体を横に倒しルーフカバーを外してください。
- 4 ディスクトレイの直径2mm程度の穴に、手順1で作った針金を差し込み、強く押し込みます。



ディスクトレイが15mmほど飛び出します。

- 5 ディスクトレイを手前に引き出し、ディスクを取り出します。



メモ

ディスクトレイは、パソコンの電源が切れている状態では、出し入れできません。

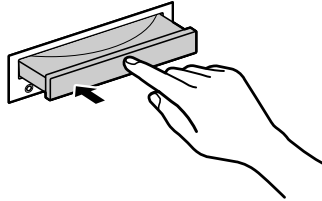
チェック!!

CD-ROMドライブのカバーは、イジェクトボタンを押すと、自動的に開くようになっています。イジェクトボタンを押してもカバーが開かないときは、必ずこの手順でCD-ROMを取り出してください。カバーを無理に開こうとすると、カバーが壊れる場合があります。

参照

ルーフカバーを外す→『拡張!活用! バリュースター』PART2の「ルーフカバーの外し方」

- 6 ディスクトレイの前面を、イジェクトボタンを押さないように注意しながら、ディスクトレイがもとどおりに収納されるまで押し込んでください。



- 7 パソコン本体のルーフカバーを取り付けてください。

MS-DOSプロンプト画面がフルスクリーンになった。元に戻したい

【Alt】キーを押しながら【Enter】キーを押してください。

「サポートセンタ」が表示されない。起動しない

- ☹️➡️😊 CyberTrio-NXのモードが「キッズモード」になっていませんか？

「キッズモード」に設定されていると、「マイプログラム」または「キッズモードのデスクトップ」に登録しているアプリケーションしか使用できなくなります。「キッズモード」から他のモードへ変更するには、次の手順にしたがってください。

- 1 「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」、「CyberTrio-NX」、「Go to ベーシックモード」または「Go to アドバンスモード」の順にクリックします。
パスワードを設定しているときは、ここで「パスワード入力」ウィンドウが表示されます。

- 2 パスワードを入力して、「OK」をクリックします。

- ☹️➡️😊 「コントロールパネル」の「アプリケーションの追加と削除」から「サポートセンタ」を削除しませんでしたか？

「コントロールパネル」の「アプリケーションの追加と削除」にはサポートセンタに関するものとして「サポートセンタ」が2つありますが、そのどちらか片方を削除すると、サポートセンタはうまく起動しなくなります。その場合は、「スタート」メニュー-「サポートセンタ」-「アプリケーションの追加と削除」の順にクリックして、記載されている「サポートセンタ」の追加方法をご覧になり、「インストーラ-NX」を使って「サポートセンタ」の再追加をしてください。

📖 参照

ルーフカバーを取り付ける→『拡張！活用！バリュースター』PART2の「ルーフカバーの取り付け方」

📖 参照

キッズモードについて→『サポートセンタ』-「パソコンを使いこなそう」-「添付ソフトの使い方」-「CyberTrio-NX」-「キッズモード」

✔️ チェック！

設定したパスワードを忘れたときは、次の「緊急パスワード」を入力して、他のモードへ変更してから、パスワードをもう一度設定し直してください。

「緊急用パスワード」：71709981

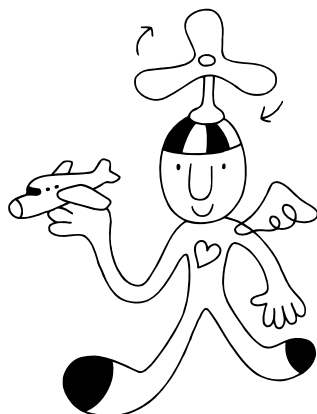
📖 参照

サポートセンタの再追加→「パソコンに添付のアプリケーションを追加または削除したい」(p.35)

再セットアップするには

システムを起動できなくなったときなどは、システムを再セットアップしてください。

再セットアップを行うと、ハードディスクドライブのファイルやフォルダはすべて消えてしまいます。必ず、再セットアップの前に大切なファイルをMO、外付けハードディスクやフロッピーディスクなどにコピー(バックアップ)しておいてください。



再セットアップが 必要なのは

再セットアップを行うと、壊れてしまったパソコンのシステムを復旧することができます。

ただし、ハードディスクに保存したファイルが消えてしまいます。時間もかかる作業なので再セットアップが必要かどうかをよく確認してからはじめてください。



再セットアップ

このパソコンのシステムが壊れてしまったときに、CD-ROMに入っているデータを使って、購入時と同じ状態に戻す作業のことです。Windowsの再インストールも再セットアップに含まれます。

再セットアップが必要なのはこんなときです

次のようなとき、パソコンの再セットアップが必要です。

トラブルによるシステムの復旧をする

- ・電源を入れても電源ランプは点灯するが Windows 98 が起動しない
- ・パソコンを使っているときに頻繁にエラーメッセージが表示される
- ・ハードディスクの中のプログラムが正常に動作しない
- ・ハードディスクの中のシステムファイルを誤って消してしまった

ハードディスクの設定を変更する

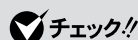
- ・Cドライブの容量を変えたい
- ・ハードディスクを1つのパーティションにしたい

Windows 98の設定を変更する

- ・Windows 98 を購入時の状態に戻したい
- ・登録した名前を変えたい

再セットアップに関する注意

- ・ご自分で作成した大切なデータは、必ず MO、外付けハードディスクやフロッピーディスクなどにバックアップしてから再セットアップしてください。
- ・再セットアップは、必ずこのあとの手順にしたがって行ってください。データのバックアップ、インターネットなどの設定の記録、別売の周辺機器の取り外しなどの手順も省略しないで必ず行ってください。
- ・再セットアップは途中でやめないでください。途中でやめてしまったときは、もう一度最初からやり直してください。



購入時の状態では、このパソコンは FAT32 に設定されています。



バックアップをとる→「データのバックアップと復元」(p.2)、『練習! パソコンの基本』PART5の「バックアップを取る」または「サポートセンタ」-「困ったときの Q&A」-「トラブルの予防」-「バックアップ-NX」

標準再セットアップとカスタム再セットアップ

再セットアップには、「標準再セットアップ」と「カスタム再セットアップ」の2つがあります。ここでは4つのパターンに分けて、再セットアップの手順を説明します。

●標準再セットアップ

購入したときと同じ状態にする

ハードディスクを購入したときと同じ状態に戻します。

初心者の方や、ハードディスクの知識があまりない方は、必ず、この方法で再セットアップしてください。再セットアップ前の内蔵ハードディスクのデータはすべて消えてしまいます。

●カスタム再セットアップ

全領域を1パーティションにして再セットアップする

Dドライブを作成しないですべての領域をCドライブにして再セットアップします。Cドライブのハードディスク容量を最大にすることができます。再セットアップ前のハードディスクのデータはすべて消えてしまいます。

Cドライブのみを再セットアップする

Cドライブの容量を変更しないで、Cドライブのみを再セットアップするときに、この方法で再セットアップします。Cドライブ以外のハードディスクのデータを残しておくことができます。

ハードディスクの領域を自由に設定して再セットアップする (ユーザ設定)

FDISKコマンドを使って、ハードディスクの領域を変更して再セットアップすることができます。Cドライブのハードディスク容量を変更したいときは、この方法で再セットアップします。

初心者の方や、ハードディスクの知識があまりない方は、この方法では再セットアップしないでください。再セットアップ前の内蔵ハードディスクのデータはすべて消えてしまいます。

 参照

「購入したときと同じ状態にする」
(次ページ)

 参照

「全領域を1パーティションにして再セットアップする」(p.67)

 参照

「Cドライブのみ再セットアップする」(p.70)

 参照

「ハードディスクの領域を自由に設定して再セットアップする」(p.74)

✔チェック!!

Dドライブには絶対に大切なデータのバックアップはとらないでください。Dドライブにバックアップしたデータは標準再セットアップを行うと、すべて消去されてしまいます。

購入したときと 同じ状態にする (標準再セットアップ)

「標準再セットアップ」を行うと、パソコンを購入時と同じ状態に戻すことができます。

Cドライブのハードディスク容量を変えたいときは、「カスタム再セットアップ」をご覧ください。

●標準再セットアップの手順

標準再セットアップは次の手順で行います。作業にかかる時間の目安を書いておきます。参考にしてください。再セットアップを始めたら、途中でやめないで、必ず手順通り最後まで行ってください。

1. バックアップをとる
2. インターネットなどの設定を控える
3. 別売の周辺機器を取り外す
4. 必要なものを準備する
5. システムを再セットアップする (約 50 分～1 時間 10 分)
6. Windows 98 の設定をする (約 10 分)
7. ・Office 2000モデルのときは、Office 2000 Personalを再セットアップする (約 30 分)
・一太郎モデルのときは、Voice一太郎 10・花子 10 パックを再セットアップする (約 30 分)
8. 別売の周辺機器を取り付けて設定し直す
9. 購入後に行ったインターネットなどの設定をやり直す
10. 別売のアプリケーションをインストールし直す
11. バックアップしたデータを復元する

1. バックアップをとる

ご自分で作成した大切なデータは、必ずMO、外付けハードディスクやフロッピーディスクなどにバックアップしてください。

「バックアップCD-ROM」で再セットアップできるのは、このパソコンに購入時から入っていたソフトウェアだけです。購入後に保存したファイルや、インストールしたアプリケーションは復元されません。また、内蔵ハードディスクに保存されていたデータはすべて消えてしまいます。

✓チェック!!

再セットアップは途中で中断しないでください。もし、中断したときは、最初からやり直してください。

✓チェック!!

再セットアップにかかる時間はモデルによって異なります。それぞれ、再セットアップ中に表示される画面で確認してください。



バックアップ

ハードディスクなどに保存したファイルやフォルダが消えてしまってもいいように、フロッピーディスクや、MOディスク、外付けハードディスクなどに複製したものを作っておくことを「バックアップをとる」といいます。

パソコンの万一の事態に備えて、データは予備を取っておくこと（バックアップ）をおすすめします。

Windows 98を起動できるときは、必ず大切なデータのバックアップをとってから、再セットアップを行ってください。MOディスク、外付けハードディスクなどの記憶装置があると、フロッピーディスクに入りきらない大きなデータをまとめてバックアップをとることができるので便利です。

このパソコンには、簡単にバックアップを取ってあとから復元できる「バックアップ-NX」というアプリケーションがあります。「バックアップ-NX」を使えば、このパソコンに添付されているアプリケーションで作成されたデータのバックアップを取るように設定することもできます。また、ご購入したアプリケーションで作成したデータのバックアップも取ることができます。詳しくは、「アプリケーションのデータをバックアップ」(p.3)または「サポートセンタ」-「困ったときのQ&A」-「トラブルの予防」-「バックアップ-NX」をご覧ください。



「アプリケーションのデータをバックアップ」(p.3)、「サポートセンタ」-「困ったときのQ&A」-「トラブルの予防」-「バックアップ-NX」、
『練習! パソコンの基本』PART5の「バックアップを取る」

2. インターネットなどの設定を控える

インターネットを使っているときは、インターネットのIDやアドレスなど、インターネット接続に必要な情報をメモしてください。

インターネットなどの設定は、再セットアップを行うとすべて消去されます。

インターネット接続時の設定をバックアップする

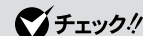
◆ BIGLOBE に入会しているとき

すでにBIGLOBEに入会しているときは、「BIGLOBE かんたん設定ナビ」で簡単にインターネット接続の環境をフロッピーディスクやハードディスクにバックアップできます。詳しくは、「インターネット接続の設定をバックアップ」の「BIGLOBEに入会しているとき」(p.4)の手順や「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-「添付ソフトの使い方」-「BIGLOBE かんたん設定ナビ」-「接続環境をバックアップする」をご覧ください。

会員証があるときは、会員証を用意してください。インターネットの接続に必要な情報のうち、アクセスポイント以外の情報は会員証に記載されています。

入会してまだ会員証が届いていないときなど、会員証がないときは、『たのしもう! インターネット』の「PART3 BIGLOBEに入会する」を参考にし、次の項目をメモしてください。

- ・ユーザー ID
- ・仮パスワード、または正式パスワード
- ・電子メールアドレス
- ・メールパスワード
- ・プライマリ DNS
- ・セカンダリ DNS



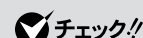
再セットアップしても、サインアップで得たインターネットのIDなどは無効にはなりません。必ず書き留めて、あとで設定し直してください。



「インターネット接続の設定をバックアップ」の「BIGLOBEに入会しているとき」(p.4)、「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-「添付ソフトの使い方」-「BIGLOBE かんたん設定ナビ」-「接続環境をバックアップする」



『たのしもう! インターネット』の「PART3 BIGLOBEに入会する」



受信したメールや「お気に入り」に登録したURLは、再セットアップを行うと消えてしまいます。必要な場合は、メールやURL ファイルのバックアップを「バックアップ-NX」(p.2)でとっておいてください。

- ・インターネットメールサーバ
- ・ニュースサーバ
- ・設定したアクセスポイントの電話番号

◆ BIGLOBE 以外のプロバイダに入会しているとき

「インターネット接続のバックアップ」を使うと、電話回線を使ってインターネットへ接続するときに設定する情報の一部をフロッピーディスクやハードディスクにバックアップできます。詳しくは、「インターネット接続の設定をバックアップ」の「BIGLOBE 以外に入会しているとき」(p.5)の手順や「サポートセンタ」-「困ったときのQ&A」-「トラブルの予防」-「インターネット接続のバックアップ」をご覧ください。



「インターネット接続の設定をバックアップ」の「BIGLOBE 以外に入会しているとき」(p.5)、「サポートセンタ」-「困ったときのQ&A」-「トラブルの予防」-「インターネット接続のバックアップ」

3. 別売の周辺機器を取り外す

別売の周辺機器は、すべて取り外してください。

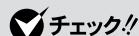
『まずこれ! 接続と準備』にしたがって、このパソコンに付属していた機器のみを接続した状態にしてください。

4. 必要なものを準備する

再セットアップの作業にはいる前に、このパソコンに添付されている、次の CD-ROM、フロッピーディスクを準備してください。

- ・「バックアップ CD-ROM」
- ・「システムインストールディスク」
- ・Office 2000 モデルは、「Office 2000 Personal」CD-ROM と「アプリケーション CD-ROM Vol.1」
- ・一太郎モデルは、「Voice 一太郎 10・花子 10 パック CD-ROM」

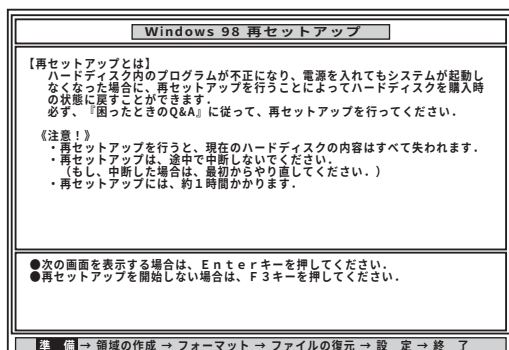
また、このパソコンの購入後に自分でインストールしたアプリケーションを使うときは、そのインストール用のディスクが必要です。準備しておいたほうが良いでしょう。



準備するものは、モデルによって異なるので、再セットアップ中に表示される「再セットアップの準備」の画面で確認してすべて準備してください。

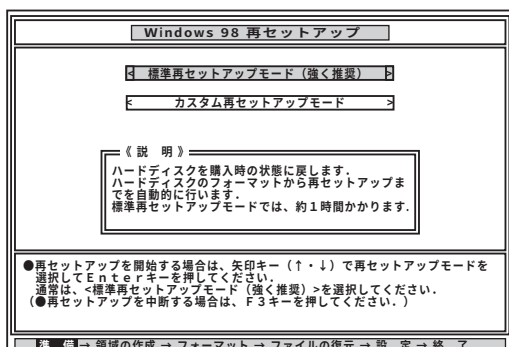
5. システムを再セットアップする

- 1 パソコン本体の電源を入れます。
- 2 電源ランプがついたら、すぐに「システムインストールディスク(起動用)」をフロッピーディスクドライブにセットします。
次の画面が表示されます。



「システムインストールディスク(起動用)」のセットが遅いと、この画面は表示されません。その場合は、ディスクをフロッピーディスクドライブから取り出し、電源を切って、手順1からやり直してください。

- 3 CD-ROMドライブに「バックアップCD-ROM」(1枚目)をセットします。
- 4 [Enter]キーを押します。
「再セットアップの準備」の画面が表示されます。
- 5 [Enter]キーを押します。



✓チェック!!

ここに掲載されている画面は、モデルや設定によって、実際に表示される画面とは異なることがあります。

- ・再セットアップは、ハードディスクのCドライブの領域に対して行われます。
- ・再セットアップにかかる時間はモデルによって異なります。
それぞれ、再セットアップ中に表示される画面で確認してください。

・「Invalid system disk ...」と表示されたときは、別のフロッピーディスクがセットされています。「システムインストールディスク(起動用)」をセットし直して、[Enter]キーなどのキーを押してください。

✓チェック!!

CD-ROMが認識されずにエラーメッセージが表示された場合は、NECサービスセンター、サービスステーションにご連絡ください。

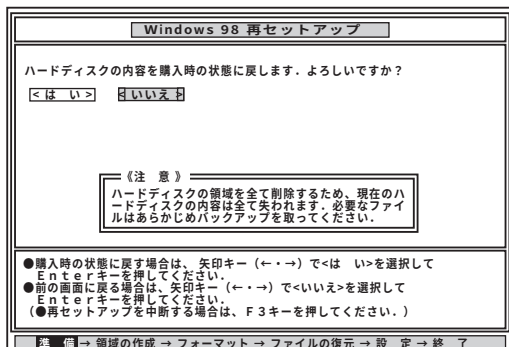
📖参照

NECのお問い合わせ先→『NEC PC あんしんサポートガイド』、📖「サポートセンタ」-「サービス&サポート」

6 「標準再セットアップモード(強く推奨)」が黄色になっているので、そのまま【Enter】キーを押します。

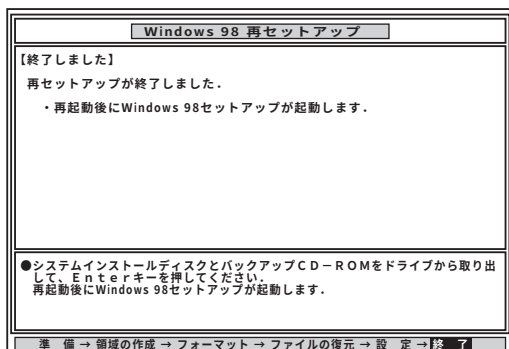
「標準再セットアップモード(強く推奨)」が黄色になっていないときは、【↑】キーを押して、黄色にしてから【Enter】キーを押してください。

「ハードディスクの内容を購入時の状態に戻します。よろしいですか?」と表示されます。



7 「はいえ」が黄色になっているので、【←】キーを押して、「はい」を黄色にしてから【Enter】キーを押します。

ハードディスクのフォーマットとシステムの再セットアップが始まります。機種、モデルによって異なりますが、約50分～1時間10分かかります。途中でフロッピーディスクやCD-ROMを入れ替えるメッセージが表示されたら、指示にしたがって入れ替えてください。ハードディスクのフォーマットとシステムの再セットアップが終わると次の画面が表示されます。



8 フロッピーディスクドライブから「システムインストールディスク(起動用)」を取り出します。

9 CD-ROMドライブから「バックアップCD-ROM」を取り出します。

✓チェック!!

ハードディスクのフォーマットとシステムの再セットアップ中は、画面からの指示がない限り、CD-ROMやフロッピーディスクを取り出したり、電源スイッチを押したりしないでください。

再セットアップ中に数回ピー音(ビーという音)が鳴りますが、問題ないので無視してください。

✓チェック!!

左の画面が表示されなかったときは、再セットアップは正常に行われていません。初めからやり直してください。

10 【Enter】キーを押します。

システムが再起動し、しばらくすると「Windows 98へようこそ」ウィンドウが表示されます。



6.Windows 98 の設定をする

1 「Windows 98へようこそ」ウィンドウで、このパソコンを使う人の名前とふりがなをキーボードを使って入力します。

名前を入力しないと、次の手順に進めません。ふりがなは入力しなくても構いません。

ただし、ここで入力した名前、ふりがなは、また再セットアップし直す以外に変更する方法はありません。

名前やふりがなは、ローマ字でも、漢字やカタカナでも構いません。

2 入力が終わったら「次へ」をクリックします。

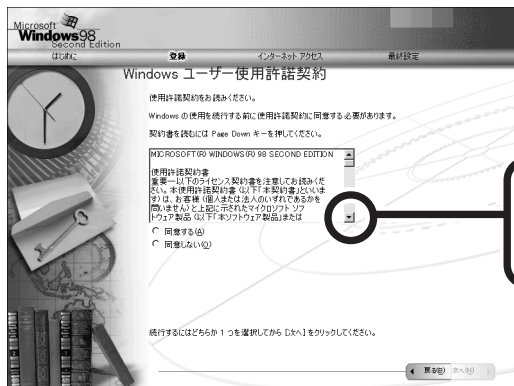
「モデムを使って接続する」ウィンドウが表示されます。

3 ここでは接続しないので、「スキップ」をクリックします。

「ダイヤルのキャンセル」ウィンドウが表示されます。

4 「はい」の ☐ をクリックして ☒ にし、「次へ」をクリックします。

「Windows ユーザー使用許諾契約」ウィンドウが表示されます。



スクロールボタンをクリックするか、キーボードの【PgDn】キーを押すと、「使用許諾契約書」の下の方を読むことができます。

メモ

ここで行う操作は、はじめてこのパソコンを使ったときに行った『まずこれ! 接続と準備』の「PART3 電源を入れてパソコンを使えるようにする」と同じです。

参照

文字の入力→『練習! パソコンの基本』の「PART3 キーボードで文字を打てよう」

メモ

間違って入力したときは【Back Space】キーを押すと、1文字ずつ消すことができます。

- 5 「同意する」の  をクリックして  (オン)にし、「次へ」をクリックします。

「BIGLOBEでインターネットを楽しもう!!」ウィンドウが表示されます。

- 6 「次へ」をクリックします。

「みんながBIGLOBEを選ぶわけ」ウィンドウが表示されます。

- 7 「次へ」をクリックします。

「セットアップの完了」ウィンドウが表示されます。



- 8 「完了」をクリックします。

Windows 98のデスクトップ画面が表示されます。

- 9 キーボードの【ランチ-NX】ボタンを押します。

アクティブメニューNXが表示されるまで、しばらくお待ちください。

- 10 「スタート」ボタンをクリックし、「Windowsの終了」をクリックします。

- 11 「電源を切れる状態にする」になっていることを確認して、「OK」をクリックします。

パソコンの電源が切れます。

✓チェック!!

「同意しない」をクリックすると、セットアップが中止になるようなメッセージが表示されます。中止したときは、再セットアップをもう一度、最初からやり直してください。

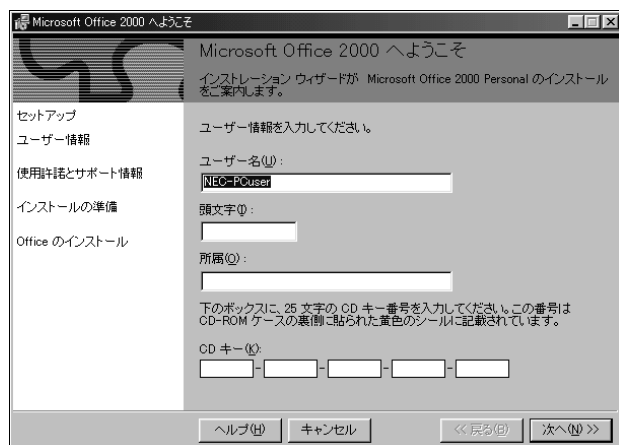
7. Office 2000 PersonalやVoice一太郎10・花子10パックを再セットアップする

一太郎モデルのときは、手順が異なりますので、「一太郎モデルのとき」(p.64)の説明をご覧ください。

Office 2000モデルのとき

◆ Office 2000 Personalのセットアップ

- 1 パソコン本体の電源を入れます。
- 2 Office 2000 PersonalのCD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。
しばらくすると、次の画面が表示されます。



- 3 「次へ」をクリックします。
「Microsoft Office 2000使用許諾とサポート情報」ウィンドウが表示されます。
- 4 使用許諾契約書をお読みになり、内容に同意の上、「使用許諾契約書」の条項に同意しますの ☐ をクリックして ☒ (オン)にし、「次へ」をクリックします。
「Microsoft Office 2000インストールの準備」ウィンドウが表示されます。
- 5  (カスタマイズ)をクリックします。
「Microsoft Office 2000インストール先」ウィンドウが表示されます。
- 6 インストール先に「c:\Program Files\Microsoft Office\」が指定されていることを確認して、「次へ」をクリックします。
「Microsoft Office 2000：機能の選択」ウィンドウが表示されます。

✓チェック!!

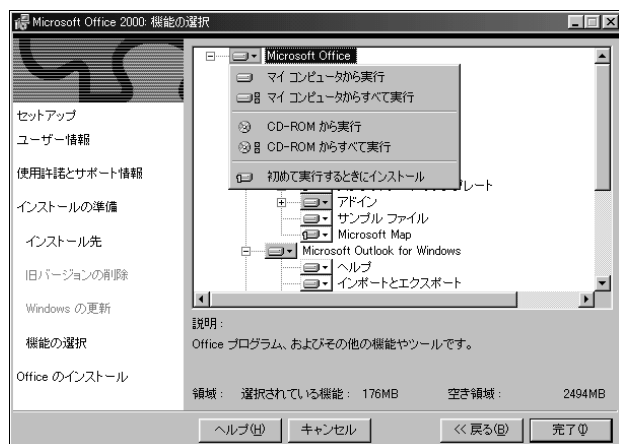
必要であれば、ユーザ名の他、各項目を入力し直してください。なお、CDキー (Office 2000 PersonalのCD-ROMケースに貼付してあります。)をここで入力すると、Office 2000 Personalのアプリケーションを最初に起動したときにCDキーの入力作業が必要なくなります。

✓チェック!!

Dドライブにインストールした場合、ランチ-NXには、Word 2000、Excel 2000、Outlook 2000は自動登録されません。ランチ-NXを登録する場合は、「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-「添付ソフトの使い方」-「ランチ-NX」をご覧ください。

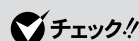
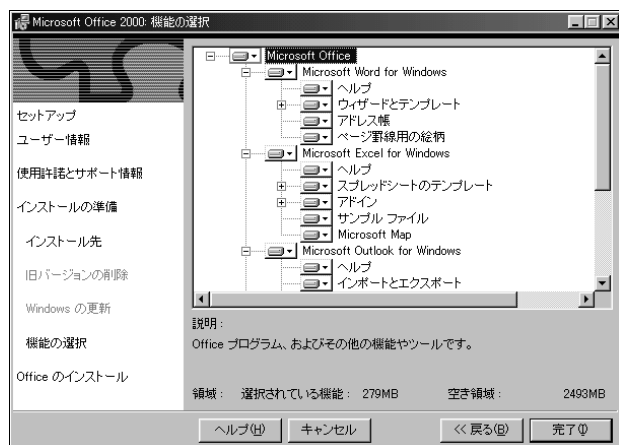
7 「Microsoft Office」をクリックします。

次のようにメニューが表示されます。



8 「マイコンピュータからすべて実行」をクリックします。

しばらくすると、次の画面が表示されます。



灰色で表示されたフォルダがないことを確認してください。

9 「完了」をクリックします。

Microsoft Office 2000のインストールが始まります。しばらくお待ちください。

しばらくすると、「インストーラ情報」ウィンドウが表示されます。

10 「はい」をクリックします。

パソコンが自動的に再起動します。再起動後、「IMEのセットアップ」ウィンドウが表示されます。

11 「はい」をクリックします。

しばらくすると、「Microsoft IME 2000 セットアップ」ウィンドウが表示されます。

次の「MS-IME 2000のセットアップ」に進んでください。

◆MS-IME 2000 のセットアップ

- 1 「Microsoft IME 2000 セットアップ」ウィンドウで、「次へ」をクリックします。
「使用許諾契約書の確認」の画面が表示されます。
- 2 使用許諾契約書をお読みになり、内容に同意の上、「使用許諾契約書」に同意しますの  をクリックして  (オン) にし、「次へ」をクリックします。
「ユーザ情報の登録」が表示されます。
- 3 「次へ」をクリックします。
「Microsoft IME 2000 インストールの準備が整いました」と表示されます。
- 4 「標準」が選択されているのを確認して、「次へ」をクリックします。
「インストールしますか?」と表示されます。
- 5 「インストール」をクリックします。
しばらくすると、「セットアップが完了しました」と表示されます。
- 6 「OK」をクリックします。
「Microsoft IME 2000 セットアップ」ウィンドウが表示されます。
- 7 「はい」をクリックします。
パソコンが自動的に再起動します。再起動後、「Microsoft IME 2000 へのユーザ情報の登録」ウィンドウが表示されます。
- 8 「登録しない」をクリックします。
「Microsoft IME 2000 日本語入力システム」ウィンドウが表示されます。
- 9  をクリックします。
- 10 CD-ROM ドライブから、Office 2000 Personal のCD-ROM を取り出します。
次に、「音声入力アプレットのセットアップ」に進んでください。

◆音声入力アプレットのセットアップ

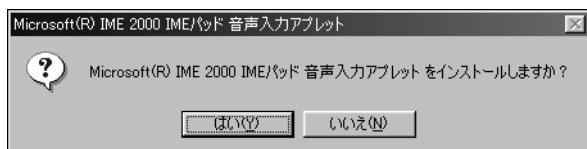
- 1 「アプリケーションCD-ROM Vol.1」をCD-ROM ドライブにセットします。
- 2 「マイコンピュータ」をダブルクリックします。
- 3 「CD-ROM」アイコンをダブルクリックします。
- 4 「Valupack」フォルダをダブルクリックします。

✓チェック!!

「インストールを継続する場合は次のアプリケーションを閉じる必要があります」と表示された場合は、起動しているアプリケーションを終了して「再試行」をクリックしてください。

5 「Voicepad」をダブルクリックします。

次の画面が表示されます。

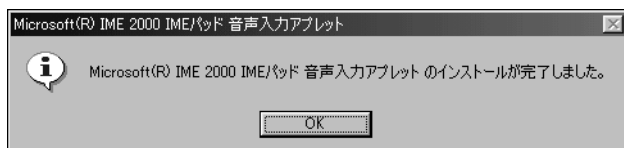


6 「はい」をクリックします。

使用許諾契約の画面が表示されます。

7 追加使用許諾契約書をお読みになり、内容に同意の上、「はい」をクリックします。

次の画面が表示されます。



8 「OK」をクリックします。

「ここで再起動しますか?」と表示されます。

9 「はい」をクリックします。

パソコンが自動的に再起動します。再起動後、画面右下に、次の画面が表示されます。



音声入力アプレット

10 「閉じる」をクリックします。

「Microsoft IME 2000音声入力アプレット」ウィンドウが表示されます。

11 ✕をクリックします。

12 画面右下にある音声入力アプレットの上のをクリックします。
次のようなメニューが表示されます。

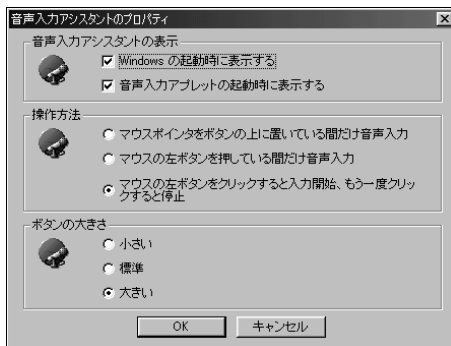


✓チェック!!

「Valupack」ウィンドウが最前面に表示された場合は✕をクリックしてウィンドウを閉じてください。

13 「プロパティ」をクリックします。

次の画面が表示されます。



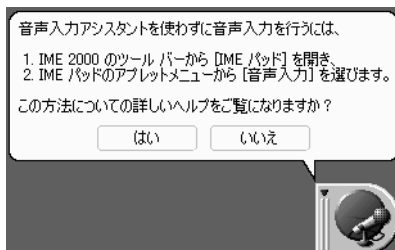
14 「音声入力アシスタントの表示」の「Windowsの起動時に表示する」の

☒ をクリックしてチェックを外し、☐ にします。

15 「OK」をクリックします。

16 音声入力アプレットの左上の をクリックしてメニューを開き、「閉じる」をクリックします。

次の画面が表示されます。



17 「いいえ」をクリックします。

18 「スタート」をクリックし、「Windowsの終了」をクリックします。

19 「電源を切れる状態にする」になっていることを確認して、「OK」をクリックします。

パソコンの電源が切れます。

以上で、Office 2000 Personalのセットアップは終了です。

次の「8.別売の周辺機器を取り付けて設定し直す」(p.66)に進んでください。

一太郎モデルのとき

◆ Voice 一太郎 10・花子 10 パックを再セットアップする

- 1 パソコンの電源を入れます。
- 2 「ランチ-NX」が起動している場合は、右上の  をクリックして閉じてください。
ランチ-NXが終了します。
- 3 CD-ROMドライブに「Voice一太郎10・花子10パックCD-ROM」をセットします。
自動的にセットアップを開始するウィンドウが表示されます。自動表示されない場合は、デスクトップの「マイコンピュータ」を起動し、CD-ROMアイコンをダブルクリックしてください。
「JUSTSYSTEM AutoPlayプログラム」ウィンドウが表示されます。



- 4 「一太郎10・花子10パックのセットアップ」をクリックします。
セットアップ開始を確認するウィンドウが表示されます。
- 5 「セットアップ開始」をクリックします。
「使用許諾契約の確認」ウィンドウが表示されます。
- 6 「確認」をクリックします。
「一太郎10・花子10パックのセットアップ」と表示されます。
- 7 「次へ」をクリックします。
「使用者名・法人名の登録」ウィンドウが表示されます。
- 8 「次へ」をクリックします。
「シリアルナンバー・User IDの登録」ウィンドウが表示されます。
- 9 一太郎10・花子10パックに同梱されているJ-Sheetをご覧の上、必要事項を入力して「次へ」をクリックします。
「使用者名・シリアルナンバーの確認」ウィンドウが表示されます。

- 10 正しく入力されていたら「登録する」をクリックします。
「セットアップ方法の選択」ウィンドウが表示されます。
- 11 「標準」が選択されていることを確認して「次へ」をクリックします。
「標準モードでセットアップすると…」と表示されます。
- 12 「次へ」をクリックします。
「セットアップするフォルダを設定します」と表示されます。
- 13 「次へ」をクリックします。
「ファイルのコピーを開始します」と表示されます。
- 14 「コピー開始」をクリックします。
ファイルのコピーが始まります。しばらくお待ちください。
しばらくすると「インターネット接続方法の選択」ウィンドウが表示
されます。
- 15 「はい」を選択して「OK」をクリックします。
「ユーザ登録のご案内」ウィンドウが表示されます。
- 16 「確認」をクリックします。
「一太郎10・花子10パックのセットアップ終了」ウィンドウが表示さ
れます。
- 17 「再起動」をクリックします。
パソコンが自動的に再起動します。
「ATOK13環境移行支援ツール」ウィンドウが表示されます。
- 18 「終了」をクリックします。
CD-ROMドライブからCD-ROMを取り出してください。
- 19 「スタート」ボタンをクリックして、「Windowsの終了」をクリックし、
「電源を切れる状態にする」になっていることを確認して「OK」ボタ
ンをクリックします。
パソコンの電源が切れます。

次の「8. 別売の周辺機器を取り付けて設定し直す」に進んでください。

8. 別売の周辺機器を取り付けて設定し直す

「3.別売の周辺機器を取り外す」(p.54)で取りはずした別売の周辺機器を取り付けて、それぞれのセットアップ、設定を行ってください。



参照
周辺機器の設定→周辺機器のマニュアル、『拡張!活用! バリュースター』の「PART2 パワーアップのための基礎知識」

9. 購入後に行ったインターネットなどの設定をやり直す

パソコン購入後に行った設定は、再セットアップによってすべて購入時の状態になっているので、設定し直してください。

インターネットを使っているときは、「2.インターネットなどの設定を控える」(p.53)でバックアップしたデータを「インターネット接続の設定を復元」(p.6)で復元したり、あらかじめとっておいた設定や控えたメモの設定に戻してください。

IDやアドレスはすでに取得しているものを使えます。サインアップをやり直す必要はありません。



参照
「インターネット接続の設定を復元」
(p.6)

10. 別売のアプリケーションをインストールし直す

パソコン購入後にインストールしたアプリケーションも消去されているので、インストールし直してください。

11. バックアップしたデータを復元する

「1.バックアップをとる」(p.52)でバックアップしたアプリケーションのデータを復元してください。手順については、「アプリケーションのデータを復元」(p.5)や🔍「サポートセンタ」-「困ったときのQ&A」-「トラブルの予防」-「バックアップ-NX」をご覧ください。



参照
「アプリケーションのデータを復元」
(p.5)

全領域を1パーティションにして再セットアップする (カスタム再セットアップ)

ハードディスクの領域を1つのドライブとして作成したいときは、この方法で行います。

●「全領域を1パーティションにして再セットアップ」の手順

次の手順で行います。作業にかかる時間の目安を書いておきます。参考にしてください。

再セットアップを始めたらず途中でやめず、必ず手順どおり最後まで行ってください。

1. バックアップをとる
2. インターネットなどの設定を控える
3. 別売の周辺機器を取り外す
4. 必要なものを準備する
5. システムを再セットアップする(約50分～1時間10分)
6. Windows 98の設定をする(約10分)
7. ・Office 2000モデルのときは、Office 2000 Personalを再セットアップする(約30分)
・一太郎モデルのときは、Voice一太郎10・花子10パックを再セットアップする(約30分)
8. 別売の周辺機器を取り付けて設定し直す
9. 購入後に行ったインターネットなどの設定をやり直す
10. 別売のアプリケーションをインストールし直す
11. バックアップしたデータを復元する

1. バックアップをとる

ご自分で作成した大切なデータは、必ずMO、外付けハードディスクやフロッピーディスクなどにバックアップしてください。

「購入したときと同じ状態にする(標準再セットアップ)」の「1. バックアップをとる」(p.52)をご覧ください。データのバックアップをとってください。

✓チェック!!

この方法では、システムやアプリケーション、データもすべて削除されます。再セットアップする前に、必要なデータなどは必ずバックアップをとってください。

✓チェック!!

再セットアップは途中で中断しないでください。もし中断したときは最初からやり直してください。

✓チェック!!

再セットアップにかかる時間はモデルによって異なります。それぞれ再セットアップ中に表示される画面で確認してください。

ハードディスクのデータはすべて、再セットアップによって消去されますので、必要なデータは必ずバックアップをとってください。

2. インターネットなどの設定を控える

「購入したときと同じ状態にする（標準再セットアップ）」の「2. インターネットなどの設定を控える」(p.53)をご覧ください、必要な情報を控えてください。

3. 別売の周辺機器を取り外す

「購入したときと同じ状態にする（標準再セットアップ）」の「3. 別売の周辺機器を取り外す」(p.54)をご覧ください、別売の周辺機器を取りはずしてください。

4. 必要なものを準備する

「購入したときと同じ状態にする（標準再セットアップ）」の「4. 必要なものを準備する」(p.54)をご覧ください、再セットアップに必要なものを準備してください。

5. システムを再セットアップする

- 1 パソコン本体の電源を入れます。
- 2 電源ランプがついたらすぐに「システムインストールディスク（起動用）」をフロッピーディスクドライブにセットします。
「再セットアップとは」の画面が表示されます。
- 3 【Enter】キーを押します。
「再セットアップの準備」の画面が表示されます。
- 4 【Enter】キーを押します。
再セットアップモードを選ぶ画面が表示されます。
- 5 【↓】キーを1回押して、「カスタム再セットアップモード」が黄色になったら【Enter】キーを押します。
（【↓】キーを押すすぎたときは【↑】キーを押して戻してください。）
カスタム再セットアップの種類を選ぶ画面が表示されます。
- 6 「全領域を1パーティションにして再セットアップ」が黄色になっていることを確認して、【Enter】キーを押します。
「ハードディスクの領域を下記の様に設定し、ファイルを購入時の状態に戻します。よろしいですか？」と表示されます。
- 7 CD-ROMドライブに「バックアップCD-ROM」をセットしてください。

✓チェック!!

「システムインストールディスク（起動用）」のセットが遅いと、「再セットアップとは」の画面は表示されません。その場合はディスクをフロッピーディスクドライブから取り出し、電源を切って、手順1からやり直してください。

8 【←】キーを1回押して「はい」が黄色になったら、【Enter】キーを押します。

(【←】キーを押すすぎたときは【→】キーを押して戻してください。)

「ハードディスクの領域確保中です。」と表示されます。

ハードディスクの領域確保とシステムの再セットアップが始まります。種類、モデルによって異なりますが、約50分～1時間10分かかります。

途中でフロッピーディスクやCD-ROMを入れ替えるメッセージが表示されたら、指示に従って入れ替えてください。

システムの再セットアップまで終わると「終了しました」の画面が表示されます。

9 フロッピーディスクドライブから「システムインストールディスク(起動用)」を取り出します。

10 CD-ROMドライブから「バックアップCD-ROM」を取り出します。

11 【Enter】キーを押します。

パソコンが再起動し、しばらくすると「Windows 98セットアップウィザード」が表示されます。

12 これ以降の操作は、標準再セットアップの場合と同じです。

「購入したときと同じ状態にする(標準再セットアップ)」の「6.Windows 98の設定をする」(p.57)に進んで、その後の操作を行ってください。

「購入したときと同じ状態にする(標準再セットアップ)」の「6.Windows 98の設定をする」(p.57)に進んでください。

✓チェック!!

ハードディスクの領域の確保とシステムの再セットアップ中は、画面からの指示がない限り、CD-ROMやフロッピーディスクを取り出したり電源スイッチを押したりしないでください。

再セットアップ中に数回ビープ音(ビーという音)が鳴りますが、問題ないので無視してください。

✓チェック!!

再セットアップの作業は、まだ終わりではありません。必ず「購入したときと同じ状態にする(標準再セットアップ)」の「6.Windows 98の設定をする」(p.57)以降の操作を行ってください。

Cドライブのみ 再セットアップする (カスタム再セットアップ)

Cドライブのみを再セットアップします。Dドライブ以降のデータはそのままなので、Cドライブだけを再セットアップしたい場合にこの方法で再セットアップしてください。ただし、この方法では、Cドライブの容量を変えることはできません。

●「Cドライブのみを再セットアップ」の手順

次の手順で行います。作業にかかる時間の目安を書いておきます。参考にしてください。

再セットアップを始めたらず途中でやめないで、必ず手順どおり最後まで行ってください。

1. バックアップをとる
2. インターネットなどの設定を控える
3. 別売の周辺機器を取り外す
4. 必要なものを準備する
5. システムを再セットアップする (約 50 分～1 時間 10 分)
6. Windows 98 の設定をする (約 10 分)
7. ・Office 2000 モデルのときは、Office 2000 Personal を再セットアップする (約 30 分)
・一太郎モデルのときは、Voice 一太郎 10・花子 10 パックを再セットアップする (約 30 分)
8. 別売の周辺機器を取り付けて設定し直す
9. 購入後に行ったインターネットなどの設定をやり直す
10. 別売のアプリケーションをインストールし直す
11. バックアップしたデータを復元する

✓チェック!!

Cドライブ以外のハードディスクにアプリケーションをインストールしている場合、再セットアップ後、ハードディスクにアプリケーションが残っていても、そのアプリケーションは再インストールが必要な場合があります。アプリケーションがうまく動作しないときは、再セットアップ後に、アプリケーションもインストールし直してください。

✓チェック!!

この方法では、Cドライブにあるシステムやアプリケーション、データはすべて削除されます。再セットアップする前に、必要なデータなどは必ずバックアップをとってください。

✓チェック!!

再セットアップは途中で中断しないでください。もし中断したときはもう一度最初からやり直してください。

✓チェック!!

再セットアップにかかる時間はモデルによって異なります。それぞれ再セットアップ中に表示される画面で確認してください。

1. バックアップをとる

ご自分で作成した大切なデータは、必ず MO、外付けハードディスクやフロッピーディスクなどにバックアップしてください。

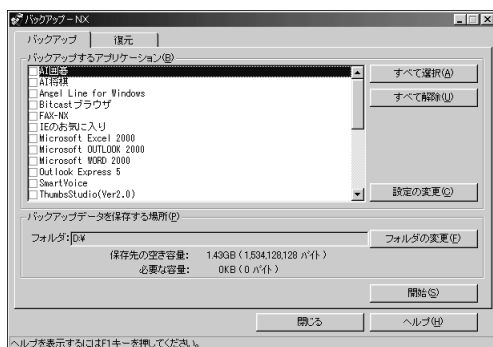
Cドライブのデータは、再セットアップによってすべて消去されてしまいます。「購入したときと同じ状態にする（標準再セットアップ）の「1. バックアップをとる」(p.52)をご覧ください、データのバックアップをとってください。

また、「Cドライブのみ再セットアップする」の手順で再セットアップする場合は、Cドライブに保存されていたデータを、Dドライブにコピーして、一時的に退避させることが可能です。

Dドライブにバックアップしたいデータをコピーする

MOドライブなどの別売の周辺機器が接続されていない場合や、データがフロッピーディスクでは入りきらない大容量の場合、バックアップしたいデータを一時的にDドライブにコピーして、再セットアップを行うことができます。ただし、この方法が使えるのは、カスタム再セットアップの「Cドライブのみ再セットアップする」を選択した場合のみです。それ以外の再セットアップの手順を行うとDドライブはフォーマットされてコピーしたデータはすべて消去されてしまいますので、十分注意してください。ここでは、例として、Dドライブに「バックアップ-NX」でコピーする方法を説明します。

- 1 「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」、「アプリケーション」、「バックアップ-NX」の順にクリックします。
- 2 「バックアップする」が  (オン) になっていることを確認して「OK」ボタンをクリックします。
「バックアップ-NX」ウィンドウが起動します。



参照

バックアップの取り方→「アプリケーションのデータをバックアップ」(p.3)、『練習! パソコンの基本』PART5の「バックアップを取る」、バックアップ-NXについて→「サポートセンター」-「困ったときのQ & A」-「トラブルの予防」-「バックアップ-NX」

チェック!!

- ・Dドライブにコピーできるのは、文書や表計算などのデータファイルのみです。
- ・Dドライブへのデータのコピーは一時的なものです。再セットアップ完了後、必ず別の媒体（フロッピーディスクなど）にバックアップを取るようにしてください。
- ・Dドライブにアプリケーションをコピーしても、バックアップを取ったことにはなりません。アプリケーションはCドライブを再セットアップ後、再インストールしてください。アプリケーションをDドライブにインストールして、「Cドライブのみ再セットアップする」を選択しても多くの場合、正常には動作しません。

メモ

アプリケーションのデータの保存先を初期設定から変更していたり、同じフォルダの中の一部のデータだけをバックアップしたい場合などは、「設定の変更」ボタンをクリックして、画面の指示にしたがい、保存先を指定してください。

- 3 「バックアップするアプリケーション」一覧から、データをバックアップするアプリケーションを選びます。
- 4 「バックアップデータを保存する場所」を指定します。「D:\」(Dドライブ)が選択されている(標準の状態)のを確認して「開始」ボタンをクリックします。
バックアップが始まります。バックアップが終了すると、「バックアップは正常に終了しました」と表示されます。
- 5 「閉じる」ボタンをクリックします。
- 6 「バックアップ-NX」ウィンドウで、「閉じる」ボタンをクリックします。
これでバックアップは完了です。

メモ

「バックアップ-NX」でバックアップできるのはすべてのデータではありません。詳しくは「バックアップ-NX」のヘルプをご覧ください。

2. インターネットなどの設定を控える

「購入したときと同じ状態にする(標準再セットアップ)」の「2. インターネットなどの設定を控える」(p.53)をご覧ください、必要な情報を控えてください。

3. 別売の周辺機器を取り外す

「購入したときと同じ状態にする(標準再セットアップ)」の「3. 別売の周辺機器を取り外す」(p.54)をご覧ください、別売りの周辺機器を取りはずしてください。

4. 必要なものを準備する

「購入したときと同じ状態にする(標準再セットアップ)」の「4. 必要なものを準備する」(p.54)をご覧ください、再セットアップに必要なものを準備してください。

5. システムを再セットアップする

- 1 パソコン本体の電源を入れます。
- 2 電源ランプがついたらすぐに「システムインストールディスク(起動用)」をフロッピーディスクドライブにセットします。
「再セットアップとは」の画面が表示されます。
- 3 【Enter】キーを押します。
「再セットアップの準備」の画面が表示されます。
- 4 【Enter】キーを押します。
再セットアップのモードを選ぶ画面が表示されます。
- 5 【↓】キーを1回押して「カスタム再セットアップモード」が黄色になったら、【Enter】キーを押します。
(【↓】キーを押すときは【↑】キーを押して戻してください。)
カスタム再セットアップの種類を選ぶ画面が表示されます。

メモ

「システムインストールディスク(起動用)」のセットが遅いと、「再セットアップとは」の画面は表示されません。

その場合は、ディスクをフロッピーディスクドライブから取り出し、電源を切って、手順1からやり直してください。

6 【↓】キーを1回押して「Cドライブのみ再セットアップ」が黄色になったら、【Enter】キーを押します。

(【↓】キーを押しすぎたときは【↑】キーを押して戻してください。)
「Cドライブの内容を消去し、ファイルを購入時の状態に戻します。
よろしいですか?」と表示されます。

7 CD-ROMドライブに「バックアップCD-ROM」をセットします。

8 【←】キーを1回押して「はい」が黄色になったら、【Enter】キーを押します。

(【←】キーを押しすぎたときは、【→】キーを押して戻してください。)

システムの再セットアップが始まります。種類、モデルによって異なりますが、約50分～1時間10分かかります。

途中でフロッピーディスクやCD-ROMを入れ替えるメッセージが表示されたら、指示にしたがって入れ替えてください。

システムの再セットアップが終わると「終了しました」の画面が表示されます。

9 フロッピーディスクドライブから「システムインストールディスク(起動用)」を取り出します。

10 CD-ROMドライブから「バックアップCD-ROM」を取り出します。

11 【Enter】キーを押します。

Windows 98が再起動し、しばらくすると「Windows 98セットアップウィザード」ウィンドウが表示されます。

12 これ以降の操作は、標準再セットアップの場合と同じです。

「購入したときと同じ状態にする(標準再セットアップ)」の「6.Windows 98の設定をする」(p.57)に進んで、その後の操作を行ってください。

「購入したときと同じ状態にする(標準再セットアップ)」の「6.Windows 98の設定をする」(p.57)に進んでください。

✓チェック!!

ハードディスクのフォーマットとシステムの復元中は、画面からの指示がない限り、CD-ROMやフロッピーディスクを取り出したり電源スイッチを押したりしないでください。

✓チェック!!

再セットアップ中に数回ビープ音(ビーという音)が鳴りますが、問題ないので無視してください。

✓チェック!!

再セットアップの作業は、まだ終わりではありません。必ず、「購入したときと同じ状態にする(標準再セットアップ)」の「6.Windows 98の設定をする」(p.57)以降の操作を行ってください。

ハードディスクの領域を自由に設定して再セットアップする (カスタム再セットアップ)

Cドライブのハードディスク領域を自由に変えたいときは、ユーザ設定で行います。初心者の方や、ハードディスクの知識があまりない方は、この方法で再セットアップしないでください。

●ユーザ設定の手順

ユーザ設定は次の手順で行います。作業にかかる時間の目安を書いておきます。参考にしてください。

再セットアップを始めたら途中でやめないでください。必ず手順どおり最後まで行ってください。

1. バックアップをとる
2. インターネットなどの設定を控える
3. 別売の周辺機器を取り外す
4. 必要なものを準備する
5. 領域を削除する(約5分)
6. 領域を作成する(約5分)
7. ドライブを初期化(フォーマット)する(約5～20分)
8. システムを再セットアップする(約50分～1時間10分)
9. Windows 98の設定をする(約10分)
10. ・Office 2000モデルのときは、Office 2000 Personalを再セットアップする(約30分)
・一太郎モデルのときは、Voice一太郎10・花子10パックを再セットアップする(約30分)
11. フォーマットできなかったハードディスクドライブをフォーマットする
12. 別売の周辺機器を取り付けて設定し直す
13. 購入後に行ったインターネットなどの設定をやり直す
14. 別売のアプリケーションをインストールし直す
15. バックアップしたデータを復元する

✓チェック!!

ここに掲載されている画面は、機種によって、実際に表示される画面と異なることがあります。

✓チェック!!

ハードディスクの領域を削除すると、その領域のシステムやアプリケーション、データもすべて削除されます。領域を削除する前に、必ずバックアップをとってください。

✓チェック!!

再セットアップは途中で中断しないでください。もし、中断したときは、最初からやり直してください。

✓チェック!!

ハードディスクのボリュームラベルが全角文字または半角カタカナで入力されているときは、領域の削除ができません。「マイコンピュータ」でハードディスクドライブのアイコンを右クリックして「プロパティ」で半角英数字に入力し直すか、ボリュームラベルを削除してください。

✓チェック!!

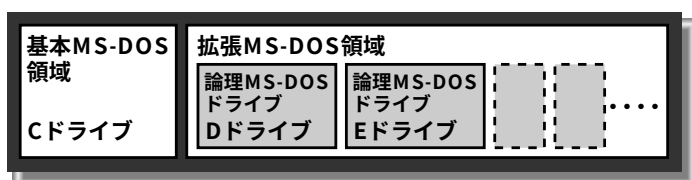
再セットアップにかかる時間はモデルによって異なります。それぞれ、再セットアップ中に表示される画面で確認してください。

基本MS-DOS領域と拡張MS-DOS領域

カスタム再セットアップでは、カスタム再セットアップの画面からFDISKというコマンドを実行して、まずハードディスクの領域を削除し作り直します。

ハードディスクを基本MS-DOS領域と拡張MS-DOS領域に分け、さらに、拡張MS-DOS領域を論理MS-DOSドライブに分けます。このうち、基本MS-DOS領域がCドライブ（Windows 98を起動するドライブ）になり、論理MS-DOSドライブがD以降のドライブになります。

・ハードディスクの領域



領域の削除は、論理MS-DOSドライブ→拡張MS-DOS領域→基本MS-DOS領域の順に削除してください。領域の作成は、逆に基本MS-DOS領域→拡張MS-DOS領域→論理MS-DOSドライブの順で作成してください。

領域を作ったあと、カスタム再セットアップの画面からFORMATコマンドを実行してそれぞれのドライブをフォーマットします。

FAT32ファイルシステムとFAT16ファイルシステム

このパソコンはご購入時の状態では、FAT32ファイルシステムとよばれるファイルの管理方法を使って次のようにハードディスクが領域作成されています。

Cドライブ ハードディスクの全領域から2Gバイトを引いた容量
Dドライブ 約2Gバイト

* モデルによってCドライブの領域は異なります。

ハードディスクの管理方法にはFAT32ファイルシステムとFAT16ファイルシステムの2つがあります。Windows 98ではどちらでも利用できますが、FAT16ファイルシステムのハードディスクの最大領域は2,047Mバイトまでですので、このパソコンで、基本MS-DOS領域をFAT16にして再セットアップすると、領域が足りなくなる場合があります。

用語

基本MS-DOS領域

起動することができるドライブです。Cドライブが割り当てられ、ここにWindows 98をインストールします。1つのハードディスクに1つしか作成できません。

拡張MS-DOS領域

基本MS-DOS領域以外のMS-DOS領域です。ここから起動することはできません。1つのハードディスクに1つしか作成できません。この中に論理MS-DOSドライブ(Dドライブ以降のドライブ)を割り当てます。

論理MS-DOSドライブ

拡張MS-DOS領域の中に作ります。Dドライブ以降の複数のドライブを作成することができます。

参照

FAT32について→『拡張!活用! パリユースター』PART10の「ハードディスク」

1. バックアップをとる

ご自分で作成した大切なデータは、必ず MO やフロッピーディスクなどにバックアップしてください。

「購入したときと同じ状態にする（標準再セットアップ）」の「1. バックアップをとる」(p.52)をご覧ください、データのバックアップをとってください。すべてのハードディスクのデータは、再セットアップによって消去されますので、必要なデータは必ずバックアップをとってください。

2. インターネットなどの設定を控える

「購入したときと同じ状態にする（標準再セットアップ）」の「2. インターネットなどの設定を控える」(p.53)をご覧ください、必要な情報を控えてください。

3. 別売の周辺機器を取り外す

「購入したときと同じ状態にする（標準再セットアップ）」の「3. 別売の周辺機器を取り外す」(p.54)をご覧ください、別売の周辺機器を取り外してください。

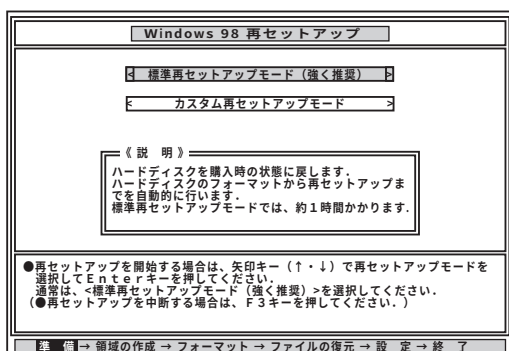
4. 必要なものを準備する

「購入したときと同じ状態にする（標準再セットアップ）」の「4. 必要なものを準備する」(p.54)をご覧ください、再セットアップに必要なものを準備してください。

5. 領域を削除する

ハードディスクの領域を削除します。

- 1 パソコン本体の電源を入れます。
- 2 電源ランプがついたら、すぐに「システムインストールディスク(起動用)」をフロッピーディスクドライブにセットします。
「再セットアップとは」の画面が表示されます。
- 3 【Enter】キーを押します。
「再セットアップの準備」の画面が表示されます。
- 4 【Enter】キーを押します。
再セットアップモードを選ぶ画面が表示されます。



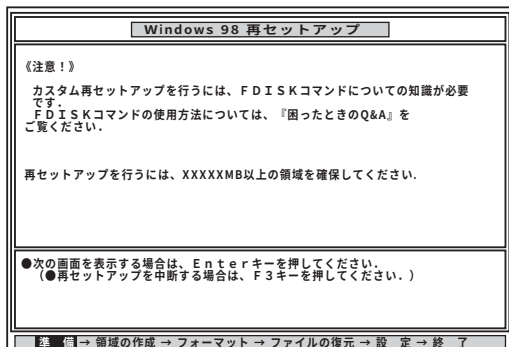
- 5 【↓】キーを1回押して「カスタム再セットアップモード」が黄色になったら、【Enter】キーを押します(【↓】キーを押しすぎたときは、【↑】キーを押して戻してください)。

カスタム再セットアップの種類を選ぶ画面が表示されます。

- 6 【↓】キーを2回押して「ユーザ設定」が黄色になったら、【Enter】キーを押します。

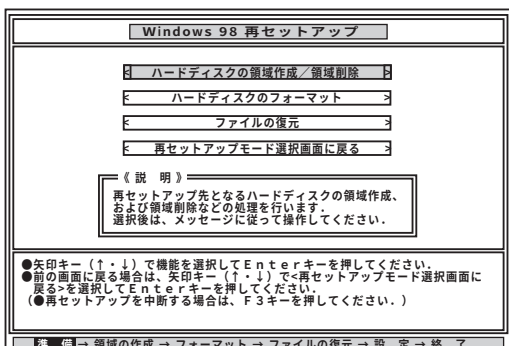
(【↓】キーを押しすぎたときは、【↑】キーを押して戻してください。)

「注意!」の画面が表示されます。



- 7 【Enter】キーを押します。

次の画面が表示されます。



メモ

「システムインストールディスク(起動用)」のセットが遅いと、「再セットアップとは」の画面は表示されません。その場合は、ディスクをフロッピーディスクドライブから取り出し、電源を切って、手順1からやり直してください。

「Invalid system disk ...」と表示されたときは、別のフロッピーディスクがセットされています。「システムインストールディスク(起動用)」をセットし直して、【Enter】キーなどのキーを押してください。

チェック!!

カスタム再セットアップを中止するときは【F3】キーを押してください。

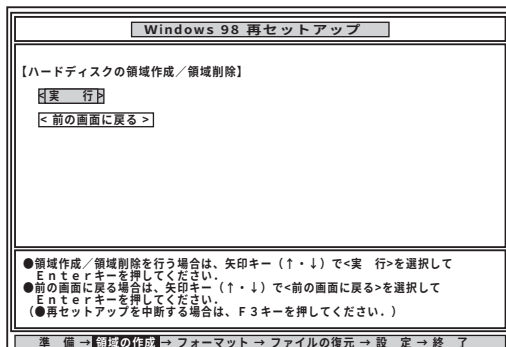
チェック!!

再セットアップに必要なハードディスクの容量が表示されますので、お使いのモデルに合った容量を書き留めておいてください。

8 「ハードディスクの領域作成／領域削除」が黄色になっているので、そのまま【Enter】キーを押します。

「ハードディスクの領域作成／領域削除」が黄色になっていないときは、【↑】キーを押して、黄色にしてから【Enter】キーを押してください。

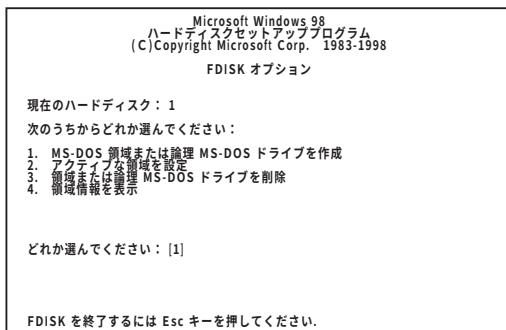
「ハードディスクの領域作成／領域削除」の画面が表示されます。



9 「実行」が黄色になっているので、そのまま【Enter】キーを押します。

「実行」が黄色になっていないときは、【↑】キーを押して黄色にしてから【Enter】キーを押してください。

「FDISKオプション」の画面が表示されます。



ハードディスクに基本MS-DOS領域しかないとき(Cドライブのみの場合)は、「基本MS-DOS領域を削除する」(p.80)に進んでください。

ハードディスクに論理MS-DOSドライブ、および拡張MS-DOS領域があるときは、次の「論理MS-DOSドライブを削除する」に進んでください。

●論理 MS-DOS ドライブを削除する

- 10 【3】キー(領域または論理MS-DOSドライブを削除)を押して、
【Enter】キーを押します。
- 11 【3】キー(拡張MS-DOS領域内の論理MS-DOSドライブを削除)を押
して、【Enter】キーを押します。
ドライブの一覧が表示され、「どのドライブを削除しますか」と表示
されます。
- 12 削除するドライブのキーを押して(Dドライブを削除するときは【D】
キーを押す)、【Enter】キーを押します。
「ボリュームラベルを入力してください」と表示されます。
- 13 削除する領域にボリュームラベル(ドライブの名前)がつけられてい
るときは、ボリュームラベルを入力して【Enter】キーを押します。
削除する領域にボリュームラベルがつけられていないときは、そのま
ま【Enter】キーを押します。
「よろしいですか(Y/N)」と表示されます。
- 14 【Y】キーを押して、【Enter】キーを押します。
削除されたドライブのところに「ドライブを削除しました。」と表示
されます。
- 15 残りのドライブがあるときは残りのドライブもすべて12~14の手
順で削除します。
すべてのドライブが削除されると「拡張 MS-DOS 領域の論理ドライ
ブはすべて削除されました。」と表示されます。
- 16 【Esc】キーを押します。
「論理ドライブは定義されていません。ドライブ名は変更または削除
されました。」と表示されます。
- 17 【Esc】キーを押します。
「FDISK オプション」の画面が表示されます。

●拡張 MS-DOS 領域を削除する

- 18 【3】キー(領域または論理MS-DOSドライブを削除)を押して、
【Enter】キーを押します。
- 19 【2】キー(拡張MS-DOS領域を削除)を押して、【Enter】キーを押します。
「削除した拡張MS-DOS領域のデータはなくなります。続けますか
(Y/N)」と表示されます。
- 20 【Y】キーを押して、【Enter】キーを押します。
「拡張 MS-DOS 領域を削除しました。」と表示されます。
- 21 【Esc】キーを押します。
「FDISKオプション」の画面が表示されます。

●基本 MS-DOS 領域を削除する

22 【3】(領域または論理 MS-DOS ドライブを削除)キーを押して、
【Enter】キーを押します。

23 【1】(基本 MS-DOS 領域を削除)キーを押して、【Enter】キーを押します。
現在のハードディスクの状態が表示され、「削除した基本 MS-DOS
領域のデータはなくなります。どの基本領域を削除しますか」と表示
されます。

24 【1】になっているのを確認して、【Enter】キーを押します。
「ボリュームラベルを入力してください」と表示されます。

25 「WINDOWS98」と入力して、【Enter】キーを押します。
別のボリュームラベルがつけられているときはその名前を入力しま
す。ボリュームラベルが付けられていないときはなにも入力しないで
そのまま【Enter】キーを押します。
「よろしいですか(Y/N)」と表示されます。

26 【Y】キーを押して、【Enter】キーを押します。
「基本 MS-DOS 領域を削除しました。」と表示されます。

27 【Esc】キーを押します。
「FDISK オプション」の画面が表示されます。

次の「6. 領域を作成する」に進んでください。

6. 領域を作成する

領域を削除したら、新しく領域を作成してください。削除した領域の容量を合計した範囲のなかで、新しい領域を確保します。

・領域の分け方の例

13GBバイトのハードディスクで、基本MS-DOS領域を5GBバイトにして、残りの拡張MS-DOS領域を7GBバイト、約1,000Mバイトの論理MS-DOSドライブにする。

13GBバイトのハードディスク		
基本MS-DOS領域 (FAT32)	拡張MS-DOS領域	
Cドライブ 5GBバイト	論理MS-DOS ドライブ (FAT32) Dドライブ 7GBバイト	論理MS-DOS ドライブ (FAT32) Eドライブ 約1,000Mバイト

●基本 MS-DOS 領域を作成する

- 1 「FDISK オプション」の画面で、「どれか選んでください:」の右に「1」(MS-DOS 領域または論理 MS-DOS ドライブを作成)が表示されるので、[Enter]キーを押します。
- 2 「どれか選んでください:」の右に「1」(基本 MS-DOS 領域を作成)が表示されているので、[Enter]キーを押します。
ドライブがチェックされたあと、「基本MS-DOS領域に使用できる最大サイズを割り当てますか(同時にその領域をアクティブにします)(Y/N)」と表示されます。

(a) 最大サイズの領域を作成したいとき

ハードディスクの領域を分けずに一つの領域にする場合には、次の操作をしてください。

- (1) [Y]になっているのを確認して、[Enter]キーを押します。
ドライブがチェックされたあと、「ドライブのサイズが2048MB以上あります。このドライブは、FAT32です。」と表示されます。
- (2) [Esc]キーを押します。
「変更を有効にするには、コンピュータを再起動してください。」と表示されます。
- (3) [Esc]キーを押します。
「拡張MS-DOS領域が作成されていません。拡張MS-DOS領域を作成しますか?」と表示されたときは、[→]キーを1回押しで<いいえ>を選んで、[Enter]キーを押してください。

「設定を有効にするためにシステムを再起動します」と表示されます。

(4) [Enter]キーを押します。

パソコンが自動的に再起動します。

「Windows 98再セットアップ」の画面が表示されます。

これで領域は作成されました。「7. ドライブを初期化（フォーマット）する」(p.85)に進んでください。

(b) サイズを指定して領域を作成したいとき

(1) [N]キーを押し、[Enter]キーを押します。

ドライブがチェックされたあと、「領域のサイズをMバイトか全体に対する割合(%)で入力してください。基本MS-DOS領域を作ります」と表示されます。

(2) 必要な空き容量(p.77)以上の数値(領域のサイズ、Mバイト単位)を入力して、[Enter]キーを押します。

たとえば、13Gバイトのモデルで4095Mバイトの領域を確保するときは、[4][0][9][5][Enter]の順にキーを押します(全体に対する割り合いで入力することもできます。たとえば、13Gバイトモデルで4Gバイトの領域を確保するときは、[3][2][%][Enter]の順にキーを押します)。

(3) [Esc]キーを押します。

「FDISKオプション」の画面に戻ります。

(4) [2]キー(アクティブな領域を設定)を押し、[Enter]キーを押します。

「アクティブにしたい領域の番号を入力してください」と表示されます。

(5) [1]キーを押して、[Enter]キーを押します。

「領域1がアクティブになりました。」と表示されます。

(6) [Esc]キーを押します。

「FDISKオプション」の画面が表示されます。

次に拡張 MS-DOS 領域と論理 MS-DOS ドライブを作成します。

チェック!

・p.77で書き留めたハードディスク容量以上の領域で作成してください。

・「このドライブはFAT32が標準設定になっています。FAT16に変更しますか(Y/N)?」と表示された場合(指定した領域が512~2047Mバイトの場合)は、FAT32にするときはNを選択して、[Enter]キーを押してください。

・「ドライブのサイズが2048MB以上あります。このドライブはFAT32です。」と表示されたときは、[Esc]キーを押します。自動的にFAT32に設定されます。

●拡張 MS-DOS 領域を作成する

- 3 「どれか選んでください。」の右に「1」(MS-DOS領域または論理MS-DOSドライブを作成)が表示されているのを確認し、[Enter]キーを押します。
- 4 [2]キー(拡張MS-DOS領域を作成)を押し、[Enter]キーを押します。
ドライブがチェックされたあと、「領域のサイズをMバイトか全体に対する割合(%)で入力してください。拡張MS-DOS領域を作り出す」と表示され、残っている領域のサイズが表示されます。
- 5 そのまま[Enter]キーを押します。
「拡張MS-DOS領域を作成しました。」と表示されます。
- 6 [Esc]キーを押します。
ドライブがチェックされたあと、「論理ドライブのサイズをMバイトか全体に対する割合(%)で入力してください。」と表示されます。

●論理 MS-DOS ドライブを割り当てる

- 7 論理MS-DOSドライブに最大サイズを割り当てたいときは、そのまま[Enter]キーを押します。
サイズを指定するときは、数字を入力して[Enter]キーを押します。
 - ・ 指定したサイズが2,048Mバイト以上の場合
「ドライブのサイズが2,048Mバイト以上あります。このドライブはFAT32です。」と表示され、自動的にFAT32に設定されます。
[Esc]キーを押します。
 - ・ 指定したサイズが2,047Mバイト以下の場合
「このドライブはFAT32が標準設定になっています。FAT16に変更しますか」と表示されます。FAT16で利用する場合は[Y]キーを、FAT32で利用する場合は[N]キーを押します。

割り当てられていない拡張MS-DOS領域がまだ残っているときは、「論理ドライブのサイズをMバイトか全体に対する割合(%)で入力してください」と表示されます。

手順7をくりかえして、すべての拡張MS-DOS領域を論理MS-DOSドライブに割り当ててください。

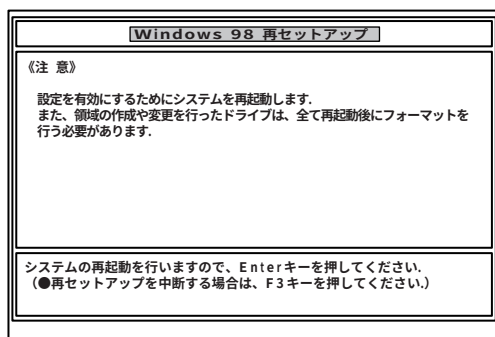
- 8 すべての領域が割り当てられると、「拡張MS-DOS領域の使用可能な領域はすべて論理ドライブに割り当てられます」と表示されるので、[Esc]キーを押します。
「FDISKオプション」の画面に戻ります。

9 【Esc】キーを押します。

「変更を有効にするには、コンピュータを再起動してください。」と表示されます。

10 【Esc】キーを押します。

「設定を有効にするためにシステムを再起動します。」と表示されます。



11 【Enter】キーを押します。

パソコンが自動的に再起動します。

「Windows 98 再セットアップ」の画面が表示されます。

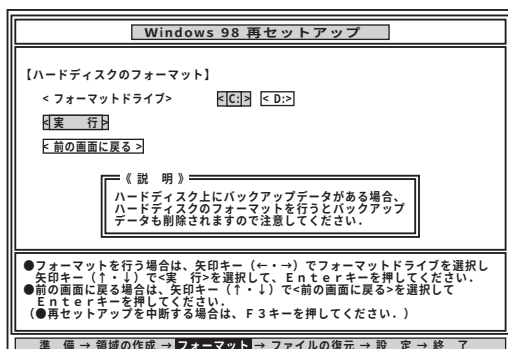
これで領域は作成されました。次の「7. ドライブを初期化(フォーマット)する」に進んでください。

7. ドライブを初期化（フォーマット）する

新しく作成した領域は、フォーマットする必要があります。

- 1 【↓】キーを1回押して「ハードディスクのフォーマット」が黄色になったら、【Enter】キーを押します。

（【↓】キーを押しすぎたときは、【↑】キーを押して戻してください）



- 2 「C:」が黄色になっているので、【Enter】キーを押します（【→】キーを押しすぎたときは、【←】キーを押して戻してください）。

「注意：ドライブC:のハードディスクのデータはすべてなくなります。フォーマットしますか(Y/N)?」と表示されます。

- 3 【Y】キーを押して、【Enter】キーを押します。

フォーマットが始まります。作成した領域の大きさにもよりますが、5分～20分ほどかかります。

フォーマットが終わると、「ボリュームラベルを入力してください。」と表示されます。

- 4 ボリュームラベル（ドライブの名前）が必要なときは、ボリュームラベルを入力して【Enter】キーを押します。必要がなければ、【Enter】キーだけを押しします。

ボリュームラベルは、半角英数字で11文字まで入力できます。

「Windows 98 再セットアップ」の画面に戻ります。

新しく領域を作成したドライブはすべて、手順1～4をくりかえして、フォーマットしてください（手順2のドライブ名は、【→】キーを押して選んでください）。

ハードディスクドライブを5つ以上に分割（Gドライブ以上作成）すると、これ以降のドライブ（G,H,I,...）は手順1の画面に表示されず、ここでフォーマットすることはできません。

G以降のドライブについては、「11.フォーマットできなかったハードディスクドライブをフォーマットする」（p.87）でフォーマットします。

次の「8. システムを再セットアップする」に進んでください。

メモ

ボリュームラベルは、ドライブの名前です。「マイコンピュータ」や「エクスプローラ」で表示されます。あとで「マイコンピュータ」でドライブのアイコンを右クリックして「プロパティ」を選べると全般シートで入力、変更することができます。

チェック!!

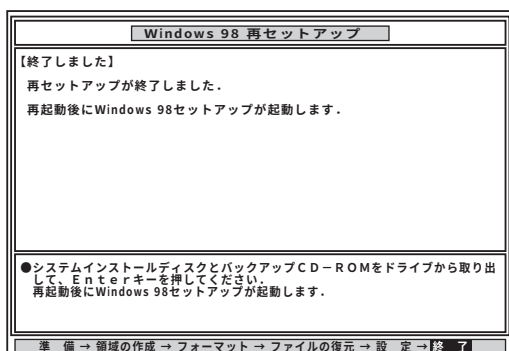
「システムインストールディスク（起動用）」はフロッピーディスクドライブから取り出さないでください。

8. システムを再セットアップする

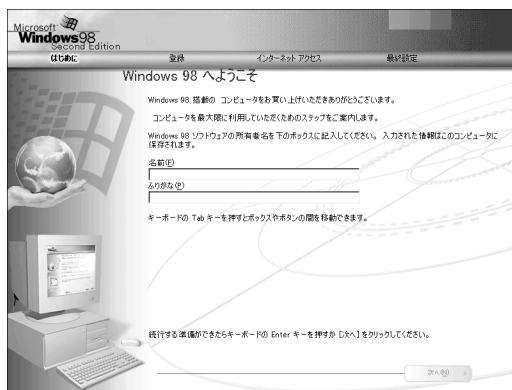
- 1 「バックアップCD-ROM」をCD-ROMドライブにセットします。
- 2 「Windows 98 再セットアップ」の画面で【↓】キーを2回押して「ファイルの復元」が黄色になったら、【Enter】キーを押します(【↓】キーを押しすぎたときは、【↑】キーを押して戻してください)。
- 3 「ファイルの復元」の画面が表示されたら、「実行」が選ばれていることを確認して、【Enter】キーを押します。

システムの再セットアップが始まります。機種、モデルによって異なりますが、約50分～1時間10分かかります。途中でフロッピーディスクやCD-ROMを入れ替えるメッセージが表示されたら、指示にしたがって入れ替えてください。

システムの再セットアップが終わると次の画面が表示されます。



- 4 フロッピーディスクドライブから「システムインストールディスク(起動用)」を取り出します。
- 5 CD-ROMドライブから「バックアップCD-ROM」を取り出します。
- 6 【Enter】キーを押します。
パソコンが再起動し、しばらくすると「Windows 98へようこそ」ウィンドウが表示されます。



✓チェック!!

「バックアップCD-ROMを復元します」と表示されたときは、バックアップCD-ROMがセットされていません。正しくセットして【Enter】キーを押してください。

✓チェック!!

ハードディスクのフォーマットとシステムの再セットアップ中は、画面からの指示がない限り、CD-ROMや、フロッピーディスクを取り出したり、電源スイッチを押したりしないでください。

✓チェック!!

再セットアップ中に数回ビーというピー音が鳴りますが、問題ないので無視してください。

9. Windows 98 の設定をする

「購入したときと同じ状態にする(標準再セットアップ)」の「6.Windows 98 の設定をする」(p.57) をご覧になり、Windows 98 の設定をしてください。

10. Office 2000 PersonalやVoice一太郎10・花子10パックを再セットアップする

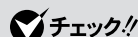
「購入したときと同じ状態にする(標準再セットアップ)」の「7.Office 2000 PersonalやVoice一太郎10・花子10パックを再セットアップする」(p.59) をご覧になり、Office 2000 PersonalやVoice一太郎10・花子10パックを再セットアップしてください。

11. フォーマットできなかったハードディスクドライブをフォーマットする

ハードディスクドライブを5つ以上に分割した場合(Gドライブ以上作成)は、Gドライブ以降のドライブ(「7.ドライブを初期化(フォーマット)する」でフォーマットできなかったドライブ)を次の手順によりフォーマットしてください。

C～Fドライブまでしか作成していない場合は、以下の手順は必要ありません。「8.別売の周辺機器を取り付けて設定し直す」(p.66)に進んでください。

- 1 パソコン本体の電源を入れます。
パソコンが起動します。
- 2 「マイコンピュータ」をダブルクリックします。
「マイコンピュータ」ウィンドウが表示されます。
- 3 フォーマットするハードディスクドライブ(G、H、I、...)のアイコンを右クリックし、表示されたメニューで「フォーマット」をクリックします。
「フォーマット」ウィンドウが表示されます。
- 4 「通常のフォーマット」をクリックします。
- 5 「開始」ボタンをクリックします。
フォーマットの確認画面が表示されます。
- 6 「OK」ボタンをクリックします。
しばらくするとフォーマットが終了し、フォーマットの結果が表示されます。
- 7 「閉じる」ボタンをクリックします。
スキャンディスクの実行を促す画面が表示されます。



チェック!

C～Fのドライブはフォーマットしないでください。



スキャンディスクは、ハードディスクに壊れている部分がないか、問題なく使えるかをチェックするものです。破損している部分が見つかった場合には、自動的にその部分を使わないように設定します。



スキャンディスクの操作→「スキャンディスクの使い方」(p.8)、「サポートセンタ」-「困ったときのQ&A」-「トラブルの予防」-「スキャンディスク」

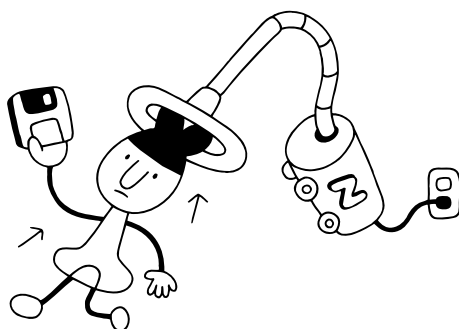
- 8** 「OK」ボタンをクリックします。
スキャンディスクのヘルプ(「クラスタ、ファイルおよびフォルダのエラーを検査するには」)が表示されます。
- 9** 「フォーマット」ウィンドウの「閉じる」ボタンをクリックします。
- 10** ヘルプの内容にしたがってスキャンディスクを実行します。
フォーマットできなかったハードディスクドライブが他にもある場合は、手順3～10をくりかえしてフォーマットしてください。
- 11** これ以降の操作は、標準再セットアップの場合と同じです。
「購入したときと同じ状態にする(標準再セットアップ)」の「8.別売の周辺機器を取り付けて設定し直す」(p.66)に進んで、その後の操作を行ってください。

「購入したときと同じ状態にする(標準再セットアップ)」の「8.別売の周辺機器を取り付けて設定し直す」(p.66)に進んでください。

 チェック!!

再セットアップの作業は、まだ終わりではありません。必ず、「購入したときと同じ状態にする(標準再セットアップ)」の「8.別売の周辺機器を取り付けて設定し直す」(p.66)以降の操作を行ってください。

付 録



添付品の修復、再入手、交換、補修用性能部品

フロッピーディスクと CD-ROM

フロッピーディスクと CD-ROM は、有料で修復または再入手することができます。

フロッピーディスクと CD-ROM は消耗品です。

消耗品とは、使用頻度あるいは経過年数により消耗し、一般的には再生が不可能なもので、お客様ご自身で購入し、交換していただくものです。保証期間内であっても有料です。

 参照

フロッピーディスクの修復、CD-ROM の再入手→『NEC PC あんしんサポートガイド』、 「サポートセンター」-「サービス&サポート」

ディスプレイ

ディスプレイは、消耗部品(有償交換部品)です。使用頻度あるいは経過年数により消耗、摩擦、劣化し、修理再生が不可能な部品です。NEC サービスセンター、サービスステーションなどで交換し、お客様に部品代を請求するものです。保証期間内であっても有料の場合があります。

補修用性能部品の最低保有期間

この製品の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後7年です。

譲渡、廃棄、改造について

このパソコンを譲渡するには

この製品を第三者に譲渡する場合は、所定の条例にしたがってください。
また、譲渡を受けられた場合には、所定の手続きにしたがって、「正規登録ユーザ（98OFFICIAL PASS メンバー）」への登録を行ってください。

●譲渡するお客様へ

本製品を第三者に譲渡(売却)される場合は以下の条件を満たす必要があります。

1. 本体に添付されているすべてのものを譲渡し、複製物を一切保持しないこと
2. 各ソフトウェアに添付されている「ソフトウェアのご使用条件」の譲渡、移転に関する条件を満たすこと
3. 譲渡、移転が認められていないソフトウェアについては、削除したあと、譲渡すること(本体に添付されている「ソフトウェア使用条件適用一覧」をご覧ください)

※第三者に譲渡(売却)される製品を「正規登録ユーザ（98OFFICIAL PASSメンバー）」に登録されている場合は、98OFFICIAL PASS登録センター(TEL:042-333-5516)までご連絡のうえ、必ず登録削除の手続きをお願いします。

●譲渡を受けるお客様へ

「正規登録ユーザ（98OFFICIAL PASS メンバー）」への登録に必要な以下の事項を記入し、官製ハガキまたは封書でお送りください。

ただし、「98OFFICIAL PASSお客様登録申込書」が未使用で残っている場合は、その「98OFFICIAL PASS お客様登録申込書」で登録してください。

記載内容

1. 本体型名および保証書番号(本体背面または底面に記載の型名および製造番号)
2. 以前に使用されていた方の氏名、住所、電話番号もしくは中古購入されたお店の名称、住所、電話番号
3. あなたの氏名、住所、電話番号

宛先

〒108-8001 東京都港区芝五丁目7-1 (NEC 本社ビル)
NEC 98OFFICIAL PASS 登録センター係

メモ

「スタート」ボタンから、「お気に入り」をクリックして、「98OFFICIAL PASS お客様登録カウンター」をクリックすると、インターネットで正規登録をすることができます。

チェック!!

パソコン内のデータには個人的に作成した情報が多く含まれています。第三者に情報が漏れないように譲渡の際には、これらの情報を削除することをおすすめします。

この製品を廃棄するには

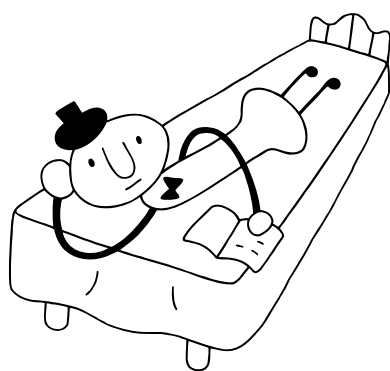
この製品を廃棄するときは、地方自治体の条例にしたがって処理してください。くわしくは、地方自治体にお問い合わせください。

このパソコンの改造

添付されているマニュアルに記載されている以外の方法で、このパソコンを改造・修理しないでください。

記載されている以外の方法で改造・修理された製品は、当社の保証や保守サービスの対象外となることがあります。

索引



英字

BIOSセットアップメニュー	45
CD-ROM	46,90
CyberTrio-NX	11
DVD-ROM	46
FDISKコマンド	25
Invalid system disk	24
Microsoft Windows 98 Startup Menu	23
MS-DOSプロンプト	47
Non-system disk or disk error	26
Operating System not found	25
Safe モード	16
VirusScan	44
Windows 98 起動ディスク	14
Windowsの強制終了	29

あ行

アドバンスモード	11,12
アドレス帳	3
アプリケーション	3,5,34
アプリケーションの強制終了	29
アプリケーションのバックアップ	3
アプリケーションのデータを復元	5
インストーラ-NX	35
インストール	35
インターネット接続の設定をバックアップ	4
インターネット接続の設定を復元	6

か行

改造	92
拡張MS-DOS領域	75
カスタム再セットアップ	67,70,74
基本MS-DOS領域	75
コントロールパネル	10
コンピュータウイルス	44

さ行

再セットアップ	49
サポートセンタ	47
周辺機器	37
使用許諾契約書	57
省電力機能	39
譲渡	91

消耗品	90
消耗部品	90
スーパーバイザーパスワード	43
スキャンディスク	8,15
スタンバイ状態	39

た行

ディスプレイの電源ランプ	20
デバイスマネージャ	11
電源	18,20
添付品	45,90
ドライバ	37
トラブルチェックシート	113

は行

ハードディスクの領域	81
パスワード	43
パソコン本体の電源ランプ	21,22
バックアップ	2,3,52,53,71
バックアップ-NX	3,53,71
標準再セットアップ	52
復元	2,5
ベーシックモード	11,12
補修用性能部品	90

ま行

マウス	31
-----------	----

や行

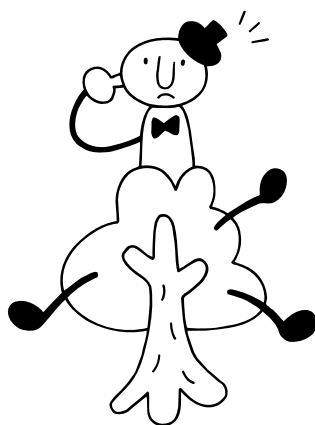
ユーザパスワード	43
----------------	----

ら行

領域作成	81
論理MS-DOSドライブ	75

やりたいこと別総索引

あなたのやりたいことが、どのマニュアルに載っているかわからないとき、「サポートセンタ」のどこを見ればよいか迷ったときはここで探してください。



凡例

1. ここではキーワードを数字、アルファベット、五十音順に並べています。
2. 和文は清音、濁音、半濁音の順に並べています。
3. 本文の基本構成は「キーワード」「目的別項目」「参照箇所」でまとめられています。
4. 「サポートセンタ」を起動するには、次の方法があります。
 - ・キーボードの[サポートセンタ]ボタンを押す。
 - ・デスクトップの右上にあるをクリックする。
 - ・「スタート」ボタンから「サポートセンタ」、「サポートセンタ」の順にクリックする。
5. ➡があるときは他の索引用語を参照してください。

数字

2000年問題

➡西暦2000年問題

A-Z

Angel Line

●電話番号を検索する

「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-
「添付ソフトの使い方」-「AngelLine」

AOL

●AOLでインターネットする

「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-
「添付ソフトの使い方」-「AOL」

ATコマンド

●ATコマンドを知りたい

「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-
「ハードウェア情報」-「ATコマンド」

BIGLOBE

●「BIGLOBEインターネット接続ツール」で入会手続きや接続設定する

「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-
「添付ソフトの使い方」-「BIGLOBEインターネット接続ツール」

『たのしもう! インターネット』..... 50

●「BIGLOBEかんたん設定ナビ」で、インターネットの環境設定やバックアップ、パスワードの変更、アクセスポイントの変更をする

「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-
「添付ソフトの使い方」-「BIGLOBEかんたん設定ナビ」

●「BIGLOBE電話で入会ナビ」で、簡単に入会する

「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-
「添付ソフトの使い方」-「BIGLOBE電話で入会ナビ」

『たのしもう! インターネット』..... 150

●BIGLOBEにオンラインサインアップする

『たのしもう! インターネット』..... 50

●BIGLOBEに入会したい

『たのしもう! インターネット』..... 45

●BIGLOBEに郵送またはFAXで入会したい

『たのしもう! インターネット』..... 162

●BIGLOBEの正式パスワードを入力する

『たのしもう! インターネット』..... 83

BIOSセットアップメニュー

●BIOSセットアップメニューを設定する

『拡張!活用! バリュースター』..... 138

Bookshelf Basic

●CD-ROM辞書を使いたい

「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-
「添付ソフトの使い方」-「Bookshelf Basic」

CD-ROM

●CD-ROMを自動起動させない

「サポートセンタ」-「困ったときのQ&A」-
「トラブル解決Q&A」-「CD-ROM/DVD-ROM」

●CD-ROMを使う

『まずこれ! 接続と準備』..... 93

「サポートセンタ」-「困ったときのQ&A」-
「トラブル解決Q&A」-「CD-ROM/DVD-ROM」

●非常時にCD-ROMを取り出す

『困ったときのQ&A』..... 46

CDランチ

●CDを自動起動する

「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-
「添付ソフトの使い方」-「CDランチ」

CyberCoach-NX

●CyberCoach-NXを起動する

「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-
「添付ソフトの使い方」-「CyberCoach-NX」

『練習! パソコンの基本』(Office 2000モデル) 2

『練習! パソコンの基本』(一太郎モデル) 2

●CyberCoach-NXを終了する

『練習! パソコンの基本』(Office 2000モデル) 9

『練習! パソコンの基本』(一太郎モデル) 9

●パソコンの基本操作のレッスンをしたい

「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-
「添付ソフトの使い方」-「CyberCoach-NX」

『練習! パソコンの基本』(Office 2000モデル) 158

『練習! パソコンの基本』(一太郎モデル) 158

CyberTrio-NX

●Windows 98の利用環境を変える

「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-
「添付ソフトの使い方」-「CyberTrio-NX」

CyberWarner-NX

●Windows 98の動作を監視、保守したい

「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-
「添付ソフトの使い方」-「CyberWarner-NX」

DION

●DIONかんたんインターネット1.0でインターネットする

「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-
「添付ソフトの使い方」-「DIONかんたんインターネット1.0」

DVD-ROM

●DVD-ROMを使う

『まずこれ! 接続と準備』 93

「サポートセンタ」-「困ったときのQ&A」-
「トラブル解決Q&A」-「CD-ROM/DVD-ROM」

●DVD VIDEOディスクを再生する(DVDプレーヤ)

「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-
「添付ソフトの使い方」-「DVDプレーヤ」

●「大自然の驚異〜南米・パタゴニア〜」や「宇宙戦艦ヤマト」などのDVDタイトルを使いたい

「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-
「添付ソフトの使い方」-「大自然の驚異〜南米・パタゴニア〜」-「宇宙戦艦ヤマト」

●非常時にDVD-ROMを取り出す

『困ったときのQ&A』 46

Excel、Excel 2000

⇒表計算

Eメール

⇒電子メール

FAX

●FAXモデムボード

『拡張!活用! バリュースター』 134

●FAXを送る／受ける(FAX-NX)

「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-
「添付ソフトの使い方」-「FAX-NX」

FAX-NX

●FAXを送る／受ける

「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-
「添付ソフトの使い方」-「FAX-NX」

FD

⇒フロッピーディスク

Hatch inside

●ホームページアドレスを短縮番号で入力する

「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-
「添付ソフトの使い方」-「Hatch inside」

IME 2000 音声入力アプレット

●音声で文章を入力したい

「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-
「添付ソフトの使い方」-「IME 2000 音声入力アプレット」

Internet Explorer

⇒インターネット

ISDNターミナルアダプタ

⇒ターミナルアダプタ

JOYPLUS

●色々なキャラクターの便せんやカードをつくる

「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-
「添付ソフトの使い方」-「JOYPLUS」

JUSTSYSTEM辞書ライブラリ

●CD-ROM辞書を使いたい

「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-
「添付ソフトの使い方」-「JUSTSYSTEM辞書ライブラリ」

MAGIC FLIGHT

●キーボードの練習をする

「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-
「添付ソフトの使い方」-「MAGIC FLIGHT」
『練習! パソコンの基本』(Office 2000モデル) 96、123
『練習! パソコンの基本』(一太郎モデル) 97、123

MapPlayer-NX

●カーナビCDを再生する

「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-
「添付ソフトの使い方」-「MapPlayer-NX」

Microsoft Outlook

●パソコンで情報管理をする

「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-
「添付ソフトの使い方」-「Microsoft Outlook」

NEWEB

●NEWEBサインアップでインターネットする

「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-
「添付ソフトの使い方」-「NEWEBサインアップ」

NIFTY SERVE

●ニフティサーブでインターネットする

「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-
「添付ソフトの使い方」-「ニフティサーブでインターネット」

ODN

●ODNでインターネットする

「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-
「添付ソフトの使い方」-「ODN」

Outlook Express

⇒電子メール

●Outlook Expressを使う

「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-
「添付ソフトの使い方」-「Outlook Express」

『たのしもう! インターネット』 96

●アドレス帳を使う

『たのしもう! インターネット』 122

PCIボード

●PCIボードを使う

『拡張!活用! バリュースター』 51

PCカード

●PCカードを使う

『拡張!活用! バリュースター』 43

PCスロット

●PCカードスロットを使う

『拡張!活用! バリュースター』 44

PCポータル

●デスクトップから最新情報にアクセスする

「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-
「添付ソフトの使い方」-「PCポータル」

Sasuke

●ネットワーク上でスケジュール管理を行う

「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-
「添付ソフトの使い方」-「Sasuke」

SCSI

●SCSIインターフェイス対応機器を使う

『拡張!活用! バリュースター』 67

Shuriken

●簡単操作で電子メールする

「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-
「添付ソフトの使い方」-「Shuriken」

SmartVoice

「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-
「添付ソフトの使い方」-「SmartVoice」

『練習! パソコンの基本』(Office 2000モデル) 152

『練習! パソコンの基本』(一太郎モデル) 154

Thumbs Studio

●画像を一覧表示する、電子アルバムを作成する、画像ファイルをメールで送る

「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-
「添付ソフトの使い方」-「Thumbs Studio」

Timer-NX

●タイマーで電源を切る/タイマーでアプリケーションを起動する(Timer-NX)

「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-
「添付ソフトの使い方」-「Timer-NX」

TV機能 (TVモデルの場合)

●ADAMS(アダムス)ナビについて

「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-
「添付ソフトの使い方」-「ADAMSナビ」

●TV機能について

「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-
「こんなことができます」-「音楽CDやDVD、テレビを楽しむ」

「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-
「添付ソフトの使い方」-「ビットキャストブラウザ」、
「ADAMSナビ」、「モジモジ-NX」

●ビデオデータをかたんに編集する(VideoStudio)

「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-
「添付ソフトの使い方」-「VideoStudio」

●地上波データ放送を見る(ビットキャストブラウザ)

「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-
「添付ソフトの使い方」-「ビットキャストブラウザ」

●動画、静止画をキャプチャする(ビットキャストブラウザ)

「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-
「添付ソフトの使い方」-「ビットキャストブラウザ」

●ビットキャスト放送を受信する(ビットキャストブラウザ)

「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-
「添付ソフトの使い方」-「ビットキャストブラウザ」

●文字放送を受信する(モジモジ-NX)

「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-
「添付ソフトの使い方」-「モジモジ-NX」

USB

●USB対応機器を使う

『拡張!活用! バリュースター』 33

VirusScan

⇒ウイルス

Windows 98

●Windows 98を起動したい

『困ったときのQ&A』 13、28

●Windows 98を再セットアップする

『困ったときのQ&A』 50

●Windows 98を終了したい

『困ったときのQ&A』 28

Windows 98起動ディスク

●Windows 98 起動ディスクを作成する

『拡張!活用! バリュースター』 113

●Windows 98起動ディスクでパソコンを起動する

『拡張!活用! バリュースター』 114
『困ったときのQ&A』 14

Windows NT 4.0

●Windows NT 4.0を利用する

『拡張!活用! バリュースター』 154

Word、Word 2000

●Wordで文章を書く、文書を作る

『練習! パソコンの基本』(Office 2000モデル) 38、75

●Wordを終了する

『練習! パソコンの基本』(Office 2000モデル) 68、95

●Wordを使いこなす

『練習! パソコンの基本』(Office 2000モデル) 99

あ - お

アース

●アースを接続する

『まずこれ! 接続と準備』 45

アクセスポイント

●アクセスポイントを変更する(BIGLOBEかんたん設定ナビ)

「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-
「添付ソフトの使い方」-「BIGLOBEかんたん設定ナビ」

●アクセスポイントを変更する(ダイヤルアップネットワーク)

「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-
「添付ソフトの使い方」-「ダイヤルアップネットワーク」

『まずこれ! 接続と準備』 115

アクティブメニューNX

●デスクトップからかんたん操作

『練習! パソコンの基本』(Office 2000モデル) 14

『練習! パソコンの基本』(一太郎モデル) 14

アドレス

●電子メールアドレス

『たのしもう! インターネット』 69、158

●電子メールアドレスを登録する

『たのしもう! インターネット』 122

●ホームページのアドレス(URL)を登録する

『たのしもう! インターネット』 23

●ホームページアドレスを短縮番号で入力する(Hatch inside)

「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-
「添付ソフトの使い方」-「Hatch inside」

アドレス帳

⇒Outlook Express

●アドレス帳の内容をバックアップする

『困ったときのQ&A』 3

アプリケーション

●アクセサリを削除する

「サポートセンタ」-「困ったときのQ&A」-
「トラブル解決Q&A」-「アプリケーション」

●アプリケーションの追加と削除

「サポートセンタ」-「困ったときのQ&A」-
「アプリケーションの追加と削除」

●アプリケーションを終了する

『練習! パソコンの基本』(Office 2000モデル) 34、68

『練習! パソコンの基本』(一太郎モデル) 34、69

●アプリケーションを終了できない

『困ったときのQ&A』 29

●アプリケーションを使う

『練習! パソコンの基本』(Office 2000モデル) 121

『練習! パソコンの基本』(一太郎モデル) 121

●アプリケーションのバックアップを取る、復元する

「サポートセンタ」-「困ったときのQ&A」-
「トラブルの予防」-「バックアップ-NX」

『困ったときのQ&A』 2、3、5

『練習! パソコンの基本』(Office 2000モデル) 111

『練習! パソコンの基本』(一太郎モデル) 109

●インストーラ-NXでアプリケーションの追加と削除をする

「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-
「添付ソフトの使い方」-「インストーラ-NX」

「サポートセンタ」-「困ったときのQ&A」-
「アプリケーションの追加と削除」

『困ったときのQ&A』 35

●ゲームで遊びたい

「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-
「こんなことができます」-「ゲームで遊ぶ、カラオケで遊ぶ」

●削除したアプリケーションを再追加する

「サポートセンタ」-「困ったときのQ&A」-
「アプリケーションの追加と削除」

●ショートカットアイコンからアプリケーションを起動する

「サポートセンタ」-「困ったときのQ&A」-
「トラブル解決Q&A」-「アイコン」

●「スタート」ボタンからアプリケーションを起動する

『練習! パソコンの基本』(Office 2000モデル) 148

『練習! パソコンの基本』(一太郎モデル) 150

●セットアップされていないアプリケーションを追加する

「サポートセンタ」-「困ったときのQ&A」-
「アプリケーションの追加と削除」

●ランチ-NXからアプリケーションを起動する

『練習! パソコンの基本』(Office 2000モデル) 2、18、38

『練習! パソコンの基本』(一太郎モデル) 2、18、38

一太郎、一太郎10

●一太郎で文章を書く、文書を作る

『練習! パソコンの基本』(一太郎モデル) 38、75

●一太郎を終了する

『練習! パソコンの基本』(一太郎モデル) 69、96

●一太郎を使いこなす

『練習! パソコンの基本』(一太郎モデル) 100

いま、いくら? その2

●インターネットの接続時間や料金を管理する

「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-
「添付ソフトの使い方」-「いま、いくら? その2」

印刷

⇒プリンタ

インストーラ-NX

●簡単にアプリケーションを追加、削除する

「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-
「添付ソフトの使い方」-「インストーラ-NX」

インターネット

⇒BIGLOBE

⇒アドレス

⇒ホームページ

●「いま、いくら？」で接続時間や利用料金を管理する

「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-
「添付ソフトの使い方」-「いま、いくら？その2」

●インターネットエクスプローラでインターネットする

『たのしもう! インターネット』..... 4

●インターネットチュータで基本操作を練習する

「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-
「添付ソフトの使い方」-「インターネットチュータ」

●インターネットで情報検索する

『たのしもう! インターネット』..... 16

●インターネットに接続する

『まずこれ! 接続と準備』..... 75
『たのしもう! インターネット』..... 2、16、76

●インターネットの接続を終わる

『まずこれ! 接続と準備』..... 78
『たのしもう! インターネット』..... 10、81

●インターネットの接続の設定をバックアップする、復元する

「サポートセンタ」-「困ったときのQ&A」-「トラブルの予防」-
「インターネット接続のバックアップ」
『困ったときのQ&A』..... 4、6

●インターネットの設定を変更する

「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-
「こんなことができます」-「インターネットの設定を変更する」
『まずこれ! 接続と準備』..... 115

●「インターネット無料体験」してみる

「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-
「添付ソフトの使い方」-「インターネット無料体験」

『まずこれ! 接続と準備』..... 75
『たのしもう! インターネット』..... 2

●「インターネット無料体験」期間が終了したら

『たのしもう! インターネット』..... 33

●「お気に入り」を使う

『たのしもう! インターネット』..... 28

●「お気に入り」をバックアップする

「サポートセンタ」-「困ったときのQ&A」-「トラブルの予防」-
「バックアップ-NX」
『困ったときのQ&A』..... 3

●スタートページを変える

『たのしもう! インターネット』..... 31

●ダイヤルアップネットワークで接続先を設定、変更する

「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-
「添付ソフトの使い方」-「ダイヤルアップネットワーク」

●パソコンを電話回線に接続する

『まずこれ! 接続と準備』..... 42

●プロバイダについて知る

『たのしもう! インターネット』..... 34

●見たいホームページをアドレス(URL)で指定する

『たのしもう! インターネット』..... 17

インターネット接続ウィザード

●インターネット接続ウィザードで接続の設定をする

「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-
「添付ソフトの使い方」-「インターネット接続ウィザード」

ウイルス

●ウイルスを検査する(VirusScan)

「サポートセンタ」-「困ったときのQ&A」-「トラブルの予防」-
「VirusScan」

「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-
「添付ソフトの使い方」-「VirusScan」

●ウイルスを発見したら

「サポートセンタ」-「困ったときのQ&A」-
「トラブル解決Q&A」-「よくある質問」
『困ったときのQ&A』..... 44

●ウイルスを予防する

「サポートセンタ」-「困ったときのQ&A」-
「トラブル解決Q&A」-「よくある質問」

ウィンドウ

●ウィンドウを移動する

『練習! パソコンの基本』(Office 2000モデル)..... 22
『練習! パソコンの基本』(一太郎モデル)..... 22

●ウィンドウの大きさを変える

『練習! パソコンの基本』(Office 2000モデル)..... 21
『練習! パソコンの基本』(一太郎モデル)..... 21

●ウィンドウを切り替える	
『練習! パソコンの基本』(Office 2000モデル)	31、32
『練習! パソコンの基本』(一太郎モデル)	31、32
●ウィンドウを最小化する	
『練習! パソコンの基本』(Office 2000モデル)	23
『練習! パソコンの基本』(一太郎モデル)	23
●ウィンドウを最大化する	
『練習! パソコンの基本』(Office 2000モデル)	19
『練習! パソコンの基本』(一太郎モデル)	19
『たのしもう! インターネット』	8
●ウィンドウをスクロールする	
『練習! パソコンの基本』(Office 2000モデル)	25
『練習! パソコンの基本』(一太郎モデル)	25
『たのしもう! インターネット』	9
●ウィンドウを閉じる	
『練習! パソコンの基本』(Office 2000モデル)	34
『練習! パソコンの基本』(一太郎モデル)	34

駅すばあと

●交通費や経路を確認したい

「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-
「添付ソフトの使い方」-「駅すばあと」

英語モードフォント

●「©」「®」「\」を使いたい

「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-
「添付ソフトの使い方」-「英語モードフォント」

オーディオ機器

●オーディオ機器を使う

『拡張!活用! バリュースター』

お手入れ

●パソコンのお手入れをする

『練習! パソコンの基本』(Office 2000モデル)

『練習! パソコンの基本』(一太郎モデル)

音

●音を大きくする、小さくする

『まずこれ! 接続と準備』

『拡張!活用! バリュースター』

●音質を最適にする

「サポートセンタ」-「困ったときのQ&A」-
「トラブル解決Q&A」-「音」

●スピーカを使う

『拡張!活用! バリュースター』

音声

●音声で文章を入力したい(IME 2000音声入力アプレット)

「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-
「添付ソフトの使い方」-「IME 2000 音声入力アプレット」

●音声で入力したり、パソコンを操作したい(SmartVoice)

「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-
「添付ソフトの使い方」-「SmartVoice」
『練習! パソコンの基本』(Office 2000モデル)

『練習! パソコンの基本』(一太郎モデル)

か-こ

会員証

●BIGLOBE会員証が届いたら

『たのしもう! インターネット』

解像度

●解像度を変える(画面の設定)

「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-
「添付ソフトの使い方」-「画面の設定」
『拡張!活用! バリュースター』

●表示できる解像度の確認

『拡張!活用! バリュースター』

家計簿

●家計簿をつける(てきばき家計簿mam2 Plus)

「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-
「添付ソフトの使い方」-「てきばき家計簿mam2 Plus」

画像

●画像を一覧表示する、電子アルバムをつくる、画像ファイルをメールで送る(Thumbs Studio)

「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-
「添付ソフトの使い方」-「Thumbs Studio」

●画像を加工する(花子10)

「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-
「添付ソフトの使い方」-「花子10」

●画像を加工する(ペイント)

「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-
「添付ソフトの使い方」-「ペイント」

●画像を縮小表示する

「サポートセンタ」-「困ったときのQ&A」-
「トラブル解決Q&A」-「ファイル/フォルダ」

壁紙

●デスクトップの壁紙を変える

「サポートセンタ」-「困ったときのQ&A」-
「トラブル解決Q&A」-「画面」

●フォルダの壁紙を変える

「サポートセンタ」-「困ったときのQ&A」-
「トラブル解決Q&A」-「ファイル/フォルダ」

画面

⇒解像度

⇒ディスプレイ

カラオケ

●カラオケを楽しむ(カラオケキング)

「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-
「添付ソフトの使い方」-「カラオケキング」

キーボード

⇒ワンタッチスタートボタン

●キーの名称と役割

『拡張!活用! バリュースター』 103

●キーボードのショートカットキーを知りたい

「サポートセンタ」-「困ったときのQ&A」-
「トラブル解決Q&A」-「文字入力/キーボード」

●キーボードのホームポジション

『練習! パソコンの基本』(Office 2000モデル) 96
『練習! パソコンの基本』(一太郎モデル) 97

●キーボードの使い方を覚えたい

『練習! パソコンの基本』(Office 2000モデル) 37
『練習! パソコンの基本』(一太郎モデル) 37

●キーボードの練習をする、タッチタイプを習得する(MAGIC FLIGHT)

「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-
「添付ソフトの使い方」-「MAGIC FLIGHT」

●キーボードのワンタッチスタートボタンからアプリケーションを起動する

『たのしもう! インターネット』 2、16、96
『練習! パソコンの基本』(Office 2000モデル) 16
『練習! パソコンの基本』(一太郎モデル) 16
『拡張!活用! バリュースター』 108

●キーボードのワンタッチスタートボタンの設定をする(ワンタッチスタートボタンの設定)

「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-
「添付ソフトの使い方」-「ワンタッチスタートボタンの設定」

●キーボードのワンタッチスタートボタンを使う

『たのしもう! インターネット』 2、16、96
『拡張!活用! バリュースター』 108

●キーボードを接続する

『まずこれ! 接続と準備』 22

●キーボードを設定する

『拡張!活用! バリュースター』 105

●キーボードをタッチタイプで打ちたい、キーボードを見ないで打てるようになりたい

『練習! パソコンの基本』(Office 2000モデル) 96
『練習! パソコンの基本』(一太郎モデル) 97

●キーボードを使って文字を入力する

⇒文字を入力する

起動

●Safeモードでパソコンを起動する

「サポートセンタ」-「困ったときのQ&A」-
「トラブル解決Q&A」-「電源のオン/オフ」

『困ったときのQ&A』 16

●Windows 98 起動ディスクからパソコンを起動する

「サポートセンタ」-「困ったときのQ&A」-
「トラブル解決Q&A」-「電源のオン/オフ」

『困ったときのQ&A』 14

●Windows 98を起動できない

『困ったときのQ&A』 13、28、37

●アプリケーションを起動したい

『困ったときのQ&A』 34

●キーボードのワンタッチスタートボタンからアプリケーションを起動する

『たのしもう! インターネット』 2、16、96
『練習! パソコンの基本』(Office 2000モデル) 16
『練習! パソコンの基本』(一太郎モデル) 16

●「スタート」ボタンからアプリケーションを起動する

『練習! パソコンの基本』(Office 2000モデル) 148
『練習! パソコンの基本』(一太郎モデル) 150

●パソコンが起動できない

『困ったときのQ&A』 13、28、37

●ランチ-NXからアプリケーションを起動する

『練習! パソコンの基本』(Office 2000モデル) 2、18、38
『練習! パソコンの基本』(一太郎モデル) 2、18、38

クリーニング

⇒お手入れ

ゲーム

●ゲームで遊びたい

「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-
「こんなことができます」-「ゲームで遊ぶ、カラオケで遊ぶ」

検索

●ファイルを探す

「サポートセンタ」-「困ったときのQ&A」-
「トラブル解決Q&A」-「ファイル/フォルダ」

●ホームページを探す

『たのしもう! インターネット』 19

●ホームページを探す(コペルニックライト)

「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-
「添付ソフトの使い方」-「コペルニックライト」

コピー

●ファイルをコピーする

『練習! パソコンの基本』(Office 2000モデル) 113
『練習! パソコンの基本』(一太郎モデル) 113

●文字をコピーする

『練習! パソコンの基本』(Office 2000モデル) 83
『練習! パソコンの基本』(一太郎モデル) 83

コペルニックライト

●ホームページを検索する

「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-
「添付ソフトの使い方」-「コペルニックライト」

コントロールパネル

●コントロールパネルを開く

『困ったときのQ&A』 10

さ - そ

再セットアップ

●Cドライブのみを再セットアップする

『困ったときのQ&A』 70

●購入時の状態に戻す、標準再セットアップをする

『困ったときのQ&A』 52

●ハードディスクの領域を自由に設定して再セットアップする

『困ったときのQ&A』 74

●ハードディスクを1パーティションにして再セットアップする

『困ったときのQ&A』 67

削除

●アプリケーションの削除

「サポートセンタ」-「困ったときのQ&A」-
「アプリケーションの追加と削除」

●ファイルを削除(ディスククリーンアップ)

「サポートセンタ」-「困ったときのQ&A」-「トラブルの予防」-
「ディスククリーンアップ」

サポートセンタ

●サポートセンタを見る

『まずこれ! 接続と準備』 104

●サポートセンタの使い方を知りたい

「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-「ヘルプ」

三四郎9

⇒表計算

システムファイルチェッカー

●システムファイルを検査、修復する

「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-
「添付ソフトの使い方」-「システムファイルチェッカー」

周辺機器

●周辺機器を取り付ける

『拡張!活用! バリュースター』 7

●ドライバの更新

「サポートセンタ」-「困ったときのQ&A」-
「トラブル解決Q&A」-「周辺機器」-「その他」

終了

●Windowsを終了できない

『困ったときのQ&A』 28

●アプリケーションを終了する

『練習! パソコンの基本』(Office 2000モデル) 34、68
『練習! パソコンの基本』(一太郎モデル) 34、69

●アプリケーションを終了できない

『困ったときのQ&A』 29

●「インターネット無料体験」期間が終了したら

『たのしもう! インターネット』 33

●インターネットを終了する

『たのしもう! インターネット』 10、81

ショートカット

●キーボードのショートカットキーを知りたい

「サポートセンタ」-「困ったときのQ&A」-
「トラブル解決Q&A」-「文字入力/キーボード」

ショートカットアイコン

●ショートカットアイコンを並べかえたい

「サポートセンタ」-「困ったときのQ&A」-
「トラブル解決Q&A」-「アイコン」

省電力機能（スタンバイ）

●省電力機能（スタンバイ）について

『拡張!活用! バリュースター』 123
『困ったときのQ&A』 39

スキャンディスク

●ハードディスクを検査、修復する

「サポートセンタ」-「困ったときのQ&A」-「トラブルの予防」-
「スキャンディスク」

「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-
「添付ソフトの使い方」-「スキャンディスク」
『困ったときのQ&A』 8

「スタート」ボタン

●「スタート」ボタンからアプリケーションを起動する

『練習! パソコンの基本』(Office 2000モデル) 148
『練習! パソコンの基本』(一太郎モデル) 150

スピーカ

●スピーカを接続する

『まずこれ! 接続と準備』 37

●スピーカを使う

『拡張!活用! バリュースター』 129

清掃・掃除

⇒お手入れ

西暦2000年問題

●西暦2000年問題について知りたい

「サポートセンタ」-「サービス&サポート」-
「NECのサービス&サポート窓口」

接続（増設）

●周辺機器を接続（増設）する

『拡張!活用! バリュースター』 7

●プリンタを接続（増設）する

『拡張!活用! バリュースター』 9

増設

⇒接続

増設RAMサブボード

⇒メモリ

ソフト

⇒アプリケーション

●市販のソフトを利用する

『練習! パソコンの基本』(Office 2000モデル) 167
『練習! パソコンの基本』(一太郎モデル) 169

た - と

ターミナルアダプタ

●ターミナルアダプタを使う

『拡張!活用! バリュースター』 43

タイマー

⇒Timer-NX

ダイヤルアップネットワーク

●インターネットのアクセスポイントを変更したい

「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-
「添付ソフトの使い方」-「ダイヤルアップネットワーク」

追加

●アプリケーションの追加

「サポートセンタ」-「困ったときのQ&A」-
「アプリケーションの追加と削除」

データ

⇒ファイル、保存、コピー

ディスククリーンアップ

●ハードディスクの空き容量を増やす、ファイルを削除する

「サポートセンタ」-「困ったときのQ&A」-「トラブルの予防」-
「ディスククリーンアップ」

ディスプレイ

●色数を変える（画面の設定）

「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-
「添付ソフトの使い方」-「画面の設定」
『拡張!活用! バリュースター』 118

- ディスプレイの省電力機能を使う
『拡張!活用! バリュースター』 123
- ディスプレイを接続する
『まずこれ! 接続と準備』 29
- 別売のディスプレイを使う
『拡張!活用! バリュースター』 117

デスクトップ

- デスクトップの一部を拡大表示する
「サポートセンタ」-「困ったときのQ&A」-
「トラブル解決Q&A」-「画面」
- デスクトップのデザインを変える(デスクトップテーマ)
「サポートセンタ」-「困ったときのQ&A」-
「トラブル解決Q&A」-「画面」
- 背景(壁紙)を変える
「サポートセンタ」-「困ったときのQ&A」-
「トラブル解決Q&A」-「画面」

デバイスマネージャ

- デバイスマネージャを表示する
『困ったときのQ&A』 11

デフラグ

- ハードディスクのデータを整理させる
「サポートセンタ」-「困ったときのQ&A」-「トラブルの予防」-
「デフラグ」

テレフォニー

- インターネットの所在地情報の確認をする
「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-
「添付ソフトの使い方」-「テレフォニー」

電源

- 強制的に電源を切る
『困ったときのQ&A』 30
- すぐに電源が入るようにする
→省電力機能(スタンバイ)
- タイマーで電源を切る(Timer-NX)
「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-
「添付ソフトの使い方」-「Timer-NX」
- ディスプレイの省電力機能を設定する
『拡張!活用! バリュースター』 126
- 電源ケーブルを接続する
『まずこれ! 接続と準備』 47、50

- パソコンの電源を入れる
『まずこれ! 接続と準備』 56、86

- パソコンの電源を切る
『まずこれ! 接続と準備』 70、86

電源管理モード

- モードを切り替える
『拡張!活用! バリュースター』 147

電子メール

- Outlook Expressを使う
「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-
「添付ソフトの使い方」-「Outlook Express」
『たのしもう! インターネット』 96
- アドレス帳の内容をバックアップする
『困ったときのQ&A』 3
- アドレス帳を利用する
『たのしもう! インターネット』 122
- 受け取った電子メールに返事を出す
『たのしもう! インターネット』 115
- 受け取った電子メールを読む
『たのしもう! インターネット』 112
- 同じメールを複数の人に送る
『たのしもう! インターネット』 128
- 画像ファイルをメールで送る
「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-
「添付ソフトの使い方」-「Thumbs Studio」
『たのしもう! インターネット』 126
- 電子メールのマナーを知りたい
『たのしもう! インターネット』 119
- 電子メールを受け取る
『たのしもう! インターネット』 111
- 電子メールを送る
『たのしもう! インターネット』 106
- 電子メールを書く
『たのしもう! インターネット』 102
- 電子メールを整理する
『たのしもう! インターネット』 129
- 電子メールを始める
『たのしもう! インターネット』 96
- 電子メールをバックアップする、復元する
『困ったときのQ&A』 3、4
- 届いたメールの添付ファイルを開くときの注意
『たのしもう! インターネット』 120

●ハローキティのハッピーメールを使う

「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-
「添付ソフトの使い方」-「ハローキティのハッピーメール」

●メールが届いたことをランプで確認する

『たのしもう! インターネット』 133

●メールに添付ファイルを付けて送信する

『たのしもう! インターネット』 126

●メールニュースを購読する

『たのしもう! インターネット』 147

●メールを自動受信する

『たのしもう! インターネット』 133

電卓

●計算する

「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-
「添付ソフトの使い方」-「電卓」

電話

●電話番号を検索する(AngelLine)

「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-
「添付ソフトの使い方」-「AngelLine」

ドライバ

●ドライバについて

『拡張!活用! バリュースター』 21

●ドライバの更新

「サポートセンタ」-「困ったときのQ&A」-
「トラブル解決Q&A」-「周辺機器」-「その他」

ドライブ

⇒ハードディスク

ドラネットおためしメニュー

●ドラえもん楽しく勉強する

「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-
「添付ソフトの使い方」-「ドラネットおためしメニュー」

な - の

入力

⇒文字を入力する

は - ほ

ハードディスク

●ドライブを開く、ドライブの内容、容量を見る

「サポートセンタ」-「困ったときのQ&A」-
「トラブル解決Q&A」-「ハードディスク」

●ハードディスクの空き容量を確認する

「サポートセンタ」-「困ったときのQ&A」-
「トラブル解決Q&A」-「ハードディスク」

●ハードディスクの空き容量を増やす(ディスククリーンアップ)

「サポートセンタ」-「困ったときのQ&A」-「トラブルの予防」-
「ディスククリーンアップ」

●ハードディスクのデータを整理させる(デフラグ)

「サポートセンタ」-「困ったときのQ&A」-「トラブルの予防」-
「デフラグ」

●ハードディスクを増設する

『拡張!活用! バリュースター』 78

●ハードディスクを点検したい、修復したい(スキャンディスク)

「サポートセンタ」-「困ったときのQ&A」-「トラブルの予防」-
「スキャンディスク」 8

●ハードディスクをフォーマットする

『拡張!活用! バリュースター』 80

パスワード

●正式なパスワードが届いたら

『たのしもう! インターネット』 83

●パスワードを入力したい。入力がうまくいかない

「サポートセンタ」-「困ったときのQ&A」-
「トラブル解決Q&A」-「その他」 85
『たのしもう! インターネット』 43
『困ったときのQ&A』 43

パソコン

●パソコンが起動できない

『困ったときのQ&A』 13、28、37

●パソコンのお手入れをする

『練習! パソコンの基本』(Office 2000モデル) 117
『練習! パソコンの基本』(一太郎モデル) 117

●パソコンの各部の名称

『まずこれ! 接続と準備』 84
『拡張!活用! バリュースター』 162

●パソコンの使い方を学ぶ(パソコン大学一年生 for Windows 98、CyberCoach-NX)

「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-
「添付ソフトの使い方」-「パソコン大学一年生」-
「CyberCoach-NX」

『練習! パソコンの基本』(Office 2000モデル) 156、158

『練習! パソコンの基本』(一太郎モデル) 158、160

●パソコンの動作を監視したい(CyberWarner-NX)

「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-
「添付ソフトの使い方」-「CyberWarner-NX」

●パソコン本体の開け方と閉め方

『拡張!活用! バリュースター』 26

●パソコンを購入時の状態にもどしたい

『困ったときのQ&A』 52

●パソコンを再セットアップしたい

『困ったときのQ&A』 49

●パソコンの接続をする

『まずこれ! 接続と準備』 15

●パソコンを設置する環境を整える

『まずこれ! 接続と準備』 2

パソコン通信

●接続ができない

「サポートセンタ」-「困ったときのQ&A」-
「トラブル解決Q&A」-「インターネット/通信」

バックアップ

⇒保存

●データのバックアップを取る、復元する

「サポートセンタ」-「困ったときのQ&A」-「トラブルの予防」-
「バックアップ-NX」

『練習! パソコンの基本』(Office 2000モデル) 109

『練習! パソコンの基本』(一太郎モデル) 109

『困ったときのQ&A』 2、71

バックアップ-NX

●大切なデータをかたんにバックアップする、復元する

「サポートセンタ」-「困ったときのQ&A」-「トラブルの予防」-
「バックアップ-NX」

『練習! パソコンの基本』(Office 2000モデル) 111

『練習! パソコンの基本』(一太郎モデル) 111

『困ったときのQ&A』 2、71

日付と時刻

●日付と時刻を合わせる

「サポートセンタ」-「困ったときのQ&A」-
「トラブル解決Q&A」-「よくある質問」

表計算

●Excelや三四郎で表やグラフを作る

「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-
「添付ソフトの使い方」-「Excel」-「三四郎9」

ファイル

●上書き保存する・ファイルの内容を変更して保存する

『練習! パソコンの基本』(Office 2000モデル) 85

『練習! パソコンの基本』(一太郎モデル) 85

●新規保存する・別のファイルとして保存する

『練習! パソコンの基本』(Office 2000モデル) 66、91

『練習! パソコンの基本』(一太郎モデル) 67、91

●届いたメールの添付ファイルを開くときの注意

『たのしもう! インターネット』 120

●ファイルをコピーする、ファイルのバックアップを取る

『練習! パソコンの基本』(Office 2000モデル) 113

『練習! パソコンの基本』(一太郎モデル) 113

●ファイルを探す

「サポートセンタ」-「困ったときのQ&A」-
「トラブル解決Q&A」-「ファイル/フォルダ」

●ファイルを整理する

『練習! パソコンの基本』(Office 2000モデル) 93

『練習! パソコンの基本』(一太郎モデル) 93

●ファイルを開く

『練習! パソコンの基本』(Office 2000モデル) 76

『練習! パソコンの基本』(一太郎モデル) 76

●複数のフォルダやファイルの容量の合計を見る

「サポートセンタ」-「困ったときのQ&A」-
「ファイル/フォルダ」

●メールに添付ファイルを付けて送信する

「サポートセンタ」-「困ったときのQ&A」-
「トラブル解決Q&A」-「電子メール」

『たのしもう! インターネット』 126

フォルダ

●新しいフォルダを作る

『練習! パソコンの基本』(Office 2000モデル) 93

『練習! パソコンの基本』(一太郎モデル) 93

●フォルダに壁紙をつける

「サポートセンタ」-「困ったときのQ&A」-
「トラブル解決Q&A」-「ファイル/フォルダ」

フォント

●英語モードフォントを使う

「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-
「添付ソフトの使い方」-「英語モードフォント」

復元

●保存したデータを元に戻す

『困ったときのQ&A』 5、6、7
「サポートセンタ」-「困ったときのQ&A」-
「トラブルの予防」-「バックアップ-NX」

筆王

●年賀状やはがき、住所録をつくる

「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-
「添付ソフトの使い方」-「筆王」

プリンタ

●プリンタを接続する

『拡張!活用! バリュースター』 9

プレーヤ-NX

●音楽CD/ビデオCD/フォトCDを再生する

「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-
「添付ソフトの使い方」-「プレーヤ-NX」

フロッピーディスク

●フロッピーディスクにバックアップを取る

『練習! パソコンの基本』(Office 2000モデル) 113
『練習! パソコンの基本』(一太郎モデル) 113

●フロッピーディスクのコピーをつくる(DISKCOPY)

『拡張!活用! バリュースター』 112

●フロッピーディスクを使う

『まずこれ! 接続と準備』 98

プロバイダ

●契約済や利用中のプロバイダの情報を設定する、変更する

「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-
「こんなことができます」-「インターネットの設定を変更する」

文書

●文書を印刷する

『練習! パソコンの基本』(Office 2000モデル) 94
『練習! パソコンの基本』(一太郎モデル) 95

●文書を作る

『練習! パソコンの基本』(Office 2000モデル) 37、73
『練習! パソコンの基本』(一太郎モデル) 37、73

ペイント

●ペイントについて知る

「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-
「添付ソフトの使い方」-「ペイント」

ヘッドセットマイク

●ヘッドセットマイクを接続する

『まずこれ! 接続と準備』 40

●ヘッドセットマイクで音声入力する(SmartVoice)

『練習! パソコンの基本』(Office 2000モデル) 152
『練習! パソコンの基本』(一太郎モデル) 154

ヘッドホン

●ヘッドホンを使う

『拡張!活用! バリュースター』 12

ホームページ

●スタートページを変える

『たのしもう! インターネット』 31

●ホームページのアドレス(URL)を短縮番号で入力する(Hatch inside)

「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-
「添付ソフトの使い方」-「Hatch inside」

●ホームページの画像や写真を保存する

『たのしもう! インターネット』 27

●ホームページを「お気に入り」に登録する

『たのしもう! インターネット』 23

●ホームページを探す(コペルニックライト)

「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-
「添付ソフトの使い方」-「コペルニックライト」

●ホームページを探す(サーチエンジン、検索サービス)

『たのしもう! インターネット』 19

●ホームページを整理して保存する(ホームページスクラップブックEX)

「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-
「添付ソフトの使い方」-「ホームページスクラップブックEX」

●ホームページを保存する

『たのしもう! インターネット』 25

●ホームページを翻訳する(翻訳アダプタII CROSSROAD)

「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-
「添付ソフトの使い方」-「翻訳アダプタII CROSSROAD」

- ホームページを見る
『たのしもう! インターネット』 4

保存

- ⇒ フロッピーディスク
- ⇒ ハードディスク
- 上書き保存する・ファイルの内容を変更して保存する
『練習! パソコンの基本』(Office 2000モデル) 85
『練習! パソコンの基本』(一太郎モデル) 85
- 新規保存する・別のファイルとして保存する
『練習! パソコンの基本』(Office 2000モデル) 66、91
『練習! パソコンの基本』(一太郎モデル) 67、91
- ホームページの画像や写真を保存する
『たのしもう! インターネット』 27
- ホームページを保存する
『たのしもう! インターネット』 25
- 保存されているファイルを読み込む、ファイルを開く
『練習! パソコンの基本』(Office 2000モデル) 76
『練習! パソコンの基本』(一太郎モデル) 76

翻訳アダプタII CROSSROAD

- 英語→日本語、日本語→英語に翻訳する
「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-
「添付ソフトの使い方」-「翻訳アダプタII CROSSROAD」

ま - も

マイクロホン

- マイクロホンを使う
『拡張!活用! バリュースター』 11

マイペディア99、マイペディア発見ナビ

- DVD-ROM 辞書を使いたい
「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-
「添付ソフトの使い方」-「マイペディア マルチメディア 統合
辞典 DVD-ROM」

マウス

- マウスのスクロールボタンを使う
『拡張!活用! バリュースター』 100
- マウスの練習をする
『練習! パソコンの基本』(Office 2000モデル) 6
『練習! パソコンの基本』(一太郎モデル) 6
- マウスポインタの動きを調節する
「サポートセンタ」-「困ったときのQ&A」-
「トラブル解決Q&A」-「マウス」

- マウスを接続する
『まずこれ! 接続と準備』 28

- マウスを設定する
『拡張!活用! バリュースター』 101

マニュアルの利用法

- パソコンに添付のマニュアルの利用法を知りたい
「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-
「マニュアルの利用法」

メール

- ⇒ 電子メール

メモ帳

- ワードプロを使う、ちょっとした文章を入力する
「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-
「添付ソフトの使い方」-「メモ帳」

メモリ

- メモリを増やす
『拡張!活用! バリュースター』 57

メンテナンスウィザード

- システムツールを定期的に実行させる
「サポートセンタ」-「困ったときのQ&A」-「トラブルの予防」-
「メンテナンスウィザード」

文字を入力する

- 「@」「&」「\」などの英語モードフォントを使う
「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-
「添付ソフトの使い方」-「英語モードフォント」
- 英字を打つ
『練習! パソコンの基本』(Office 2000モデル) 54
『練習! パソコンの基本』(一太郎モデル) 56
- 同音語を変換する
『練習! パソコンの基本』(Office 2000モデル) 65
『練習! パソコンの基本』(一太郎モデル) 66
- カタカナを入力する
『練習! パソコンの基本』(Office 2000モデル) 58
『練習! パソコンの基本』(一太郎モデル) 60
- かな入りに設定する
『練習! パソコンの基本』(Office 2000モデル) 47
『練習! パソコンの基本』(一太郎モデル) 48
- キーボードの使い方を覚えたい
『練習! パソコンの基本』(Office 2000モデル) 37
『練習! パソコンの基本』(一太郎モデル) 37

●記号を入力する

- 『練習! パソコンの基本』(Office 2000モデル) 61
『練習! パソコンの基本』(一太郎モデル) 63

●数字を打つ、数字で日付を打つ

- 『練習! パソコンの基本』(Office 2000モデル) 55
『練習! パソコンの基本』(一太郎モデル) 57

●ひらがなを漢字に変換する

- 『練習! パソコンの基本』(Office 2000モデル) 50
『練習! パソコンの基本』(一太郎モデル) 51

●文書の体裁を整える

- 『練習! パソコンの基本』(Office 2000モデル) 86
『練習! パソコンの基本』(一太郎モデル) 86

●文書を印刷する

- 『練習! パソコンの基本』(Office 2000モデル) 94
『練習! パソコンの基本』(一太郎モデル) 95

●文章を書く、文書を作る

- 『練習! パソコンの基本』(Office 2000モデル) 37、73
『練習! パソコンの基本』(一太郎モデル) 37、73

●文書を追加する

- 『練習! パソコンの基本』(Office 2000モデル) 77
『練習! パソコンの基本』(一太郎モデル) 77

●文書を編集する

- 『練習! パソコンの基本』(Office 2000モデル) 78
『練習! パソコンの基本』(一太郎モデル) 78

●記号を文字コード表や記号パレットなどから入力する

- 『練習! パソコンの基本』(Office 2000モデル) 61
『練習! パソコンの基本』(一太郎モデル) 63

●読み方がわからない文字を入力する

- 『練習! パソコンの基本』(Office 2000モデル) 98
『練習! パソコンの基本』(一太郎モデル) 99

●ローマ字入力とかな入力を切り替える

- 『練習! パソコンの基本』(Office 2000モデル) 42
『練習! パソコンの基本』(一太郎モデル) 43

●ローマ字入力をする

- 『練習! パソコンの基本』(Office 2000モデル) 44
『練習! パソコンの基本』(一太郎モデル) 45

●ローマ字のつづりを知りたい(ローマ字つづり一覧)

- 『練習! パソコンの基本』(Office 2000モデル) 182
『練習! パソコンの基本』(一太郎モデル) 184

や - よ

ユーザー登録

●正規ユーザー登録を行う

- 『まずこれ! 接続と準備』 82

郵便番号7桁

●郵便番号7桁辞書を使う

- 「サポートセンタ」-「困ったときのQ&A」-
「トラブル解決Q&A」-「その他」

用語集

●パソコン用語を調べる

- 「サポートセンタ」-「用語集」

ら - ろ

ランチ-NX

●ランチ-NXからアプリケーションを起動する

- 「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-
「添付ソフトの使い方」-「ランチ-NX」
『練習! パソコンの基本』(Office 2000モデル) 2、18、38
『練習! パソコンの基本』(一太郎モデル) 2、18、38

●ランチ-NXの画面について

- 『練習! パソコンの基本』(Office 2000モデル) 16
『練習! パソコンの基本』(一太郎モデル) 16

●ランチ-NXの設定を変える

- 「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-
「添付ソフトの使い方」-「ランチ-NX」

リソース

●リソースの割り当てを変更する

- 『拡張!活用! バリュースター』 92

利用環境

⇒CyberTrio-NX

ローマ字

●ローマ字入力をする

- 『練習! パソコンの基本』(Office 2000モデル) 44
『練習! パソコンの基本』(一太郎モデル) 45

●ローマ字のつづりを知りたい(ローマ字つづり一覧)

- 『練習! パソコンの基本』(Office 2000モデル) 182
『練習! パソコンの基本』(一太郎モデル) 184

ワードパッド

●ワープロを使う

「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-
「添付ソフトの使い方」-「ワードパッド」

ワンタッチスタートボタン

⇒キーボード

●キーボードのワンタッチスタートボタンからアプリケーションを起動する

『たのしもう! インターネット』 2、16、96
『練習! パソコンの基本』(Office 2000モデル) 16
『練習! パソコンの基本』(一太郎モデル) 16
『拡張!活用! バリュースター』 108

●キーボードのワンタッチスタートボタンの設定をする
(ワンタッチスタートボタンの設定)

「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-
「添付ソフトの使い方」-「ワンタッチスタートボタンの設定」

●キーボードのワンタッチスタートボタンを使う

『たのしもう! インターネット』 2、16、96
『拡張!活用! バリュースター』 108

●お問い合わせの前に

お問い合わせにお答えするには、あなたのパソコンの構成やトラブルの具体的な状態をお知らせいただく必要があります。このトラブルチェックシートに記入してから、お問い合わせしていただくと、よりの確で迅速なお答えが可能になります。ぜひ、ご記入ください。なお、「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」、「アクセサリ」、「システムツール」の順にポイントし、「システム情報」をクリックすると、詳細情報が表示されますので参考にしてください。

トラブルチェックシート 1

あなたのパソコンの構成		
■ハードウェア		
●本体		
型名（型名は本体背面または側面に表示されています）		
製造番号（保証書番号）		
メモリの容量	MB(メガバイト)	
メモリの容量を調べるには→マイコンピュータのアイコンを右クリックし、表示されたメニューの「プロパティ」をクリックしてください。「○○MBのRAM」という表示の「○○」がメモリの容量です。		
ハードディスクの容量（Cドライブ）	MB(メガバイト) GB(ギガバイト)（MBかGBのどちらかに○をつけてください。）	
ハードディスクの空き領域（ドライブ）	MB(メガバイト) GB(ギガバイト)（MBかGBのどちらかに○をつけてください。）	
ハードディスクの容量、空き領域を調べるには→マイコンピュータを開き、ハードディスクのアイコンを右クリックし、表示されたメニューの「プロパティ」をクリックしてください。容量や空き領域が表示されます。		
●周辺機器		
品名・型名（メーカー名）		
ディスプレイ	☐ ディスプレイセットモデル 型 名： （型名はディスプレイの背面または底面に記載されています）	☐ ディスプレイなしモデル 型 名： メーカー：
プリンタ		
SCSIボード		
増設ハードディスク		
ネットワークボード		
その他の周辺機器		
■ソフトウェア		
●OSのバージョンと発売メーカー		
☐ Windows 98	☐ Windows NT（バージョン ）	
●トラブルが起きたときに起動していたアプリケーションソフト		

トラブルチェックシート 2

具体的なトラブルの内容

●どんなトラブルが起きましたか？ トラブルの内容を書いてください。

(例：ワードパッドで入力したり、印刷すると突然止まってしまう。)

●画面にエラーメッセージや番号などが表示されませんでしたか？ メッセージや番号を書いてください。

(例：「このプログラムは不正な処理を行ったので強制終了されます。終了しない場合は、プログラムの製造元に連絡してください。」とひんばんに表示する。)

●そのトラブルはどんなときに起きましたか？

- ☐ パソコンを起動するたびに起きる
- ☐ そのアプリケーションを起動するたびに起きる
- ☐ 特定の操作を行うと起きる
- ☐ はじめて起きた

(例：複数のソフトウェアを同時に使っていると、止まってしまう。)

●その他に気づいたことがあれば書いてください。

(例：エラーメッセージが出ている状態で電源スイッチを押して、何回か電源を切った。)

トラブル予防4つのポイント

◆Cドライブの空き容量を十分に確保する◆

Windows 98を快適に使うには、Cドライブに十分な空き容量が必要です。空き容量が不足してくると、ファイルの読み書きやアプリケーションの起動に時間がかかるようになり、最後には Windows 98 そのものが動作しなくなります。Cドライブの空き容量は、常に100Mバイト以上確保してください。Cドライブの空き容量が不足してきたら、Dドライブを利用するか、不要なファイルを削除するか、ハードディスクドライブを増設してください。

 参照 不要なファイルを削除→『サポートセンタ』-「困ったときのQ&A」-「トラブル解決Q&A」-「ハードディスク」
ハードディスクドライブの増設→『拡張!活用! パリユースター』の「PART8 ハードディスクを増設する」

◆Cドライブの空き容量の確認

- 1 デスクトップの「マイコンピュータ」アイコンをダブルクリックします。
- 2 「Windows 98 (C:)」アイコンにマウスポインタを合わせてクリックします。
画面の左側に使用領域と空き領域が表示されます。

◆定期的にハードディスクを点検する◆

ハードディスクを使い続けるとハードディスクにトラブルが発生することがあります。1週間に1回くらいはスキャンディスクを実行することをおすすめします。

 参照 スキャンディスクについて→「スキャンディスクの使い方」(p.8)
システムツールの操作→『サポートセンタ』-「困ったときのQ&A」-「トラブルの予防」
システムツールについて→Windows ヘルプ

◆日ごろから大切なデータをバックアップする◆

トラブルを解決するのに、再セットアップが必要なことがあります。再セットアップを行うと、大切なデータはすべてハードディスクから消去されてしまいます。大切なデータは、日ごろからこまめにMOや外付けハードディスクにバックアップしてください。このパソコンには、アプリケーションごとに作成したデータをバックアップできる「バックアップ-NX」があります。

 参照 MOや外付けハードディスクにバックアップする→『練習! パソコンの基本』PART5の「バックアップを取る」
バックアップ-NXについて→『サポートセンタ』-「困ったときのQ&A」-「トラブルの予防」-「バックアップ-NX」および「データのバックアップと復元」(p.2)
インターネットの設定などをバックアップする→『サポートセンタ』-「困ったときのQ&A」-「トラブルの予防」-「インターネット接続のバックアップ」

◆コンピュータウイルスの侵入を防ぐ◆

パソコンを使っていると、インターネット、パソコン通信上のやりとり、フロッピーディスクやCD-ROMの受け渡しなど、さまざまなかたちでコンピュータウイルスに感染する可能性があります。パソコンをコンピュータウイルスから守るには、次の点に注意してください。

- ・パソコンのウイルス検査は定期的に行う
- ・出所不明なフロッピーディスクやCD-ROM、プログラムは使用しない
- ・入手したデータやプログラムはウイルス検査を済ませてから使用する
- ・インターネットやパソコン通信から、むやみにデータやプログラムをダウンロードしない
- ・覚えがない電子メールや添付ファイルは開かずに削除する
- ・ワクチンソフトは最新版になるように定期的に更新する

また、VirusScanによってコンピュータウイルスが検出されたら、「コンピュータウイルスが検出された」(p.44)をご覧ください。ウイルスの駆除を行ってください。

 参照 VirusScanについて→『サポートセンタ』-「困ったときのQ&A」-「トラブルの予防」-「VirusScan」

トヨタ証券



VALUESTAR NX

808-884475-007-A

